

武蔵村山市
第二期子ども・子育て支援事業計画
策定のためのアンケート調査
報告書

平成31年3月
武蔵村山市

目 次

調査の概要	1
1. 調査の目的.....	3
2. 調査の概要.....	3
3. 報告書を読むにあたっての注意点.....	4
就学前児童（0～5歳）の保護者 調査結果	5
1. お子さんご家族などについて（基本属性）.....	7
2. 子どもの育ちを取り巻く環境について.....	11
3. 保護者の就労状況について.....	14
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について.....	23
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	32
6. 土、日・祝日や長期休暇中の事業利用希望について.....	36
7. 病気等の際の対応について.....	41
8. 不定期の教育・保育や宿泊を伴う事業の利用について.....	45
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	48
10. 育児休業や短時間勤務制度などについて.....	53
11. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	64
小学生（1～6年生）の保護者 調査結果	71
1. お子さんご家族などについて（基本属性）.....	73
2. 子どもの育ちを取り巻く環境について.....	77
3. 保護者の就労状況について.....	80
4. 「学童クラブ」の利用や放課後の過ごし方について.....	89
5. 病気の際の対応について.....	99
6. 不定期の教育・保育や宿泊を伴う事業の利用について.....	103
7. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	106
自由回答	111
1. 就学前児童（0～5歳）の保護者.....	113
2. 小学生（1～6年生）の保護者.....	118
参考資料 -使用した調査票-	123
1. 就学前児童（0～5歳）の保護者.....	125
2. 小学生（1～6年生）の保護者.....	135

調査の概要

1. 調査の目的

武蔵村山市では、平成 27 年 3 月に「武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、「みんなで子育て、支えあい、うるおいのあるまち武蔵村山市」の実現に向けて市の子どもと子育て世帯への支援の充実を図ってきました。本調査は、平成 32 年度(2020 年度)からの第二期の計画策定に向けて、市民の教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望、子どもと子育て家庭を取り巻く状況などを把握するため実施したものです。また、回答結果は教育・保育の量の見込みの算出・設定の資料としても活用します。

2. 調査の概要

○調査対象：就学前児童（0～5 歳）1,000 名及び小学生（1～6 年生）1,000 名を無作為に抽出し、その保護者を対象に実施

○抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

○調査方法：郵送配布・郵送回収

○調査期間：平成 30 年 11 月 20 日～12 月 11 日

○配布・回収状況

対 象	発送数	回収数	回収率
就学前児童（0～5 歳）の保護者	1,000 票	451 票	45.1%
小学生（1～6 年生）の保護者	1,000 票	471 票	47.1%
合 計	2,000 票	922 票	46.1%

3. 報告書を読むにあたっての注意点

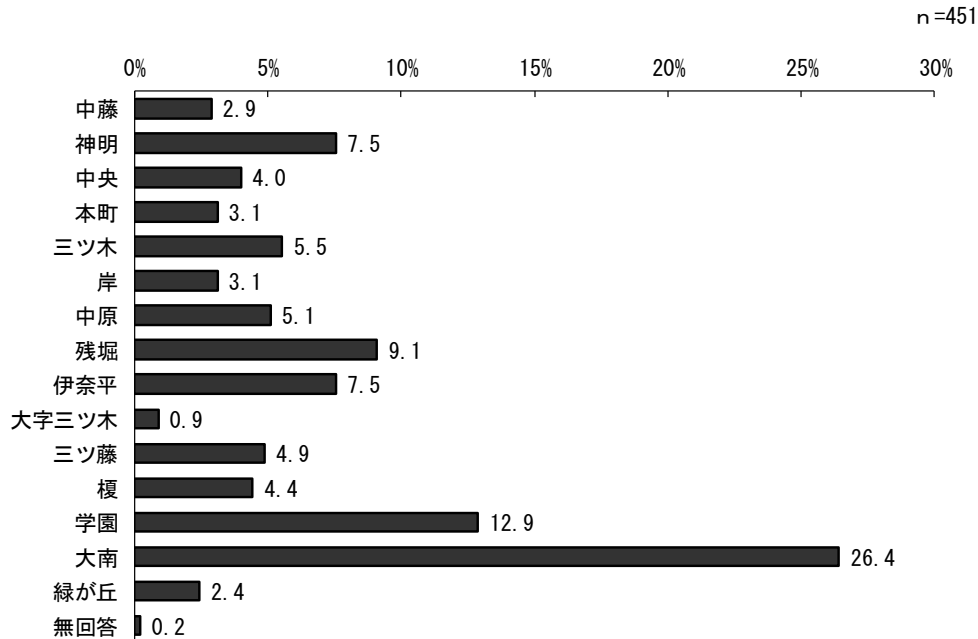
- 設問文には【単数回答】（1つに○）、【複数回答】（あてはまるものすべてに○）の別を付しています。また、数値を記入する設問については【数量】と記載しています。
- グラフに付されている「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数（回答者数）を示しています。
- 図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- グラフの数値について
百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表の記載にあたり、調査票の質問文、選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」や1%未満の数値表示を省略しているものがあります。
- 必要に応じて、平成25年度に実施した「武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画等アンケート調査」（以下「前回調査」とします）との比較を行っています。

就学前児童（0～5歳）の保護者 調査結果

1. お子さんご家族などについて(基本属性)

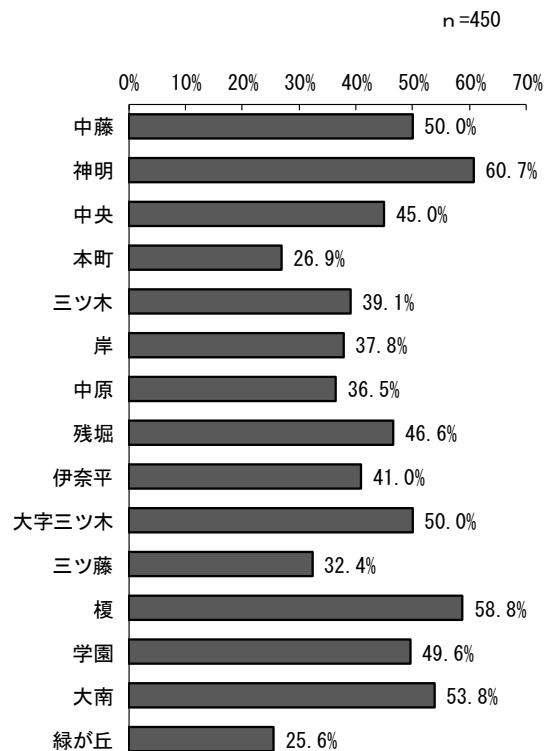
問1 武蔵村山市のどちらにお住まいですか【単数回答】

回答者の居住地区は、「大南」が26.4%と最も多く、次いで「学園」が12.9%、「残堀」が9.1%、「神明」と「伊奈平」が7.5%となっています。



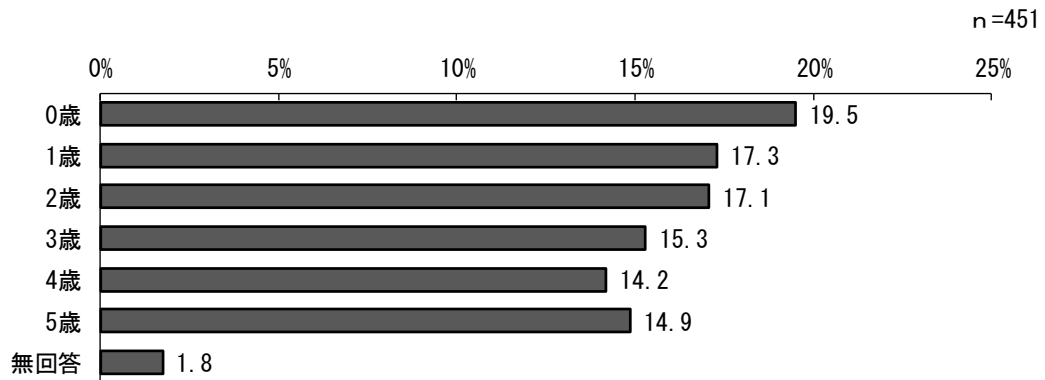
【参考】地区ごとの回収率

No.	地区名	配付数	回収数	回収率
1	中藤	26	13	50.0%
2	神明	56	34	60.7%
3	中央	40	18	45.0%
4	本町	52	14	26.9%
5	三ツ木	64	25	39.1%
6	岸	37	14	37.8%
7	中原	63	23	36.5%
8	残堀	88	41	46.6%
9	伊奈平	83	34	41.0%
10	大字三ツ木	8	4	50.0%
11	三ツ藤	68	22	32.4%
12	榎	34	20	58.8%
13	学園	117	58	49.6%
14	大南	221	119	53.8%
15	緑が丘	43	11	25.6%
	無回答	-	1	
	全体	1000	451	45.1%



問2 お子さんの年齢【単数回答】

「0歳」が19.5%と最も多く、「1歳」が17.3%、「2歳」が17.1%、「3歳」が15.3%、「5歳」が14.9%、「4歳」が14.2%となっています。

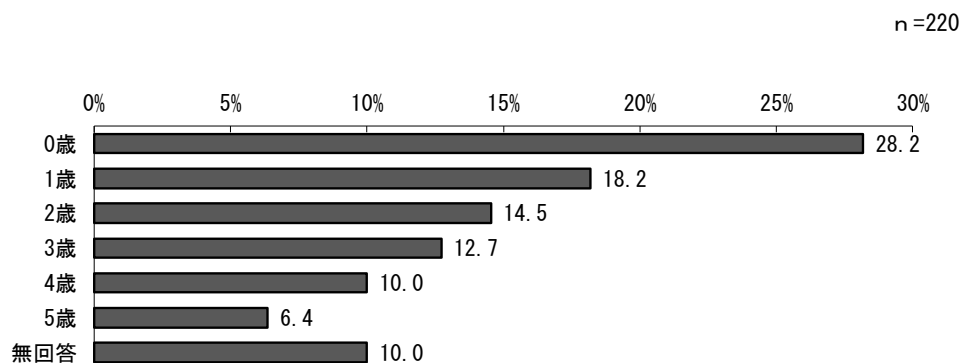


※年齢は、記入された生年月日から以下により分類・集計している。

0歳	平成29年4月～
1歳	平成28年4月～29年3月
2歳	平成27年4月～28年3月
3歳	平成26年4月～27年3月
4歳	平成25年4月～26年3月
5歳	平成24年4月～25年3月

問3 末子の年齢【単数回答】

「0歳」が28.2%と最も多く、次いで「1歳」が18.2%、「2歳」が14.5%、「3歳」が12.7%、「4歳」が10.0%、「5歳」が6.4%となっています。



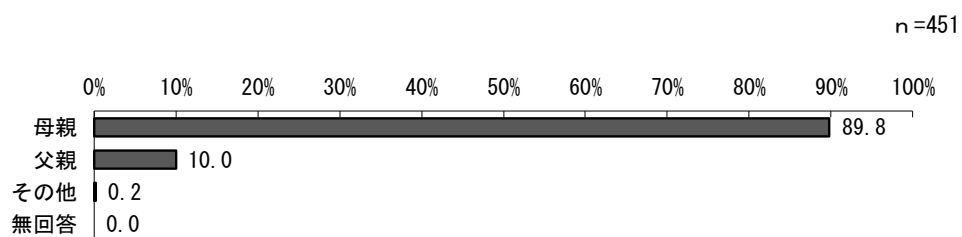
問3 きょうだい数【数量】

きょうだいの数は最大で6人、平均で1.7人となっています。

平均	1.7人
最大値	6人
最小値	1人

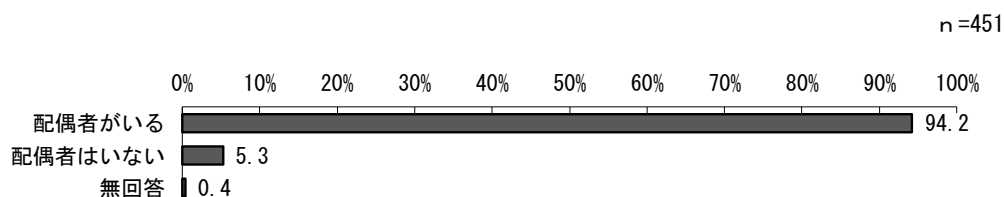
問4 この調査に回答している人【単数回答】

「母親」が89.8%、「父親」が10.0%となっています。



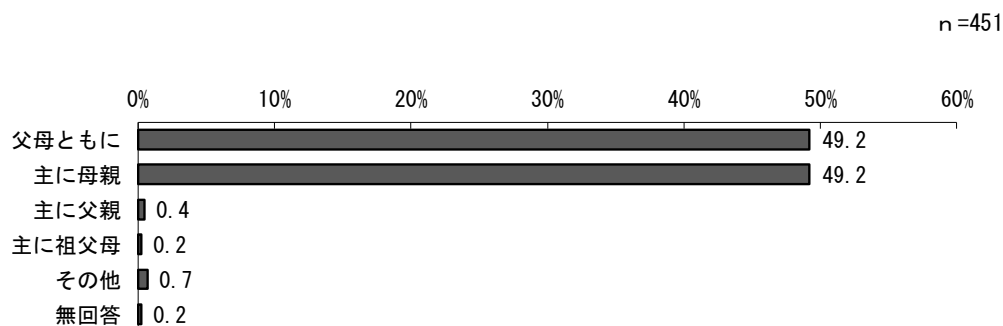
問5 この調査に回答している人の、配偶者（パートナー）の有無【単数回答】

「配偶者がいる」が94.2%、「配偶者はいない」が5.3%となっています。



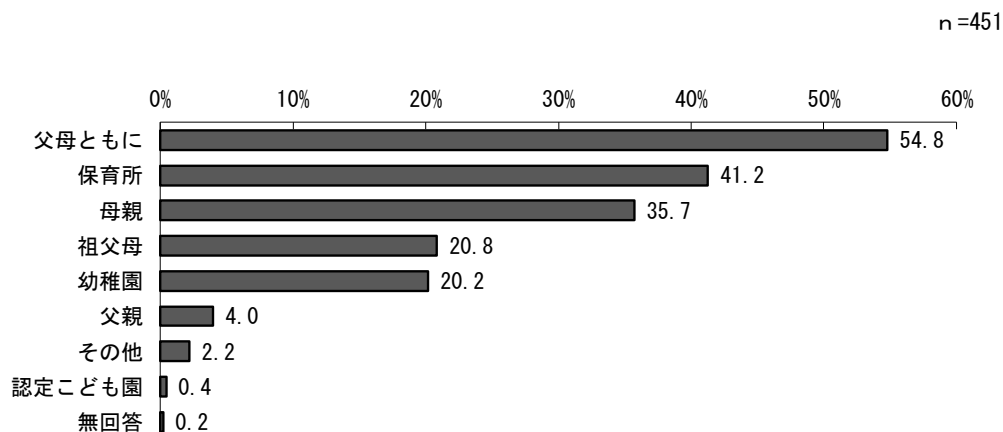
問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている人【単数回答】

「父母ともに」と「主に母親」が49.2%となっています。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人（施設）【複数回答】

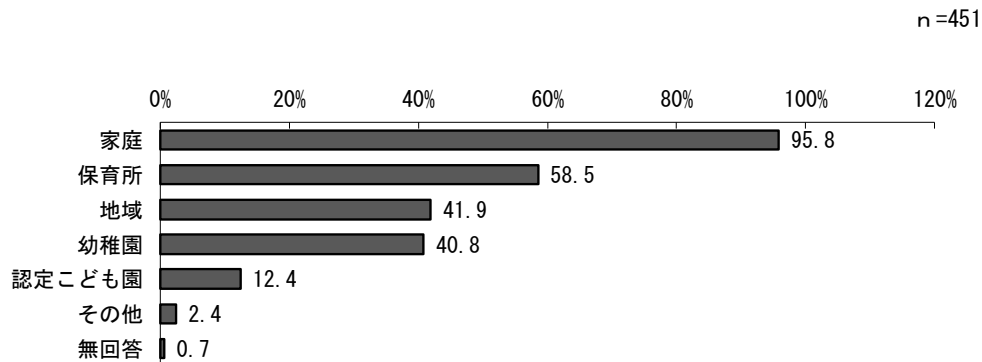
「父母ともに」が54.8%と最も多く、次いで「保育所」が41.2%、「母親」が35.7%、「祖父母」が20.8%、「幼稚園」が20.2%となっています。



2. 子どもの育ちを取り巻く環境について

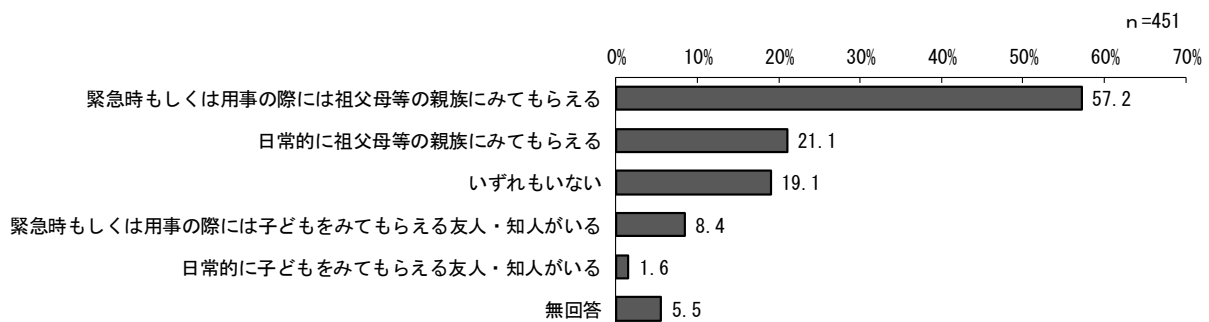
問8 お子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思う環境【複数回答】

「家庭」が95.8%と最も多く、次いで「保育所」が58.5%、「地域」が41.9%、「幼稚園」が40.8%、「認定こども園」が12.4%となっています。



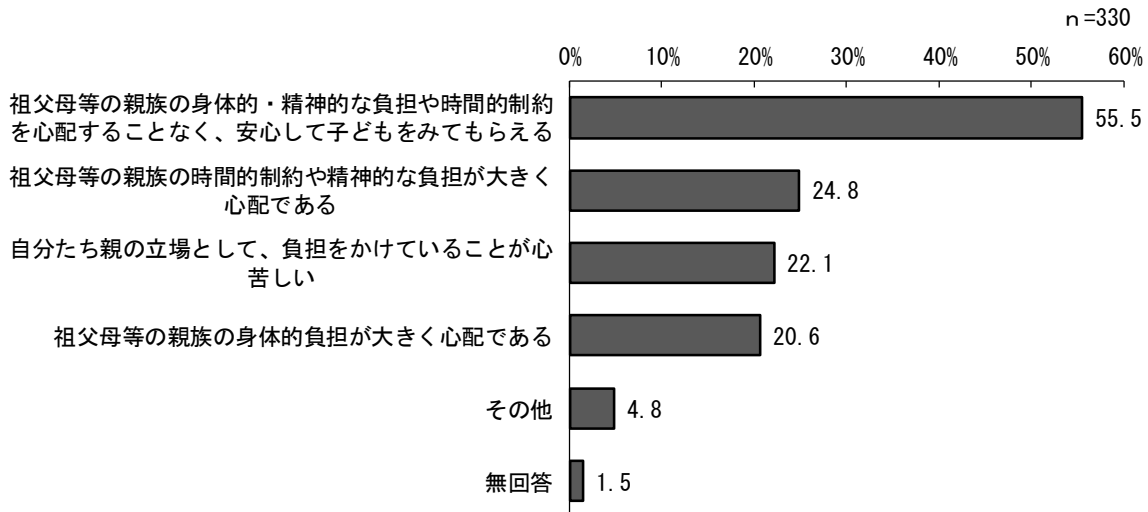
問9 日頃、お子さんを見てもらえる親族や知人等の有無【複数回答】

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.2%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が21.1%、「いずれもない」が19.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が8.4%、「日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が1.6%となっています。



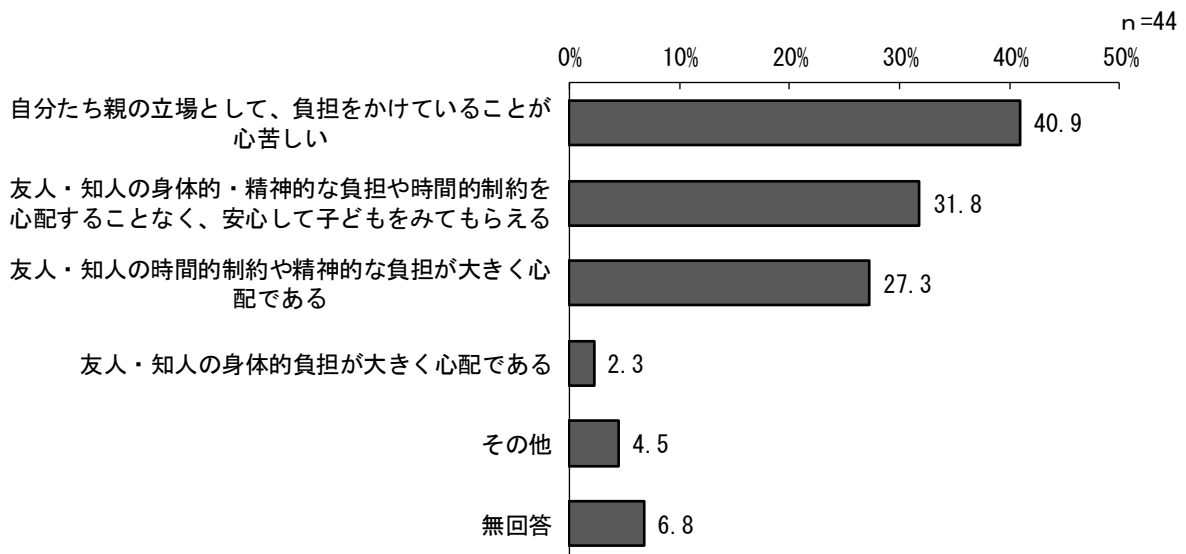
問9-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況【複数回答】

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.5%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が24.8%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.1%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が20.6%、「その他」が4.8%となっています。



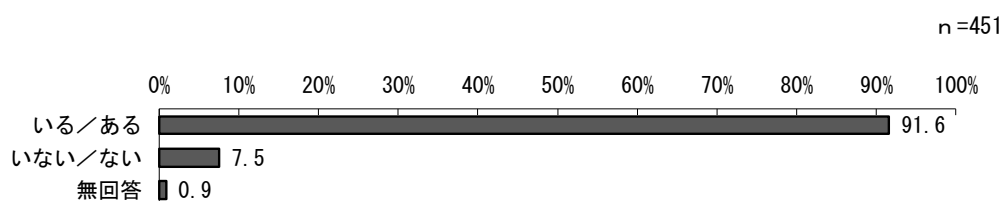
問9-2 友人・知人にみてもらっている状況【複数回答】

「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が40.9%と最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が31.8%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が27.3%、「その他」が4.5%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が2.3%となっています。



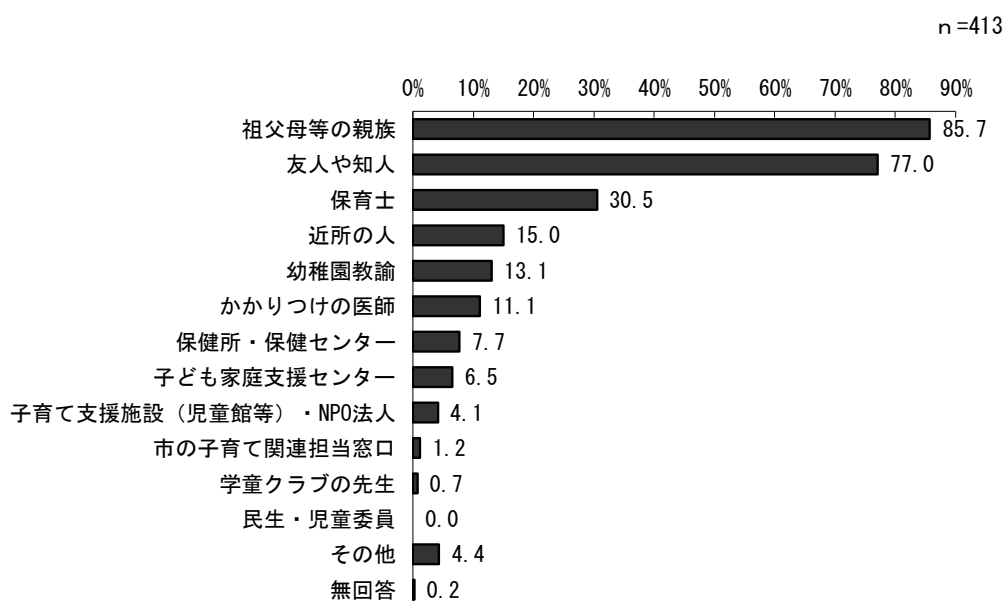
問 10 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無【単数回答】

「いる／ある」が91.6%、「いない／ない」が7.5%となっています。



問 10-1 子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる先は誰（どこ）か【複数回答】

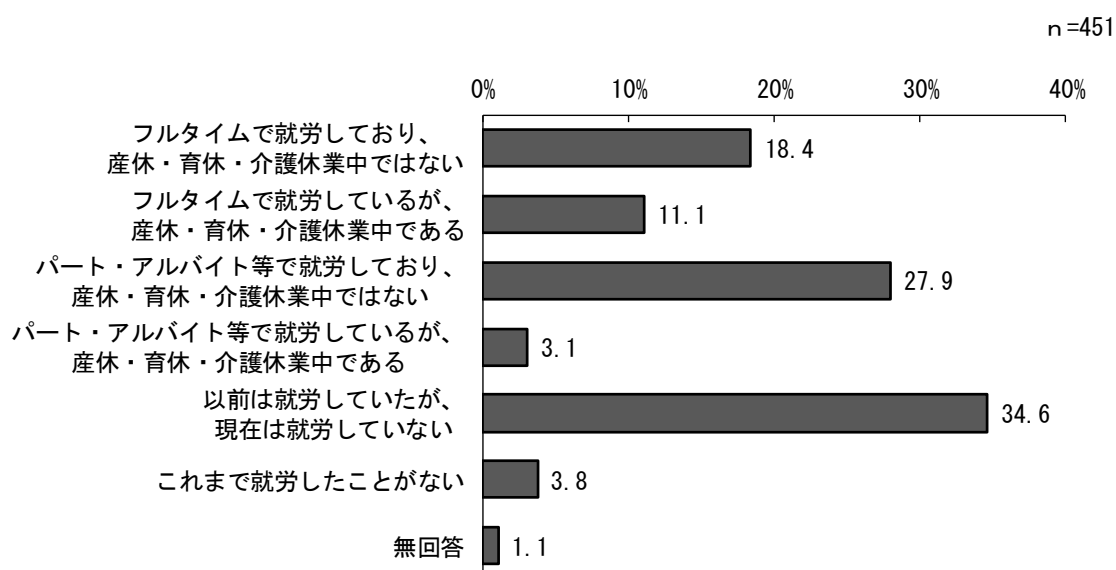
「祖父母等の親族」が85.7%と最も多く、次いで「友人や知人」が77.0%、「保育士」が30.5%、「近所の人」が15.0%、「幼稚園教諭」が13.1%となっています。



3. 保護者の就労状況について

問 11 (1)「お母さん」について／保護者の現在の就労状況【単数回答】

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が34.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.9%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.4%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が11.1%、「これまで就労したことがない」が3.8%となっています。



お母さん／1週当たり就労日数（日／週）

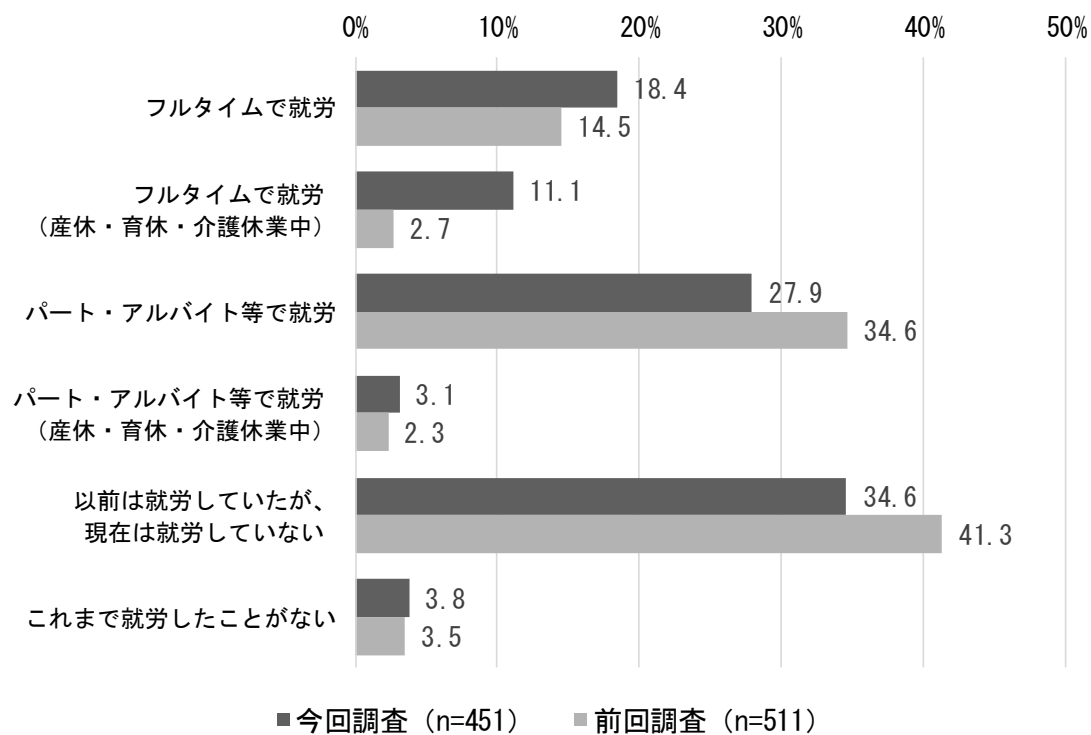
平均	4.6日
最大値	6日
最小値	1日

お母さん／1日当たり就労時間（時間／日）

平均	6.9時間
最大値	12時間
最小値	3時間

【前回調査との比較】「お母さん」の就労状況

母親の就労状況を前回調査と比較すると、フルタイムでの就労（産休・育休・介護休業中含む）が12.3ポイント増加しており、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は6.7ポイント減少しています。



(就労している人への質問)

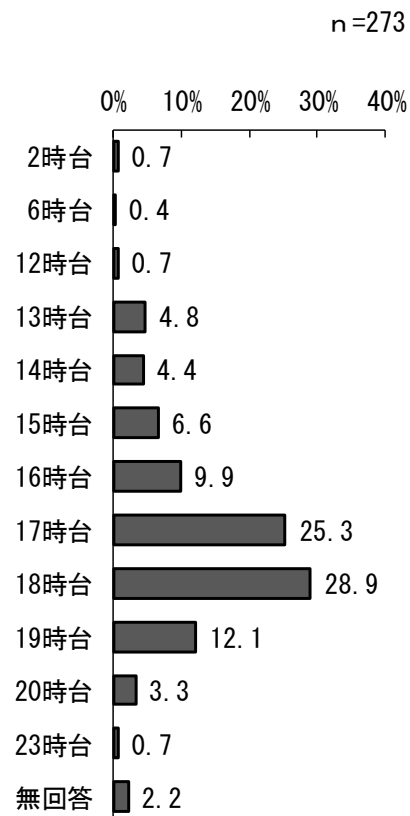
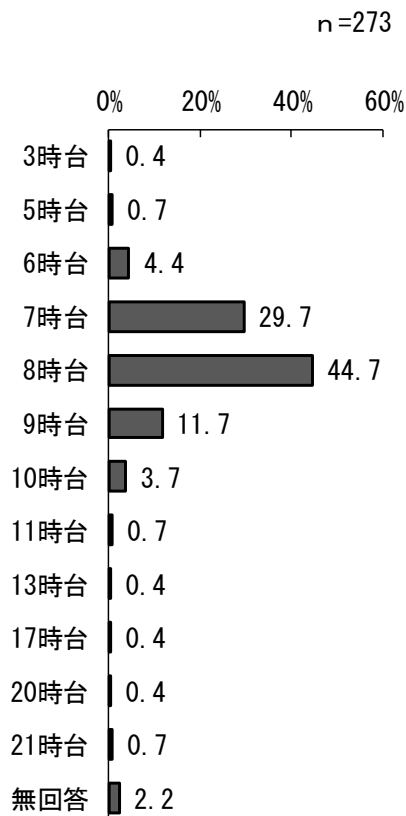
問 11 (1) - 2 お母さん／家を出る時刻・帰宅時刻【単数回答】

家を出る時刻は「8 時台」が 44.7%と最も多く、次いで「7 時台」が 29.7%、「9 時台」が 11.7%、「6 時台」が 4.4%、「10 時台」が 3.7%となっています。

帰宅時刻は「18 時台」が 28.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 25.3%、「19 時台」が 12.1%、「16 時台」が 9.9%、「15 時台」が 6.6%となっています。

家を出る時刻

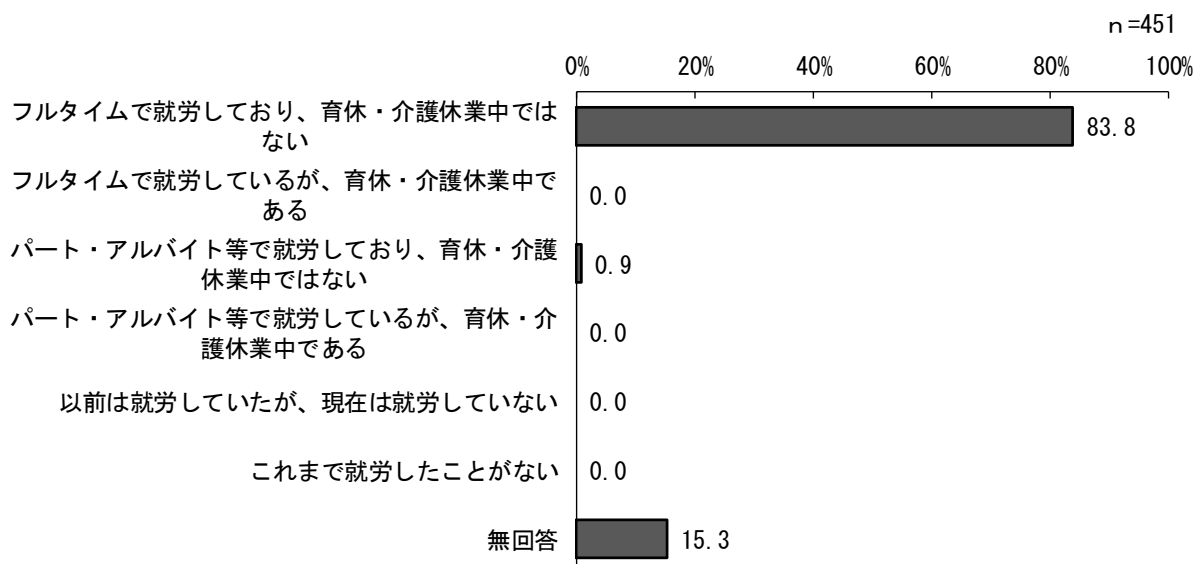
帰宅時刻



※0.0%の時間帯を除いて表示している。

問 11 (2)「お父さん」について／保護者の現在の就労状況【単数回答】

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が83.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.9%、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」と「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」は0.0%となっています。



お父さん／1週当たり就労日数（日／週）

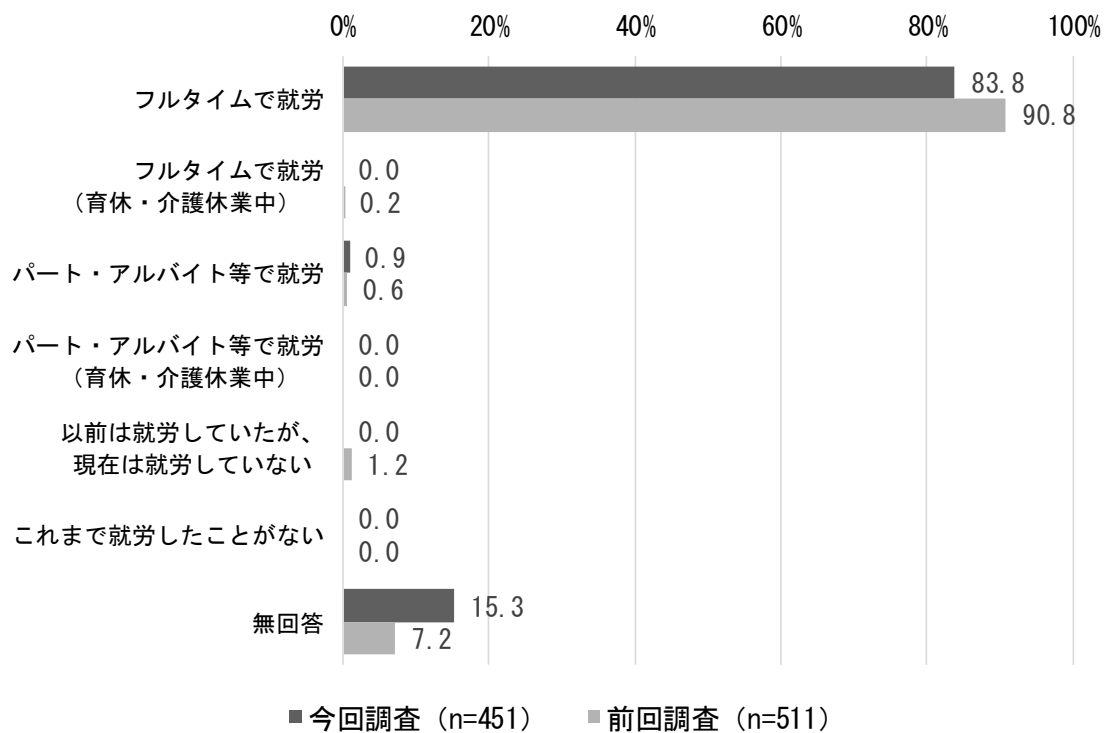
平均	5.4 日
最大値	7 日
最小値	2 日

お父さん／1日当たり就労時間（時間／日）

平均	10.1 時間
最大値	24 時間
最小値	6 時間

【前回調査との比較】「お父さん」の就労状況

父親の就労状況を前回調査と比較すると、フルタイムでの就労（育休・介護休業中含む）が7.2ポイント減少しています。



(就労している人への質問)

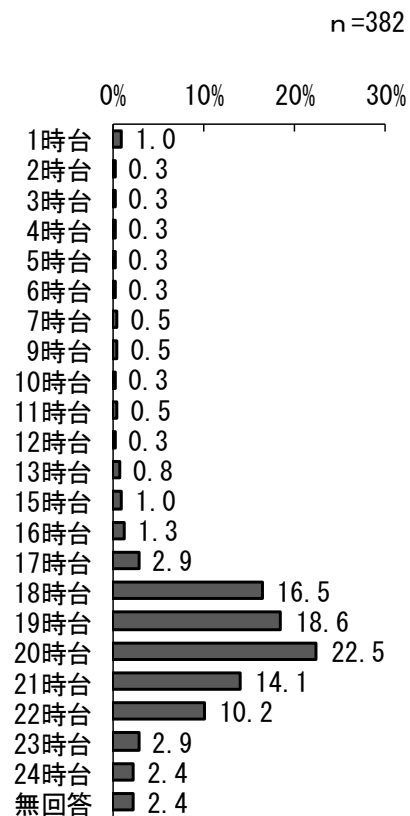
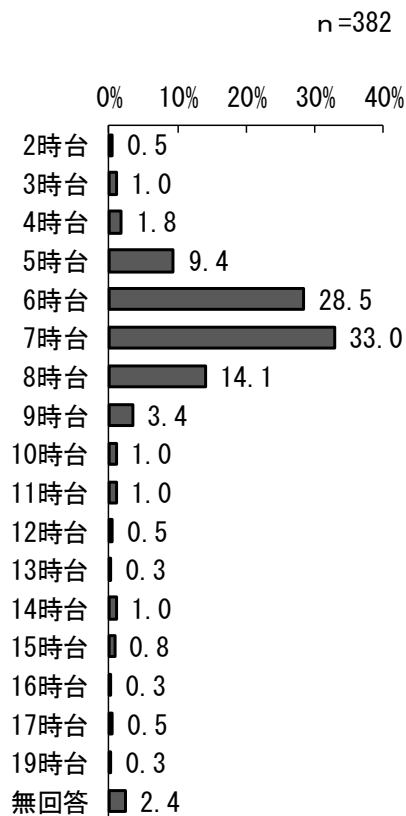
問 11 (2) - 2 お父さん／家を出る時刻・帰宅時刻【単数回答】

家を出る時刻は「7 時台」が 33.0%と最も多く、次いで「6 時台」が 28.5%、「8 時台」が 14.1%、「5 時台」が 9.4%、「9 時台」が 3.4%となっています。

帰宅時刻は「20 時台」が 22.5%と最も多く、次いで「19 時台」が 18.6%、「18 時台」が 16.5%、「21 時台」が 14.1%、「22 時台」が 10.2%となっています。

家を出る時刻

帰宅時刻

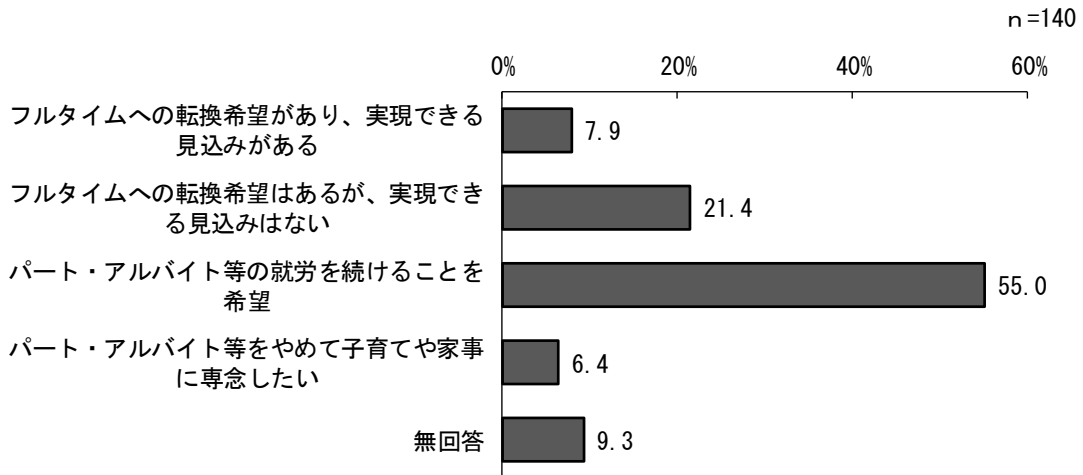


※0.0%の時間帯を除いて表示している。

(フルタイム以外の就労の人への質問)

問 12 (1) お母さん／フルタイムへの転換希望【単数回答】

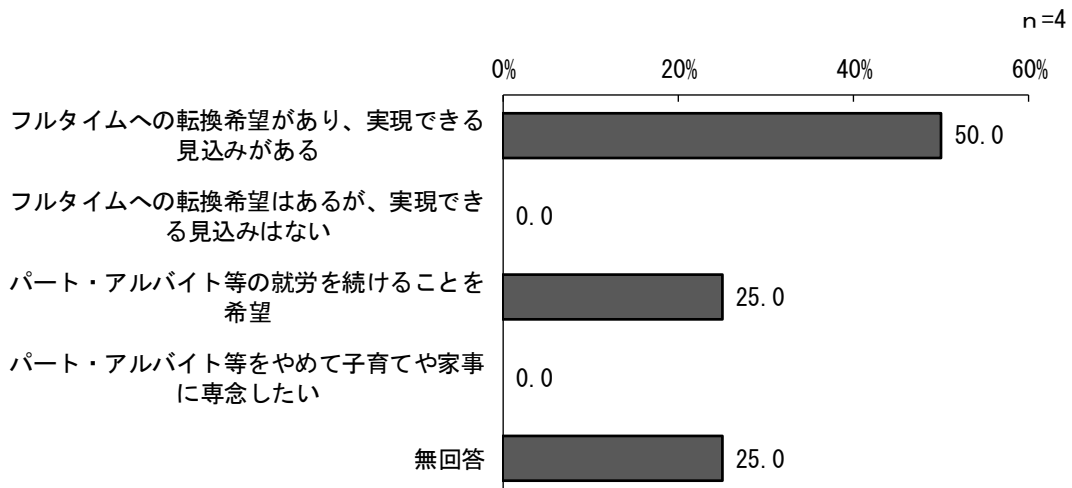
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が55.0%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が21.4%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.9%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が6.4%となっています。



(フルタイム以外の就労の人への質問)

問 12 (2) お父さん／フルタイムへの転換希望【単数回答】

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が50.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が25.0%となっています。

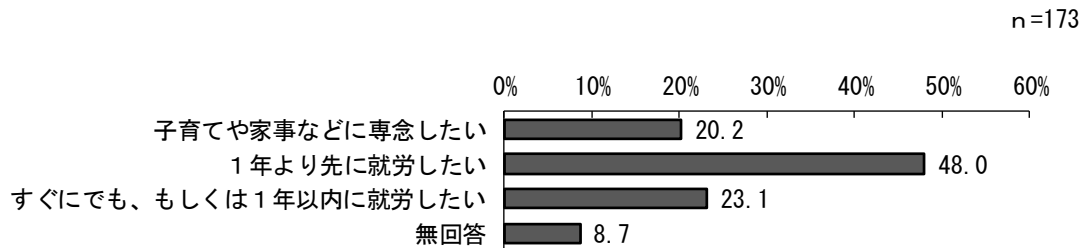


※n=4 であることに留意が必要。

(就労していない・したことがない人への質問)

問 13 (1) お母さん／就労したいという希望はありますか【単数回答】

「1年より先に就労したい」が48.0%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.1%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が20.2%となっています。



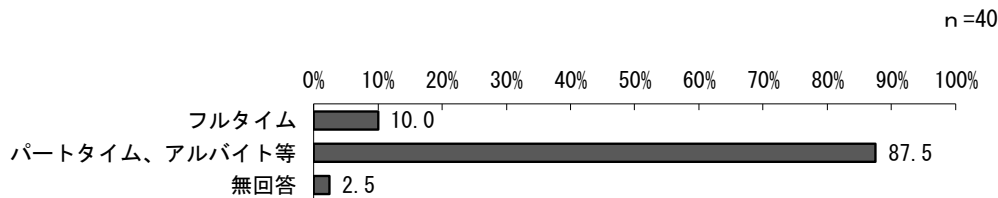
一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか【数量】

平均	4.7 歳
最大値	10 歳
最小値	1 歳

(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい人への質問)

問 13 (1) お母さん／希望する就労形態【単数回答】

「パートタイム、アルバイト等」が87.5%、「フルタイム」が10.0%となっています。



パートタイム、アルバイト等で希望する週当たり就労日数【数量】

平均	3.7 日
最大値	5 日
最小値	1 日

パートタイム、アルバイト等で希望する1日当たり就労時間【数量】

平均	5.2 時間
最大値	8 時間
最小値	3 時間

(就労していない・したことがない人への質問)

問 13 (2) お父さん／就労したいという希望はありますか【単数回答】

該当なし。

(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい人への質問)

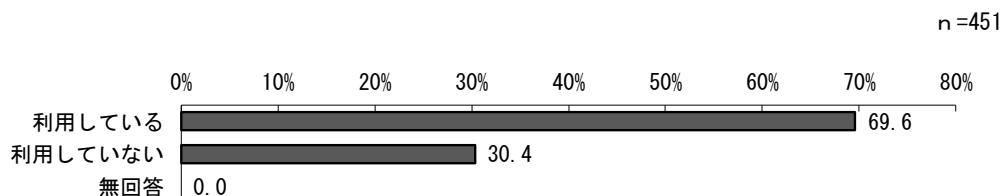
問 13 (2) お父さん／希望する就労形態【単数回答】

該当なし。

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

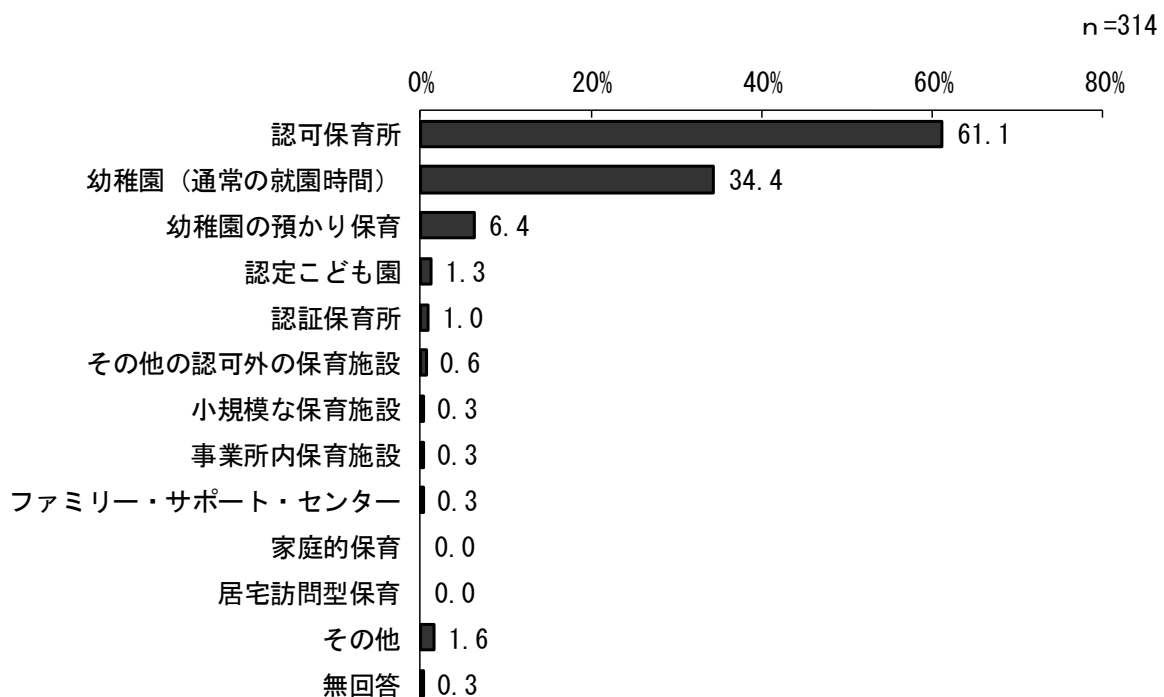
問 14 現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用しているか
【単数回答】

「利用している」が69.6%、「利用していない」が30.4%となっています。



問 14-1 平日どのような教育・保育の事業を利用しているか【複数回答】

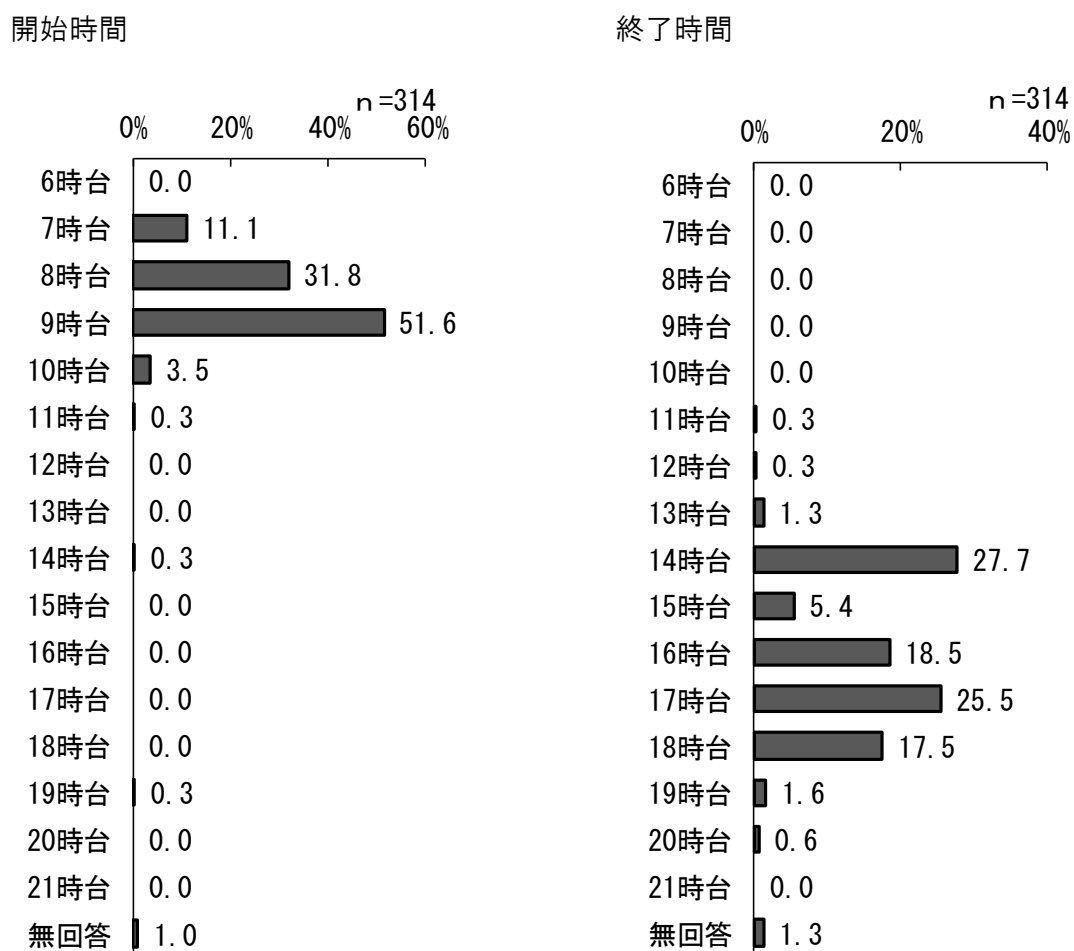
「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が61.1%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が34.4%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が6.4%、「その他」が1.6%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が1.3%となっています。



問 14-2 (1) 現在／1日当たり開始時間・終了時間【単数回答】

現在の利用開始時間は「9時台」が51.6%と最も多く、次いで「8時台」が31.8%、「7時台」が11.1%、「10時台」が3.5%となっています。

終了時間は「14時台」が27.7%と最も多く、次いで「17時台」が25.5%、「16時台」が18.5%、「18時台」が17.5%、「15時台」が5.4%となっています。



現在の1週当たり利用日数 (日/週)

平均	4.9日
最大値	6日
最小値	1日

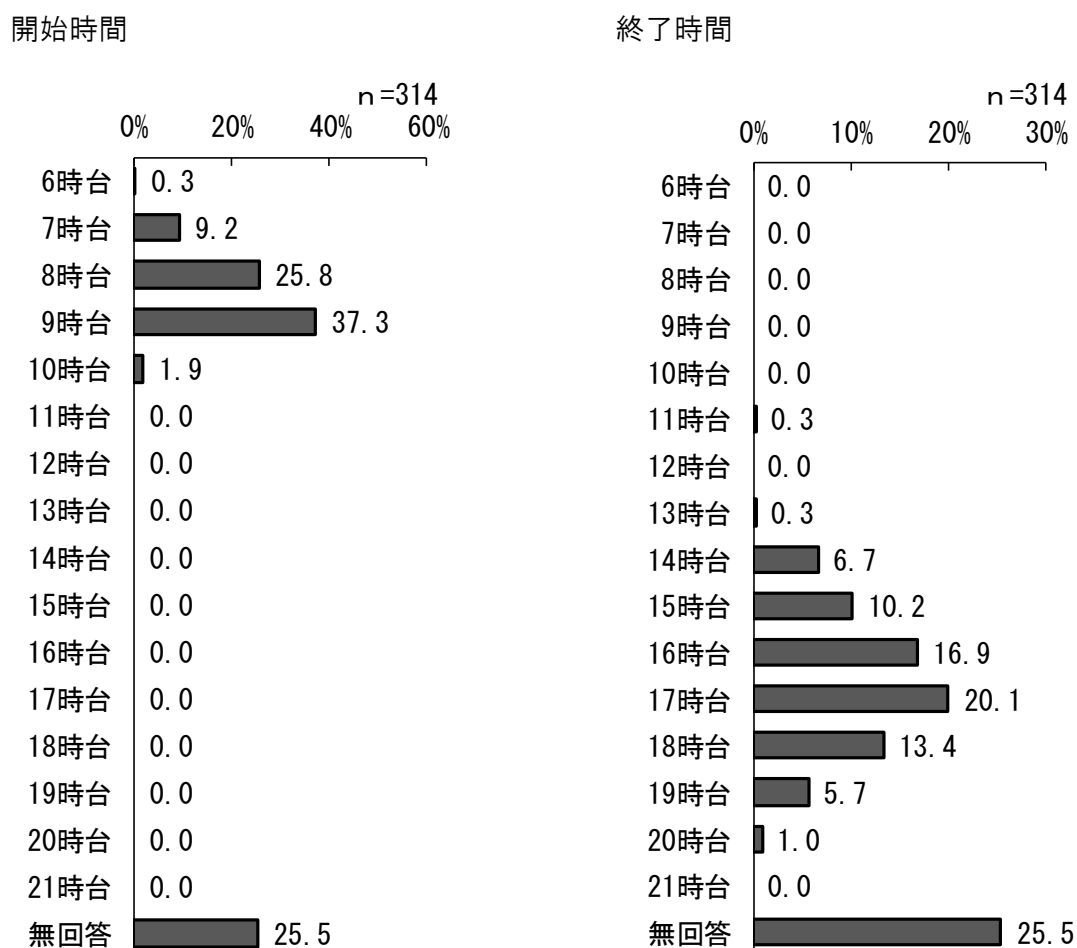
現在の1日当たり利用時間 (時間/日)

平均	7.4時間
最大値	12時間
最小値	1時間

問 14-2 (2) 希望／1日当たり開始時間・終了時間【単数回答】

希望する利用開始時間は「9時台」が37.3%と最も多く、次いで「8時台」が25.8%、「7時台」が9.2%、「10時台」が1.9%となっています。

終了時間は「17時台」が20.1%と最も多く、次いで「16時台」が16.9%、「18時台」が13.4%、「15時台」が10.2%、「14時台」が6.7%となっています。



希望する1週当たり利用日数 (日/週)

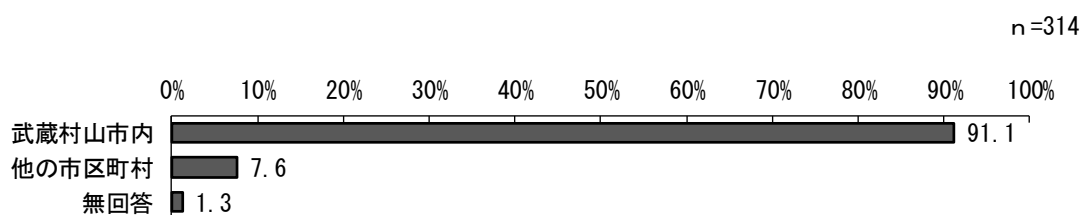
平均	5.0 日
最大値	7 日
最小値	1 日

希望する1日当たり利用時間 (時間/日)

平均	8.0 時間
最大値	12 時間
最小値	1 時間

問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所【単数回答】

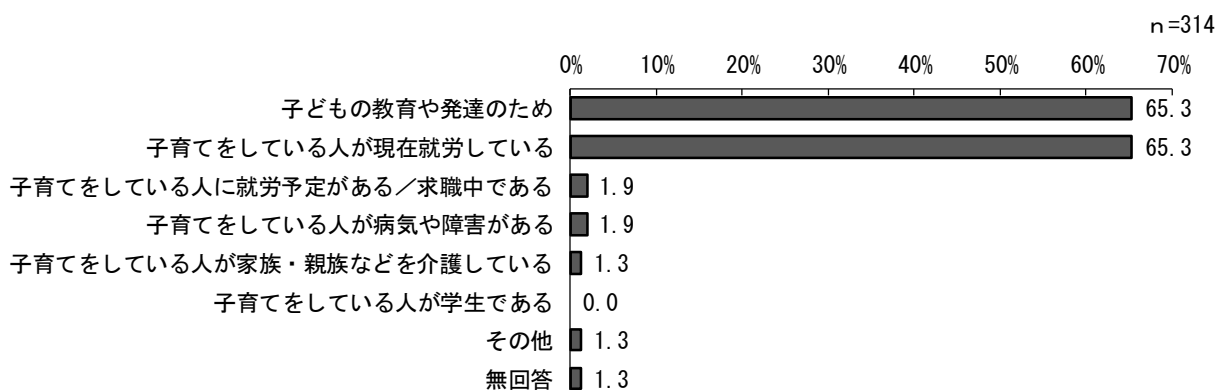
「武蔵村山市内」が91.1%、「他の市区町村」が7.6%となっています。



(事業を利用している人への質問)

問 14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由【複数回答】

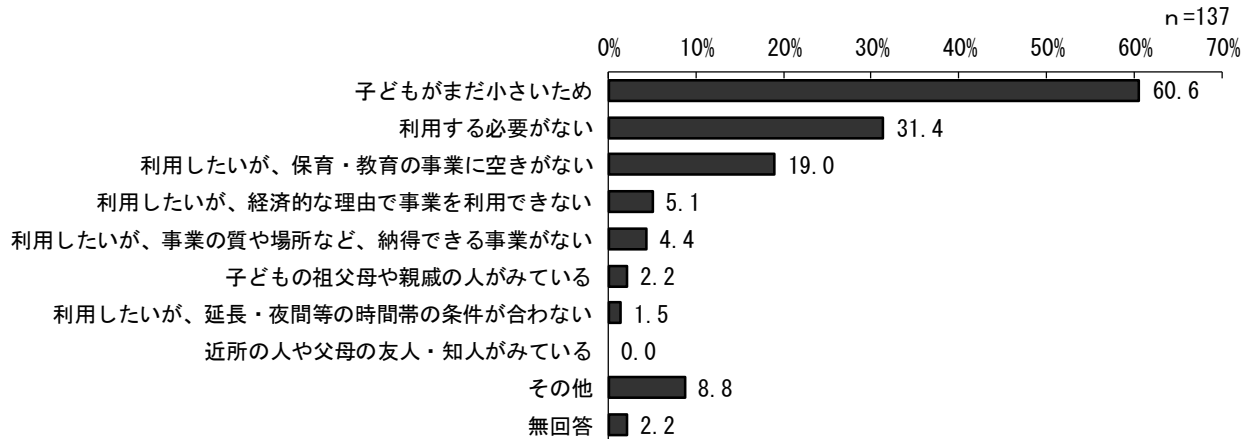
「子どもの教育や発達のため」と「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が65.3%となっており、「子育て（教育を含む）をしている人に就労予定がある／求職中である」と「子育て（教育を含む）をしている人が病気や障害がある」が1.9%、「子育て（教育を含む）をしている人が家族・親族などを介護している」が1.3%となっています。



(事業を利用していない人への質問)

問 14-5 利用していない理由【複数回答】

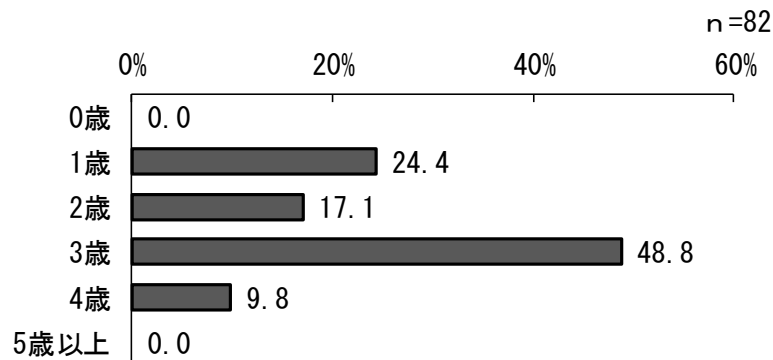
「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている)」が60.6%と最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が31.4%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が19.0%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」が5.1%、「利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」が4.4%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が2.2%、「利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」が1.5%、「近所の人や父母の友人・知人がみている」が0.0%、「その他」が8.8%、「無回答」が2.2%となっています。



(「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている)」人への質問)

利用を開始しようと考えている子どもの年齢【数量】

問 14-5で「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人の、子どもの年齢は「3歳」が48.8%と最も多く、次いで「1歳」が24.4%となっています。0歳や5歳以上の年齢を回答した人はいませんでした。

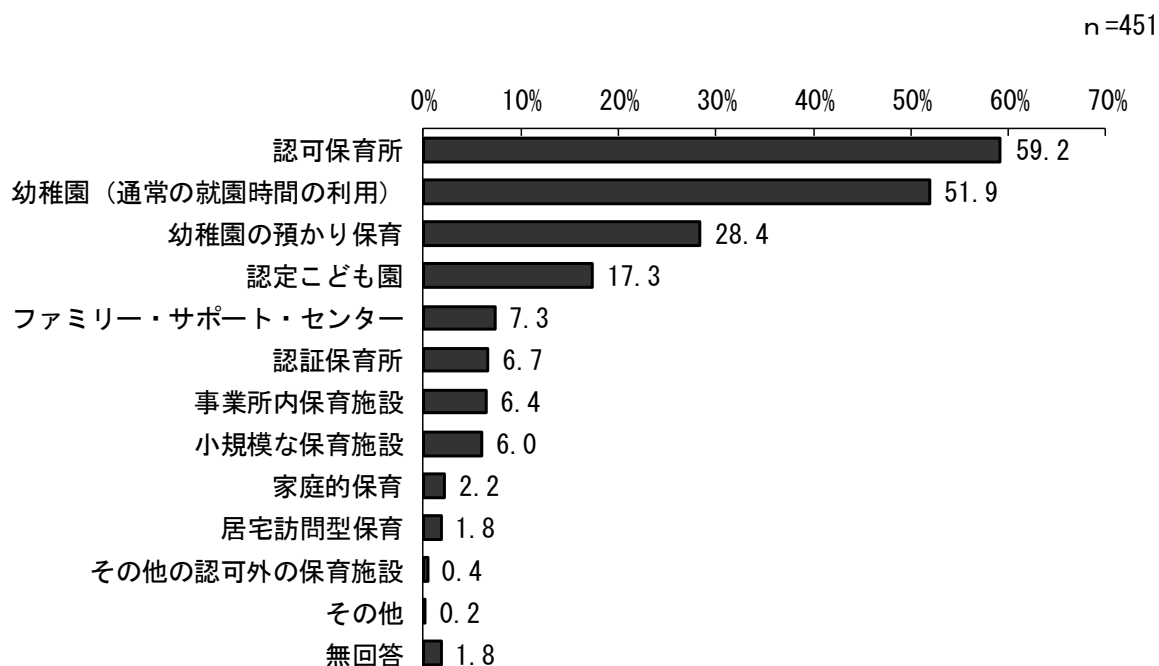


利用を開始しようと考えている子どもの年齢の平均

平均	2.4歳
最大値	4歳
最小値	1歳

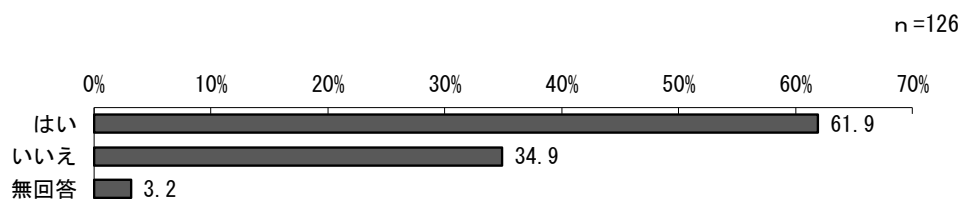
問 15 現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業【複数回答】

「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が59.2%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が51.9%、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」が28.4%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が17.3%、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が7.3%となっています。



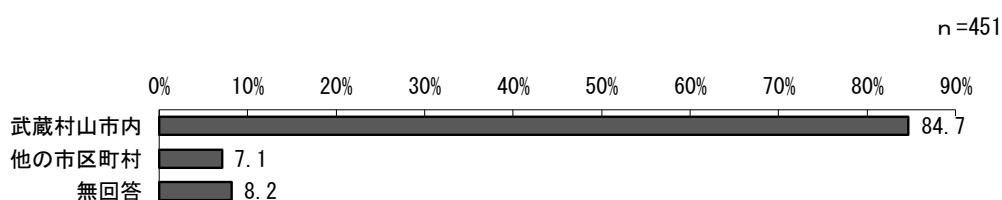
問 15-1 特に幼稚園（預かり保育含む）の利用を強く希望するか【単数回答】

「はい」が61.9%、「いいえ」が34.9%となっています。



問 16 教育・保育事業を利用したい場所【単数回答】

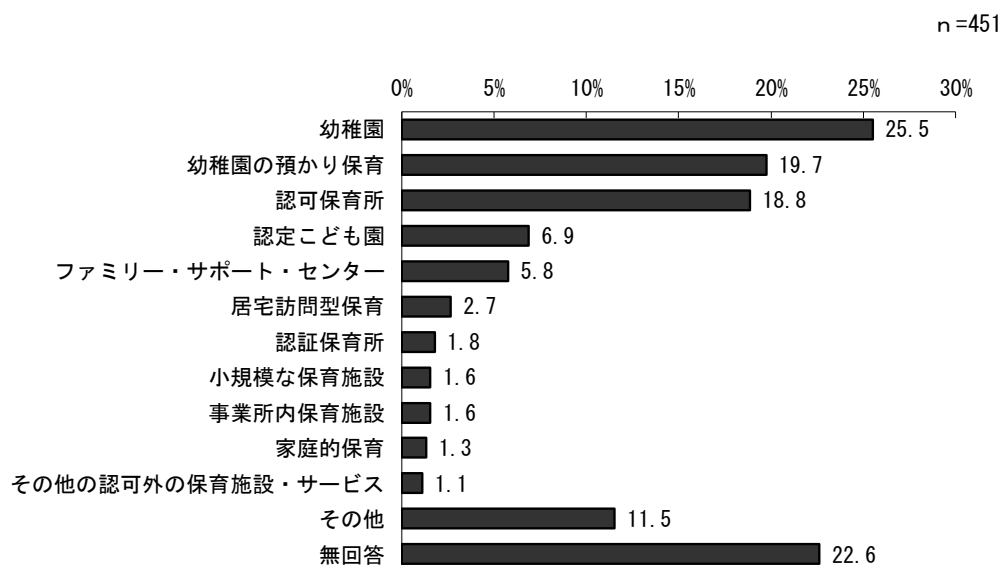
「武蔵村山市内」が84.7%、「他の市区町村」が7.1%となっています。



問 17 もし、教育・保育サービスにかかっている現在の経済的負担が減るとしたら、現在の利用から変更・追加したいと思うものはあるか【複数回答】

「幼稚園」が25.5%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が19.7%、「認可保育所」が18.8%、「その他」が11.5%、「認定こども園」が6.9%となっています。

事業名だけの選択肢であるため、特に変更・追加の意向のない方が「無回答」となり、割合が高くなったと考えられます。



※問 17 は単数回答設問だが、複数回答多数のため【複数回答】として集計。

問 17 経済的負担が減ったら変更・追加したいもの（問 14 現在の事業利用の有無別）

現在の利用の有無に関わらず、幼稚園の選択が多くなっています。2位に入っているものをみると、現在、教育・保育の事業を利用している層では「幼稚園の預かり保育」、利用していない層では「認可保育所」が入っています。

	回答数 (人)	幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 所	認定こど も園	小規模な 保育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設	認証保育 所	その他の 認可外の 保育施 設・サー ビス	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他	無回答
全体	451	25.5	19.7	18.8	6.9	1.6	1.3	1.6	1.8	1.1	2.7	5.8	11.5	22.6
利用している	314	21.3	18.8	16.2	5.4	0.6	1.3	1.3	1.3	1.0	1.9	6.1	14.0	25.2
利用していない	137	35.0	21.9	24.8	10.2	3.6	1.5	2.2	2.9	1.5	4.4	5.1	5.8	16.8

※網掛けは横軸の上位2位。

問 17 経済的負担が減ったら変更・追加したいもの（問 14-1 現在の利用内容別）

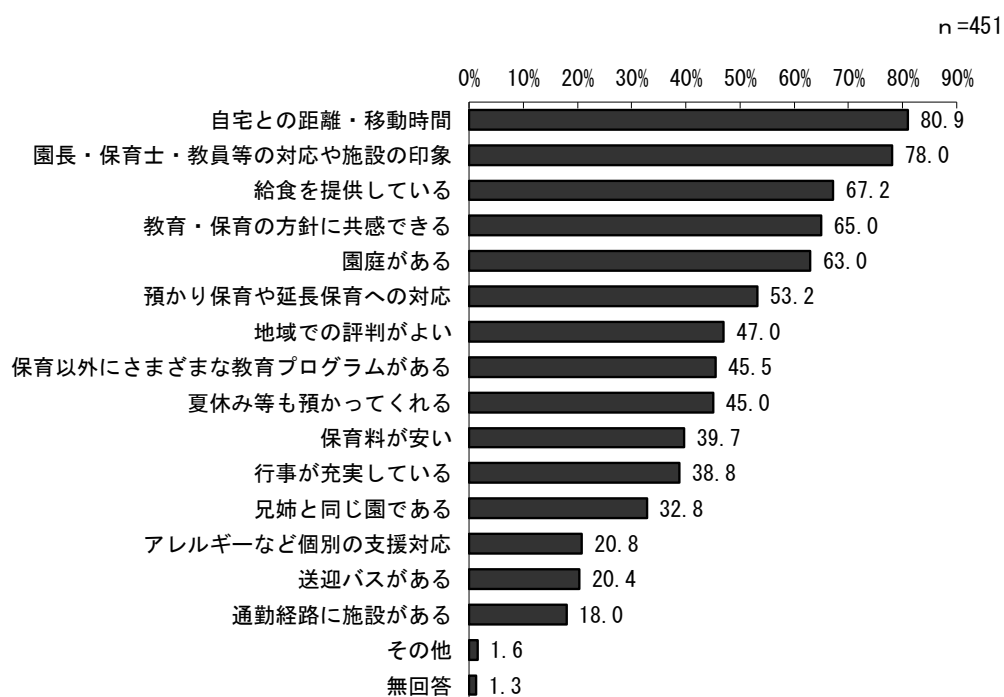
現在幼稚園（預かり保育も含む）を利用している人では、引き続き幼稚園（預かり保育を含む）が上位にあがっています。認可保育所を利用している人では2位に幼稚園が入っています。

	回答数 (人)	幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	認可保育 所	認定こど も園	小規模な 保育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設	認証保育 所	その他の 認可外の 保育施 設・サー ビス	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他	無回答
全体	451	25.5	19.7	18.8	6.9	1.6	1.3	1.6	1.8	1.1	2.7	5.8	11.5	22.6
幼稚園	108	27.8	42.6	2.8	3.7	0.9	2.8	2.8	0.0	0.0	1.9	5.6	9.3	22.2
幼稚園の預かり保育	20	30.0	50.0	10.0	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	10.0	5.0	5.0	30.0
認可保育所	192	18.2	5.7	24.5	6.3	0.0	0.5	0.5	1.0	1.6	2.1	6.8	16.7	26.0
認定こども園	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
小規模な保育施設	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
認証保育所	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
その他の認可外の保育施設	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
居宅訪問型保育	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

※網掛けは横軸の上位（同数値含む）2位。

問 18 教育・保育サービス（施設）を選ぶ際に、重視すること【複数回答】

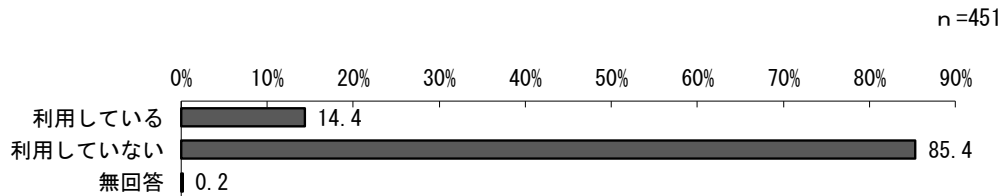
「自宅との距離・移動時間」が80.9%と最も多く、次いで「園長・保育士・教員等の対応や施設の印象」が78.0%、「給食を提供している」が67.2%、「教育・保育の方針に共感できる」が65.0%、「園庭がある」が63.0%となっています。



5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 19 現在、市内保育所で実施している『子育てセンター』（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、国の事業名では「地域子育て支援拠点事業」）を利用しているか【単数回答】

「利用していない」が85.4%、「利用している」が14.4%となっています。



現在の1週当たり利用回数（回／週）

平均	2.1回
最大値	6回
最小値	1回

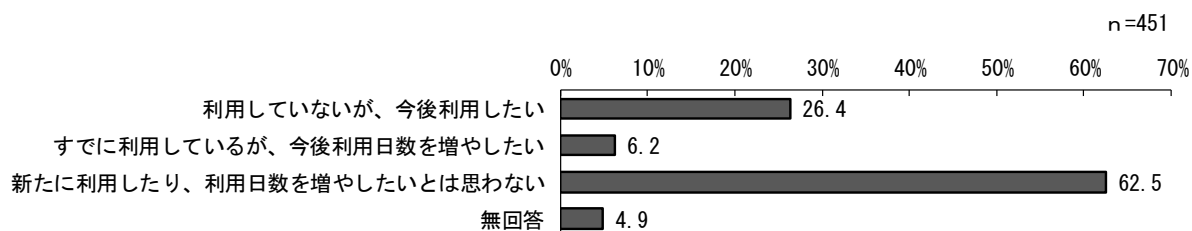
現在の1月当たり利用回数（回／月）

平均	2.9回
最大値	15回
最小値	1回

問 20 問 19 のような「地域子育て支援拠点事業」（『子育てセンター』）について、「今は利用していないができれば今後利用したい」、あるいは「利用日数を増やしたい」と思うか

【単数回答】

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 62.5% と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 26.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 6.2% となっています。



今後利用したい 1 週当たり利用回数（回／週）

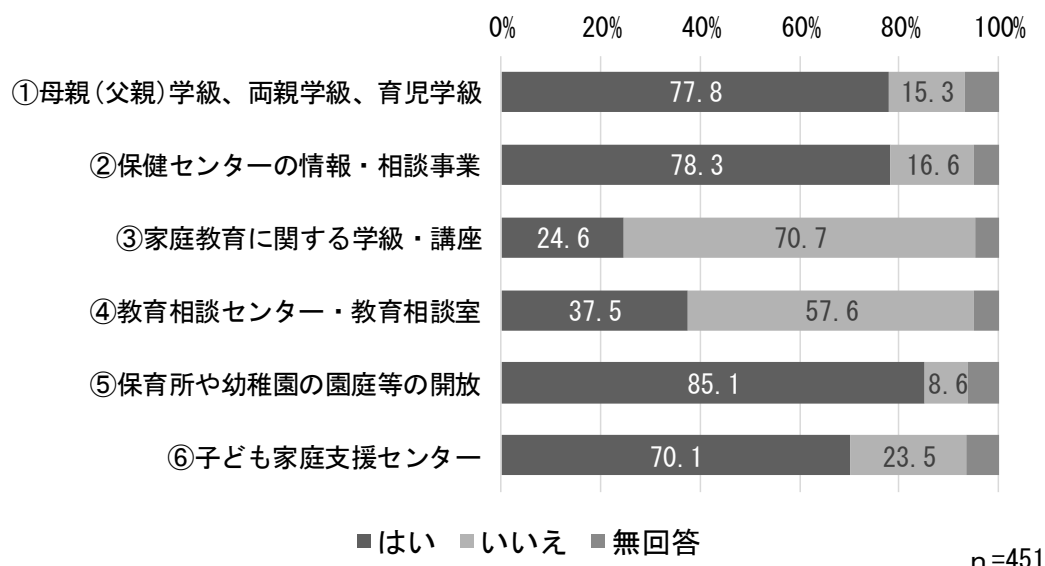
平均	1.3 回
最大値	3 回
最小値	1 回

今後利用したい 1 月当たり利用回数（回／月）

平均	2.1 回
最大値	8 回
最小値	1 回

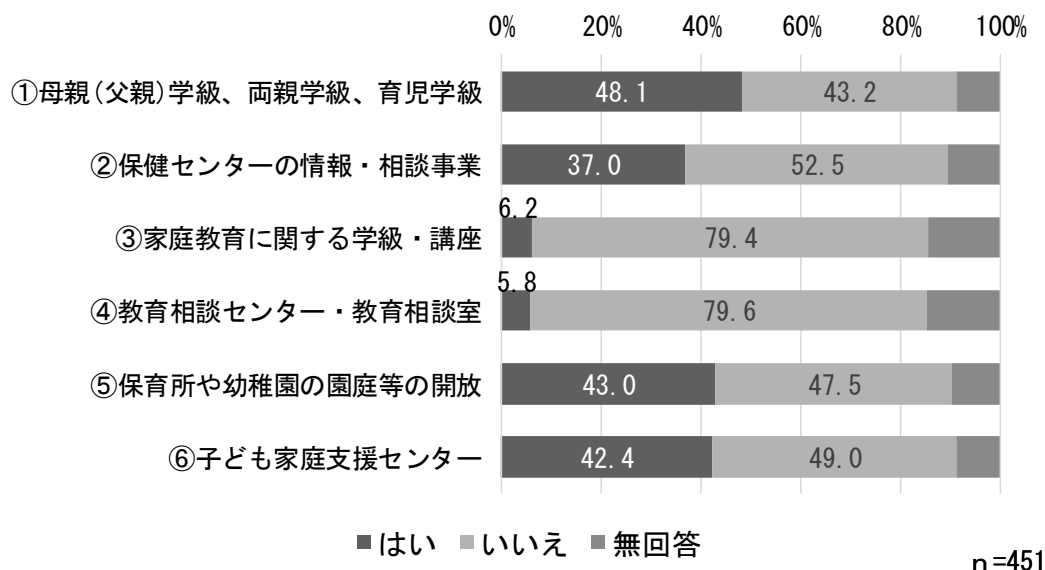
問 21 事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの/A知っている【単数回答】

「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」の「はい」が 85.1%で最も認知度が高く、「②保健センターの情報・相談事業」と「①母親(父親)学級、両親学級、育児学級」と「⑥子ども家庭支援センター」が 70%以上の認知度となっています。



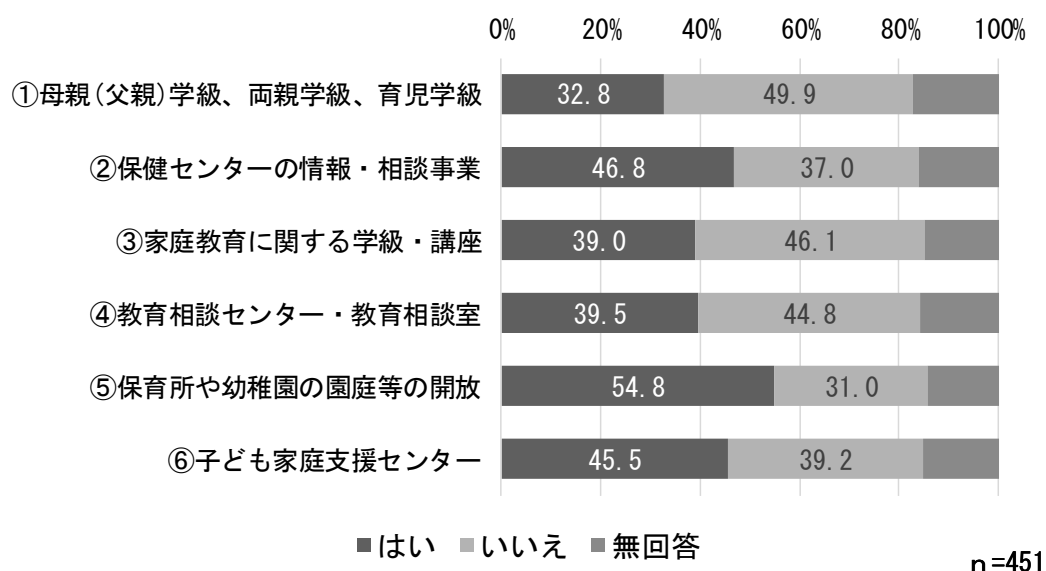
問 21 事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの/Bこれまでに利用したことがある【単数回答】

「①母親(父親)学級、両親学級、育児学級」の「はい」が 48.1%で最も利用実績が多く、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」と「⑥子ども家庭支援センター」が 40%以上の利用実績となっています。



問 21 事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うもの／C今後利用したい【単数回答】

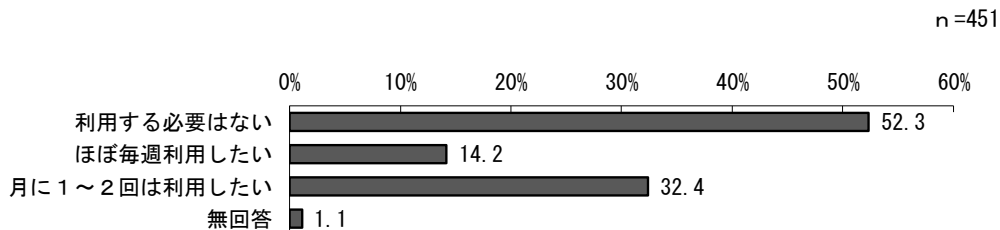
「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」の「はい」が 54.8%で最も今後の利用希望が多く、「②保健センターの情報・相談事業」と「⑥子ども家庭支援センター」が 40%以上の利用意向となっています。利用意向についてはいずれの事業も 30%を超え、総じて高くなっています。



6. 土、日・祝日や長期休暇中の事業利用希望について

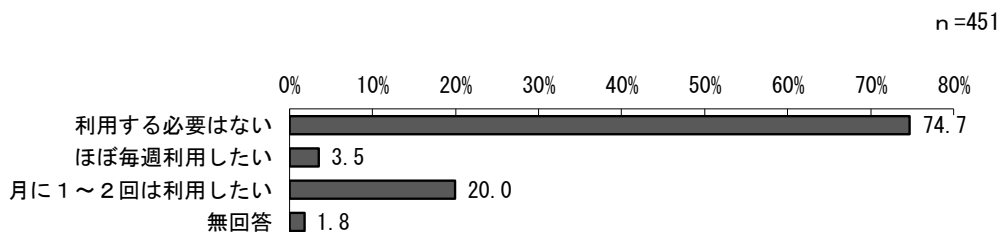
問 22 (1) 土曜日／定期的な教育・保育事業の利用希望【単数回答】

「利用する必要はない」が52.3%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が32.4%、「ほぼ毎週利用したい」が14.2%となっています。



問 22 (2) 日曜・祝日／定期的な教育・保育事業の利用希望【単数回答】

「利用する必要はない」が74.7%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が20.0%、「ほぼ毎週利用したい」が3.5%となっています。



問 23 夏休み・冬休みなど休暇期間中／教育・保育事業の利用希望【単数回答】

「休みの期間中、週に数日利用したい」が46.8%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が42.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が7.3%となっています。

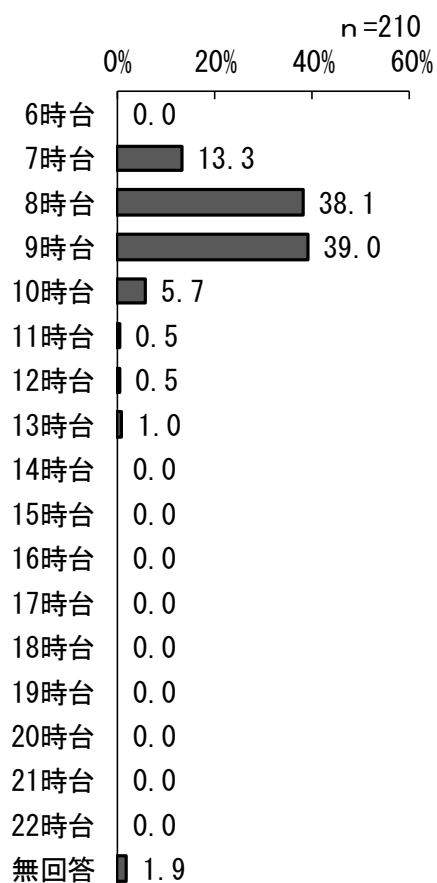


問 22 (1) 土曜日／利用したい時間帯 開始時間・終了時間【単数回答】

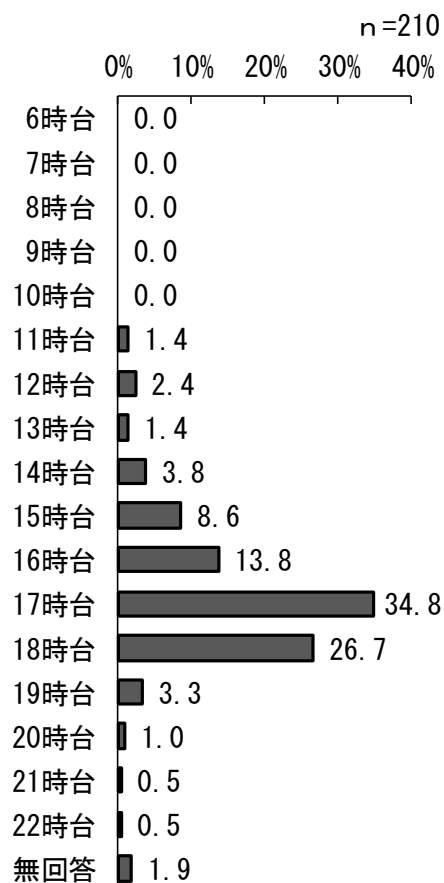
土曜日に利用を開始したい時間は「9 時台」が 39.0%と最も多く、次いで「8 時台」が 38.1%、「7 時台」が 13.3%、「10 時台」が 5.7%、「13 時台」が 1.0%となっています。

終了時間は「17 時台」が 34.8%と最も多く、次いで「18 時台」が 26.7%、「16 時台」が 13.8%、「15 時台」が 8.6%、「14 時台」が 3.8%となっています。

開始時間



終了時間

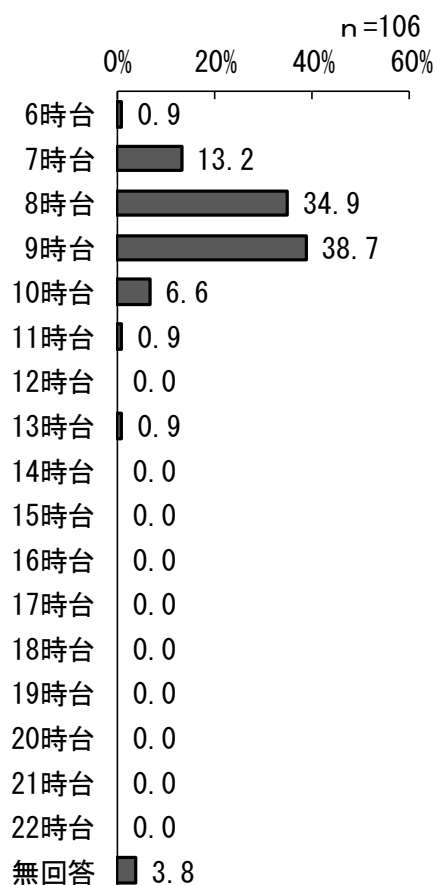


問 22 (2) 日曜・祝日／利用したい時間帯 開始時間・終了時間【単数回答】

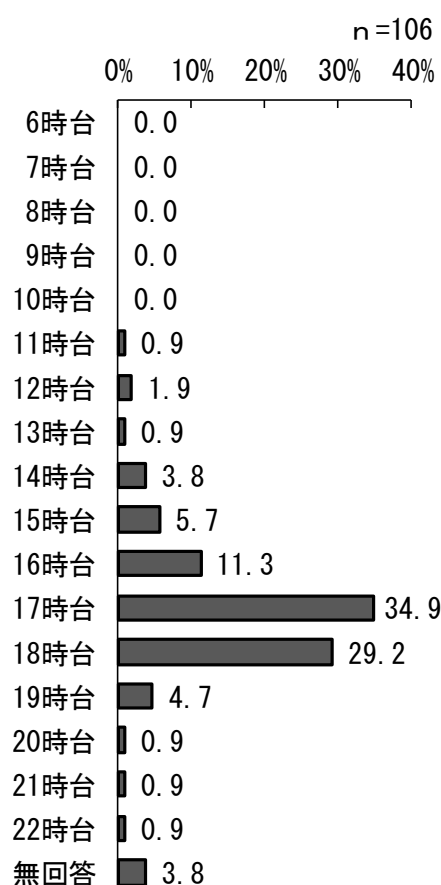
日曜・祝日に利用を開始したい時間は「9 時台」が 38.7%と最も多く、次いで「8 時台」が 34.9%、「7 時台」が 13.2%、「10 時台」が 6.6%となっています。

終了時間は「17 時台」が 34.9%と最も多く、次いで「18 時台」が 29.2%、「16 時台」が 11.3%、「15 時台」が 5.7%、「19 時台」が 4.7%となっています。

開始時間



終了時間



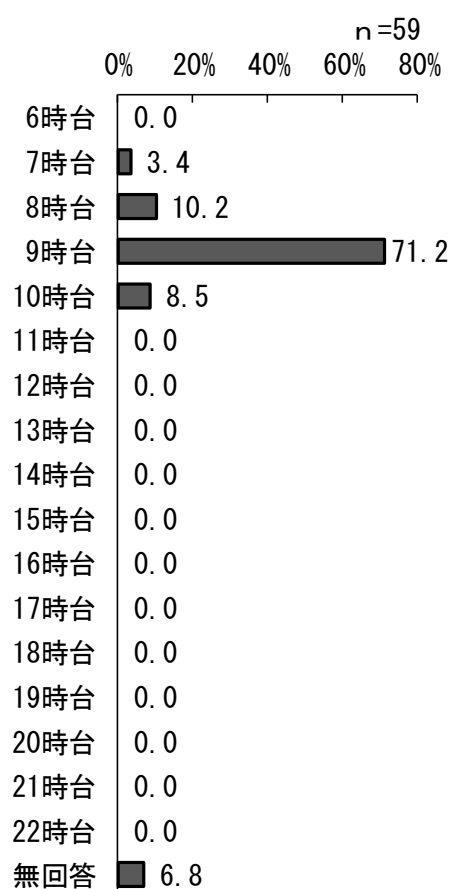
問 23 休暇期間中／利用したい時間帯 開始時間・終了時間【単数回答】

夏休み・冬休みなど休暇期間中に利用を開始したい時間は「9 時台」が 71.2%と最も多く、次いで「8 時台」が 10.2%、「10 時台」が 8.5%、「7 時台」が 3.4%となっています。

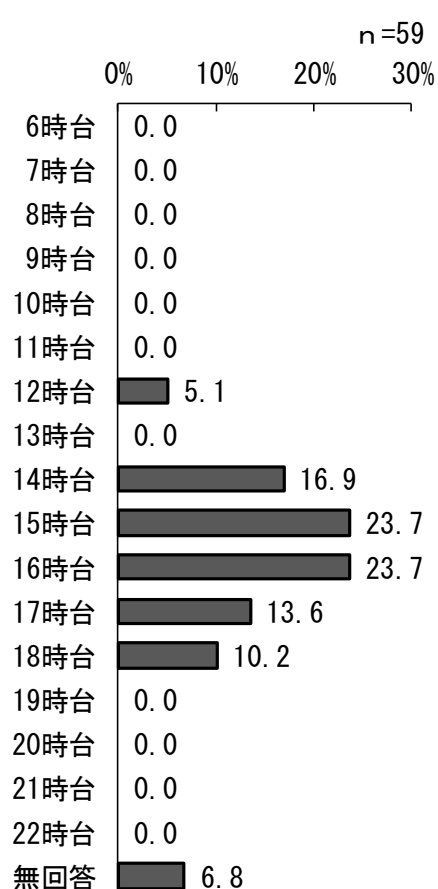
終了時間は「15 時台」と「16 時台」が 23.7%と最も多く、「14 時台」が 16.9%、「17 時台」が 13.6%、「18 時台」が 10.2%となっています。

土曜日や日曜・祝日と比べると、全体的に開始したい時間は遅く、終了時間は早くなっています。

開始時間



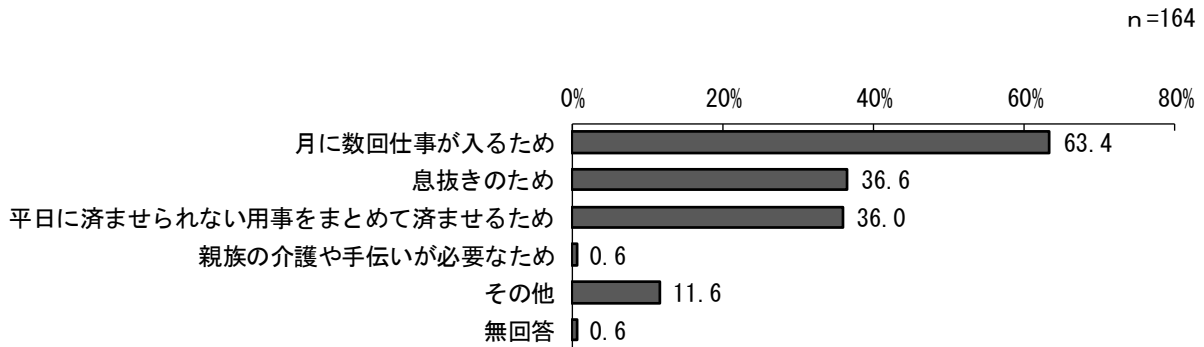
終了時間



(土曜日・日曜・祝日で月に1～2回は利用したい人への質問)

問 22-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由【複数回答】

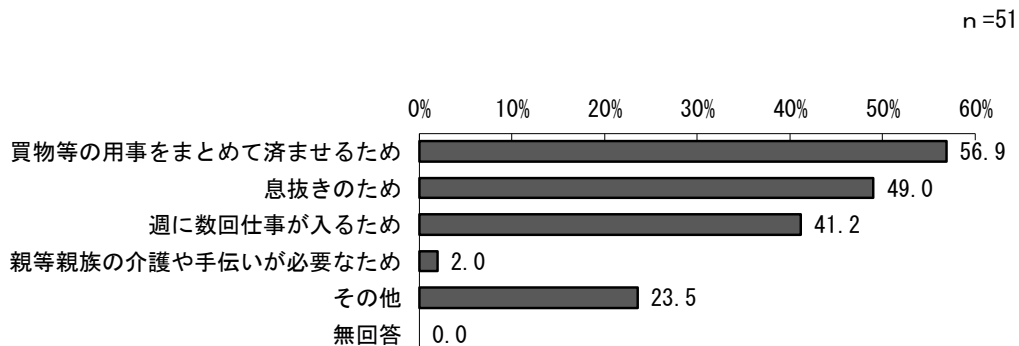
「月に数回仕事が入るため」が63.4%と最も多く、次いで「息抜きのため」が36.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が36.0%、「その他」が11.6%となっています。



(休暇期間中で月に1～2回は利用したい人への質問)

問 23-1 休暇期間中／毎日ではなく、たまに利用したい理由【複数回答】

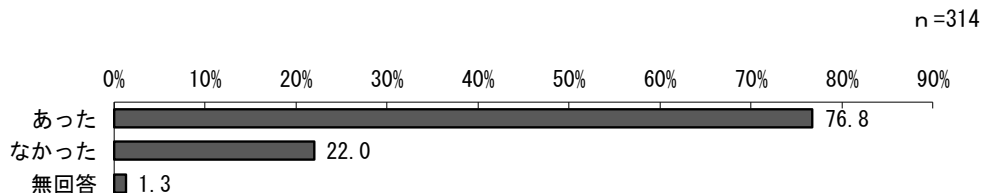
「買物等の用事をまとめて済ませるため」が56.9%と最も多く、次いで「息抜きのため」が49.0%、「週に数回仕事が入るため」が41.2%、「その他」が23.5%、「親等親族の介護や手伝いが必要なため」が2.0%となっています。



7. 病気等の際の対応について

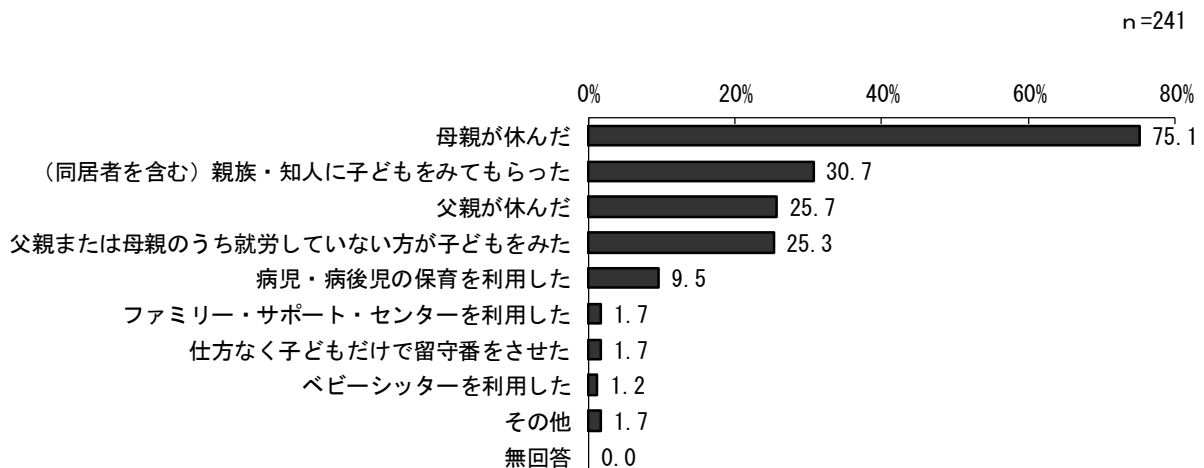
問 24 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかった経験
【単数回答】

「あった」が76.8%、「なかった」が22.0%となっています。



問 24-1 病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法【複数回答】

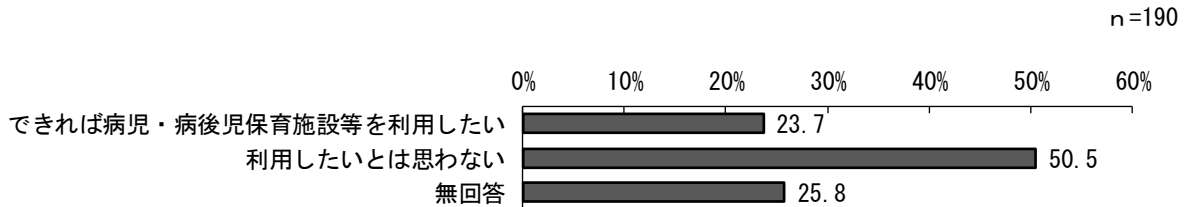
「母親が休んだ」が75.1%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が30.7%、「父親が休んだ」が25.7%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.3%、「病児・病後児の保育を利用した」が9.5%となっています。



(母親もしくは父親が休んだ人への質問)

問 24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか
【単数回答】

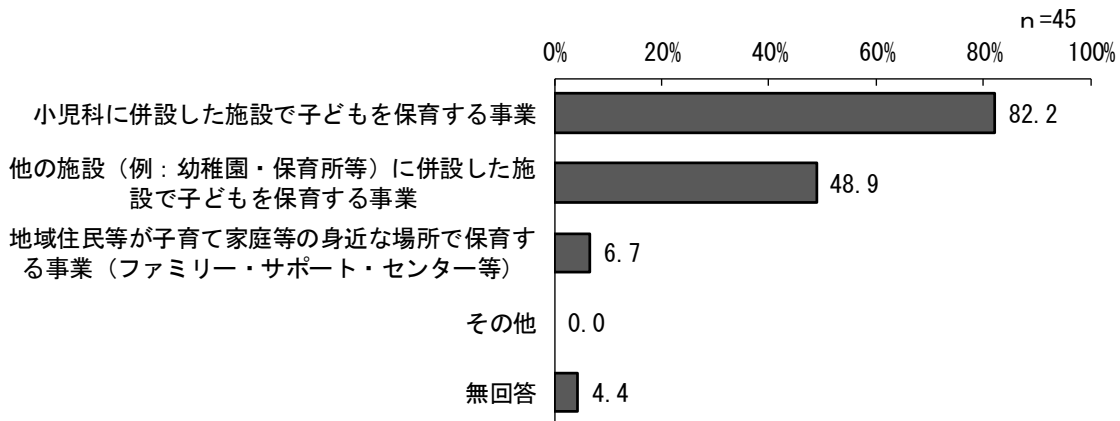
「利用したいとは思わない」が 50.5%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 23.7%となっています。



(できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい人への質問)

問 24-3 子どもを預ける場合、いずれの事業形態が望ましいと思うか【複数回答】

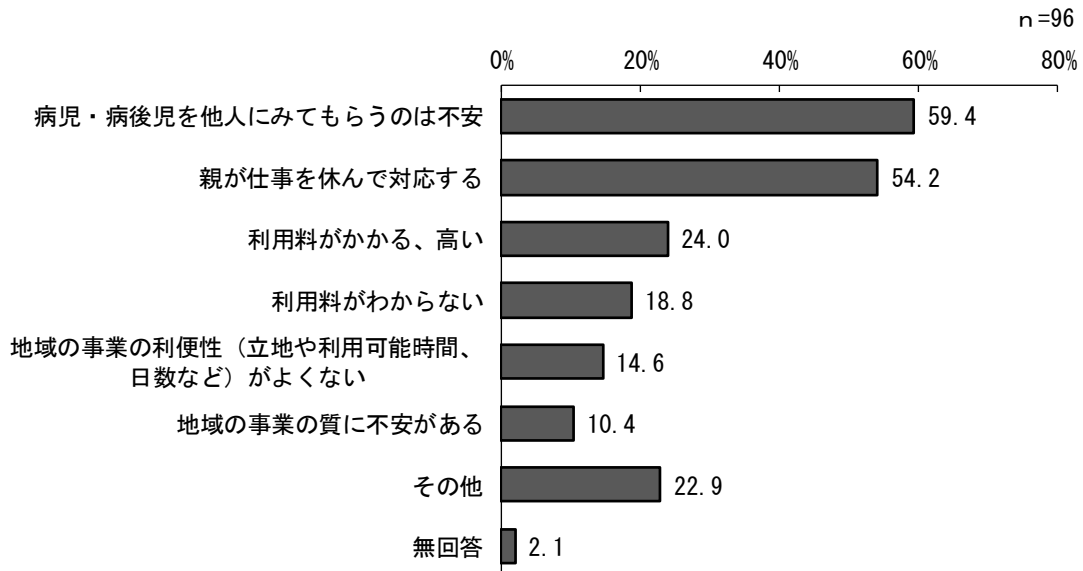
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 82.2%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 48.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」が 6.7%となっています。



(病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない人への質問)

問 24-4 そう思う理由【複数回答】

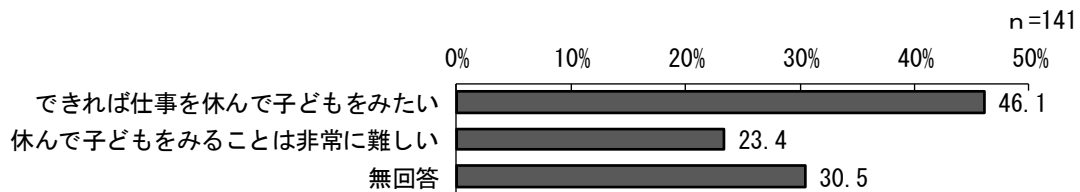
「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 59.4%と最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 54.2%、「利用料がかかる、高い」が 24.0%、「その他」が 22.9%、「利用料がわからない」が 18.8%となっています。



(母親・父親が休まなかった人への質問)

問 24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思ったか【単数回答】

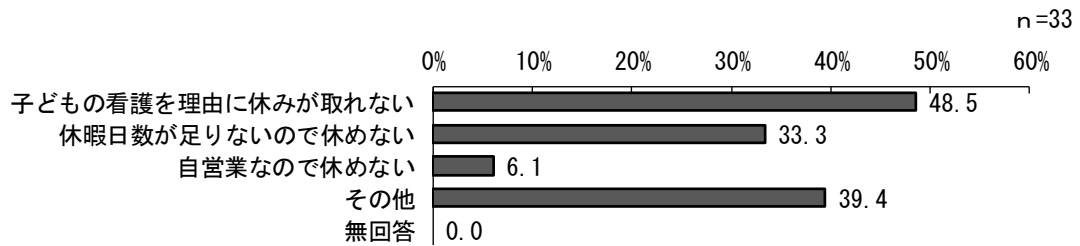
「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が 46.1%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が 23.4%となっています。



(休んで子どもをみることは非常に難しい人への質問)

問 24-6 そう思う理由【複数回答】

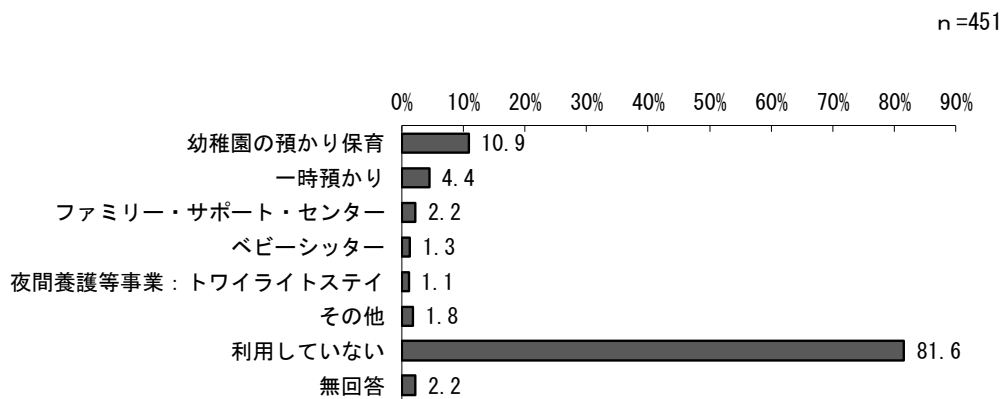
「子どもの看護を理由に休みが取れない」が 48.5%と最も多く、次いで「その他」が 39.4%、「休暇日数が足りないので休めない」が 33.3%、「自営業なので休めない」が 6.1% となっています。



8. 不定期の教育・保育や宿泊を伴う事業の利用について

問 25 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不
定期に利用している事業の有無【複数回答】

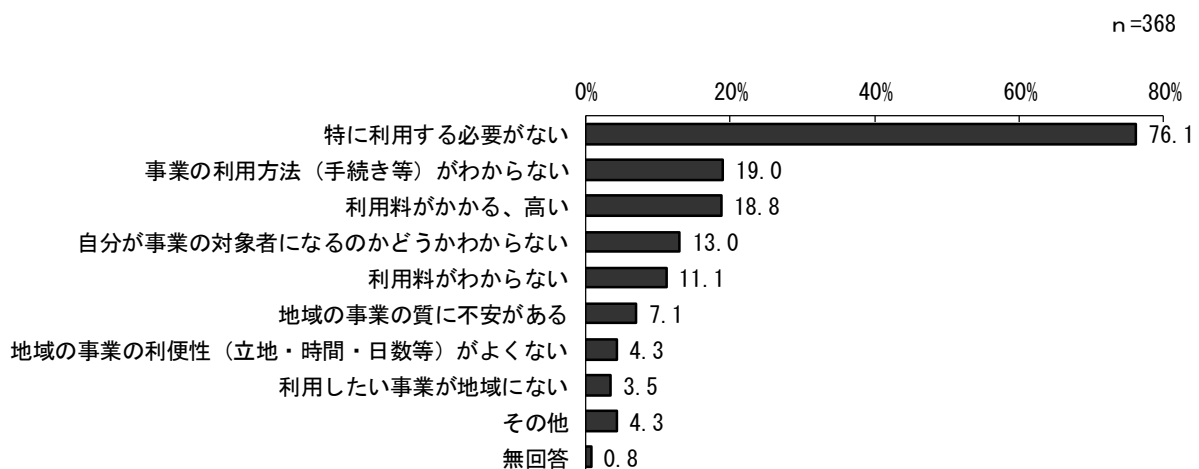
「利用していない」が 81.6%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 10.9%、「一
時預かり」が 4.4%、「ファミリー・サポート・センター」が 2.2%、「その他」が 1.8%と
なっています。



(利用していない人への質問)

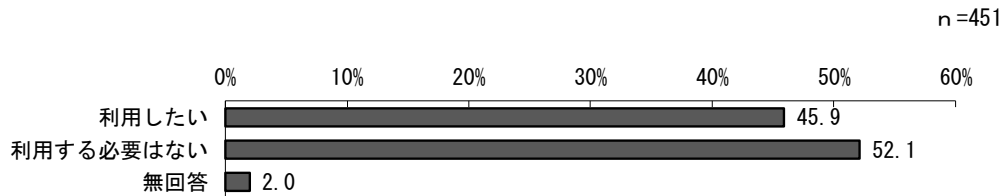
問 25-1 現在利用していない理由【複数回答】

「特に利用する必要がない」が 76.1%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)
がわからない」が 19.0%、「利用料がかかる、高い」が 18.8%、「自分が事業の対象者にな
るのかわからない」が 13.0%、「利用料がわからない」が 11.1%となっています。



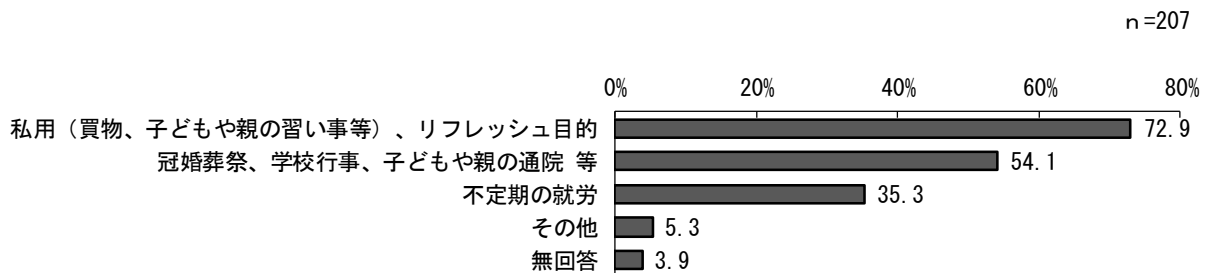
問 26 私用・親の通院・不特定の就労等の目的で事業を利用する必要【単数回答】

「利用する必要はない」が 52.1%、「利用したい」が 45.9%となっています。



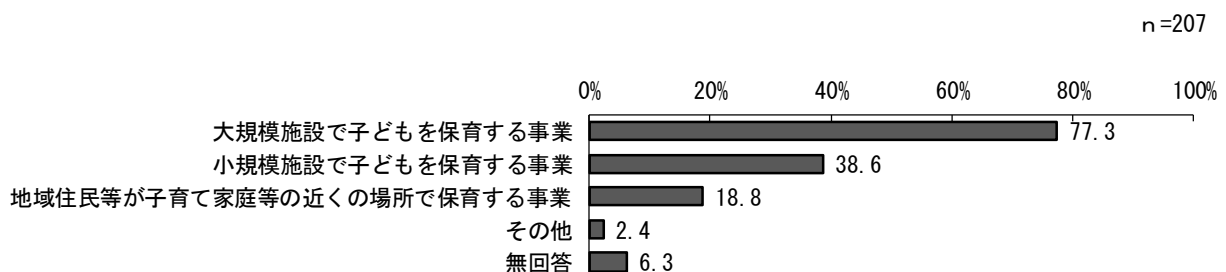
問 26 利用目的【複数回答】

「私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 72.9%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 54.1%、「不特定の就労」が 35.3%、「その他」が 5.3%となっています。



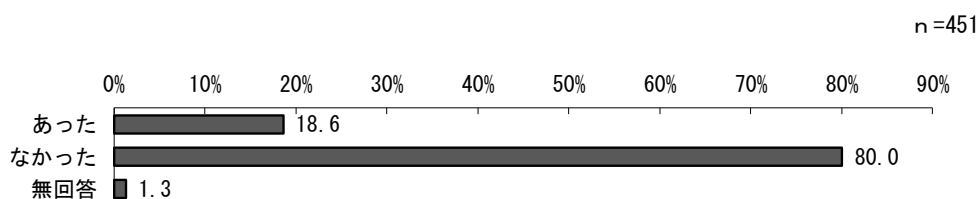
問 26-1 問 26 の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思うか【複数回答】

「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が 77.3%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（定員 6～19 人程度のもの）」が 38.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が 18.8%、「その他」が 2.4%となっています。



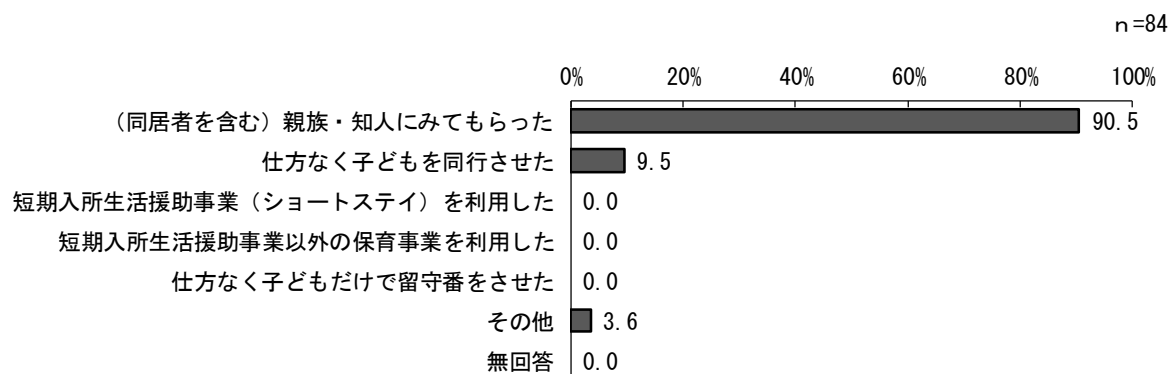
問 27 この1年間に、保護者の用事など（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか【単数回答】

「なかった」が80.0%、「あった」が18.6%となっています。



問 27 対処方法【複数回答】

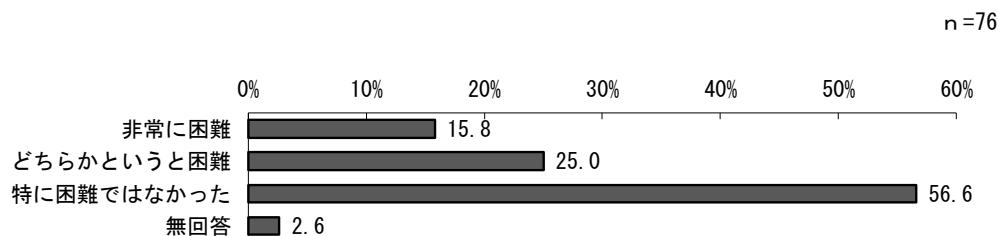
「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が90.5%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が9.5%、「その他」が3.6%となっています。



((同居者を含む) 親族・知人にみてもらった人への質問)

問 27-1 その場合の困難度【単数回答】

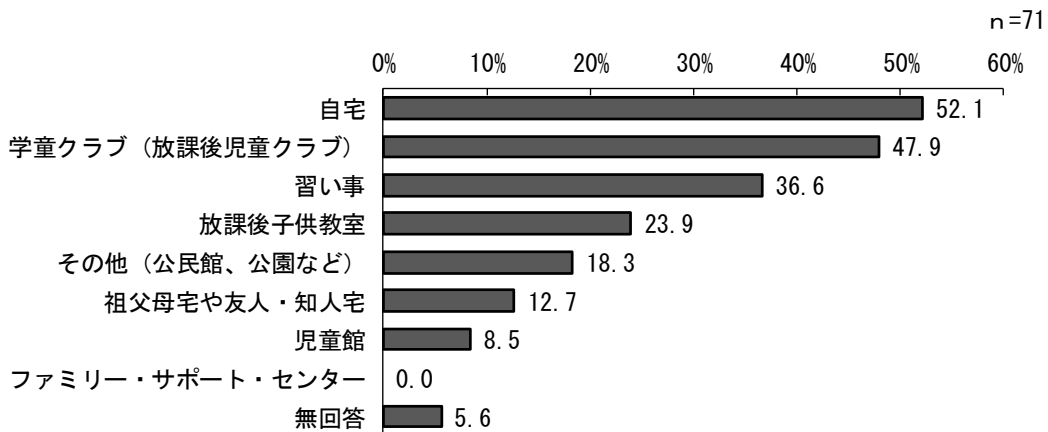
「特に困難ではなかった」が56.6%と最も多く、次いで「どちらかという困難」が25.0%、「非常に困難」が15.8%となっています。



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 28 低学年／平日の放課後を過ごさせたい場所【複数回答】

「自宅」が 52.1%と最も多く、次いで「学童クラブ（放課後児童クラブ）」（以下、学童クラブと表記）が 47.9%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 36.6%、「放課後子供教室」が 23.9%、「その他（公民館、公園など）」が 18.3%となっています。



※以下、本文中「学童クラブ（放課後児童クラブ）」は「学童クラブ」と表記。

問 28 低学年／放課後を過ごさせたい日数の平均と学童クラブの利用希望時間帯

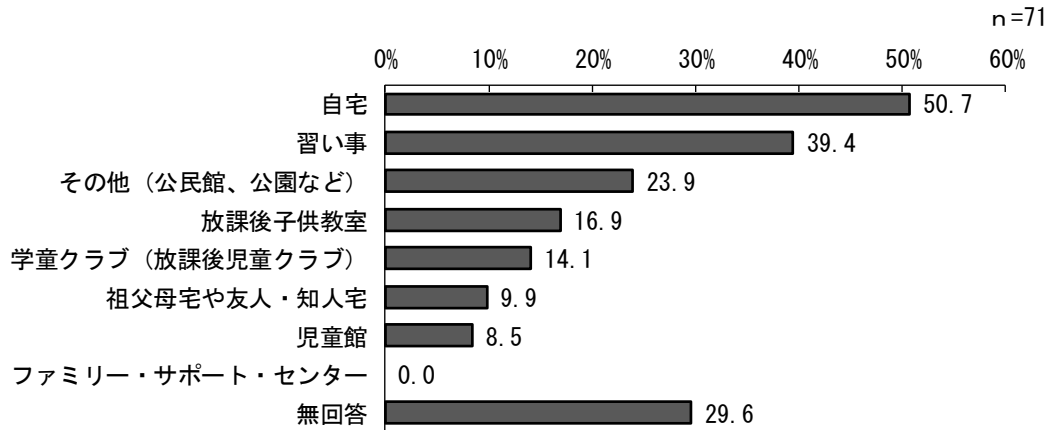
低学年の間、学童クラブについて下校時から何時までの利用を希望するかでは「18 時台」が 41.2%と最も多く、次いで「17 時台」が 23.5%、「19 時台」が 14.7%、「16 時台」が 8.8%、「15 時台」が 5.9%となっています。

放課後を過ごさせたい日数の平均（週当たり）	（日）
自宅	3.31
祖父母宅や友人・知人宅	1.56
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	1.69
児童館	2.20
放課後子供教室	2.69
学童クラブ（放課後児童クラブ）	4.32
ファミリー・サポート・センター	0.00
その他（公民館、公園など）	2.08

下校時から何時まで学童クラブで過ごさせたいか	回答数	%
15時台	2	5.9
16時台	3	8.8
17時台	8	23.5
18時台	14	41.2
19時台	5	14.7
20時以降	0	0.0
無回答	2	5.9
非該当	417	
全体	34	100.0

問 28 高学年／平日の放課後を過ごさせたい場所【複数回答】

「自宅」が50.7%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が39.4%、「その他（公民館、公園など）」が23.9%、「放課後子供教室」が16.9%、「学童クラブ」が14.1%となっています。



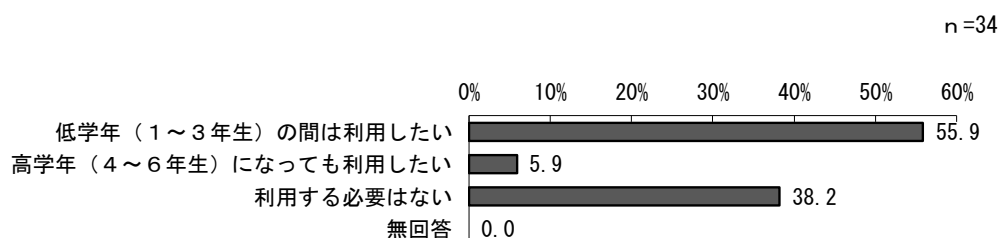
問 28 高学年／放課後を過ごさせたい日数の平均と学童クラブの利用希望時間帯

高学年になってから、学童クラブについて下校時から何時までの利用を希望するかでは「17時台」と「18時台」が40.0%、「19時台」が20.0%となっています。

放課後を過ごさせたい日数の平均（週当たり）（日）		下校時から何時まで学童クラブで過ごさせたいか		
自宅	3.26	下校時から〇時まで	回答数	%
祖父母宅や友人・知人宅	1.71	15時台	0	0.0
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	1.93	16時台	0	0.0
児童館	2.60	17時台	4	40.0
放課後子供教室	2.55	18時台	4	40.0
学童クラブ（放課後児童クラブ）	4.40	19時台	2	20.0
ファミリー・サポート・センター	0.00	20時以降	0	0.0
その他（公民館、公園など）	2.50	無回答	0	
		非該当	441	
		全体	10	100.0

問 29 (1) 土曜日／学童クラブの利用希望【単数回答】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が55.9%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が38.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5.9%となっています。

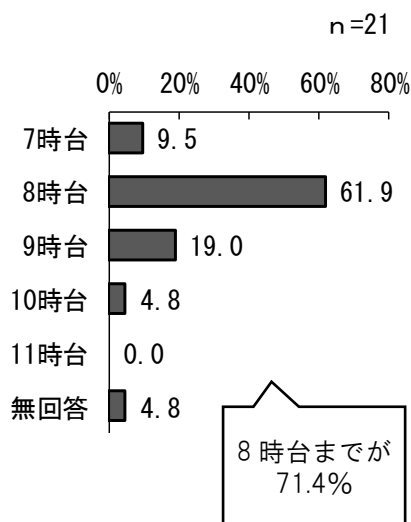


問 29 (1) 土曜日／学童クラブを利用したい時間帯／開始時間・終了時間

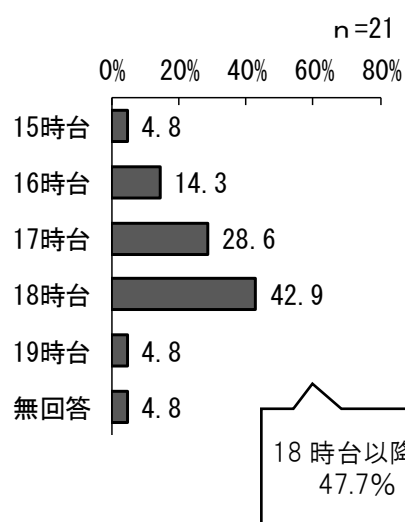
土曜日に利用したい開始時間は「8時台」が61.9%と最も多く、次いで「9時台」が19.0%、「7時台」が9.5%、「10時台」が4.8%となっています。

終了時間は「18時台」が42.9%と最も多く、次いで「17時台」が28.6%、「16時台」が14.3%、「15時台」と「19時台」が4.8%となっています。

開始時間

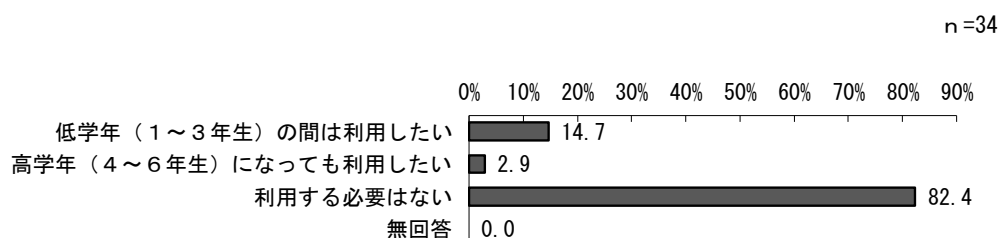


終了時間



問 29 (2) 日曜・祝日／学童クラブの利用希望 【単数回答】

「利用する必要はない」が82.4%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が14.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が2.9%となっています。

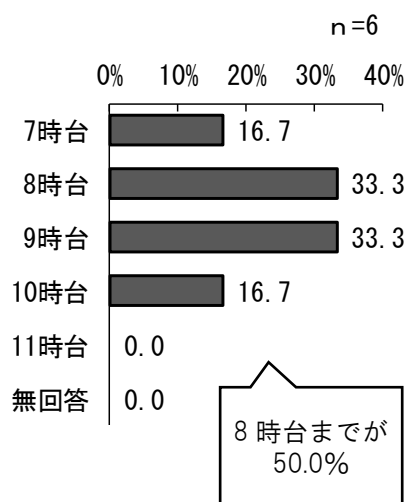


問 29 (2) 日曜・祝日／学童クラブを利用したい時間帯／開始時間・終了時間

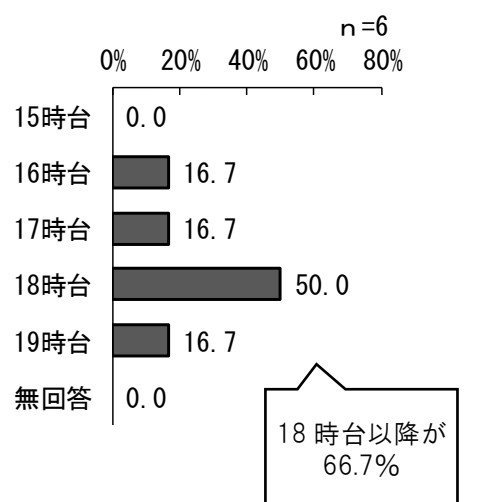
日曜・祝日に利用したい開始時間は「8時台」と「9時台」が33.3%と最も多く、「7時台」と「10時台」が16.7%となっています。

終了時間は「18時台」が50.0%と最も多く、「16時台」と「17時台」と「19時台」が16.7%となっています。

開始時間



終了時間

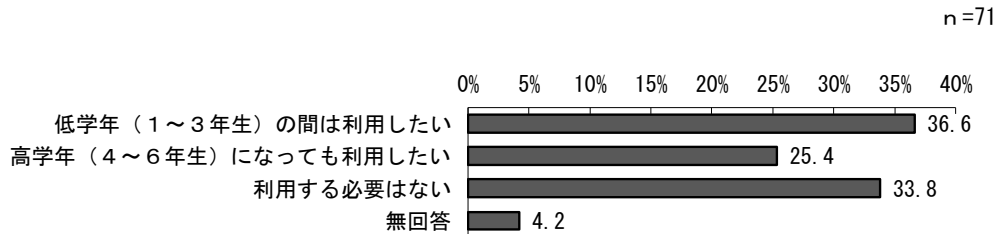


※n=6であることに留意が必要。

問 30 お子さんの夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか

【単数回答】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が36.6%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が33.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が25.4%となっています。

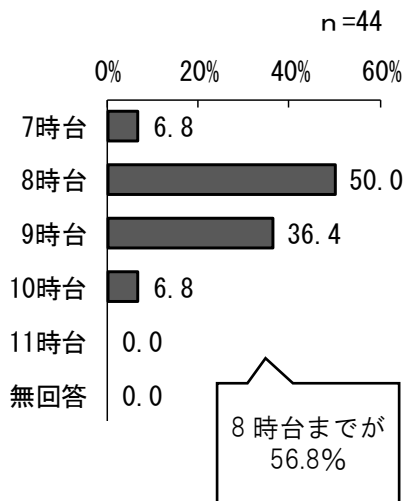


問 30 休暇期間中／学童クラブを利用したい時間帯／開始時間・終了時間

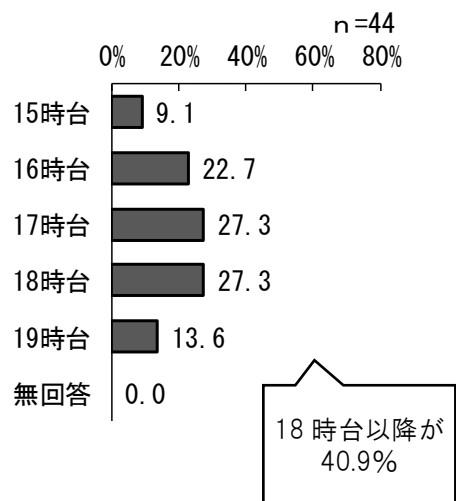
休暇期間中に利用したい開始時間は「8時台」が50.0%と最も多く、「9時台」が36.4%、「7時台」と「10時台」が6.8%となっています。

終了時間は「17時台」と「18時台」が27.3%と最も多く、「16時台」が22.7%、「19時台」が13.6%、「15時台」が9.1%となっています。

開始時間



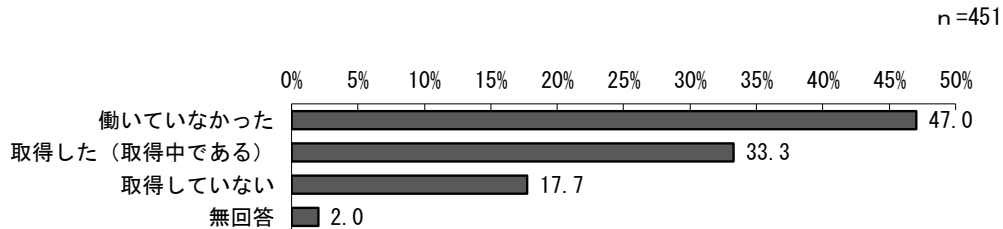
終了時間



10. 育児休業や短時間勤務制度などについて

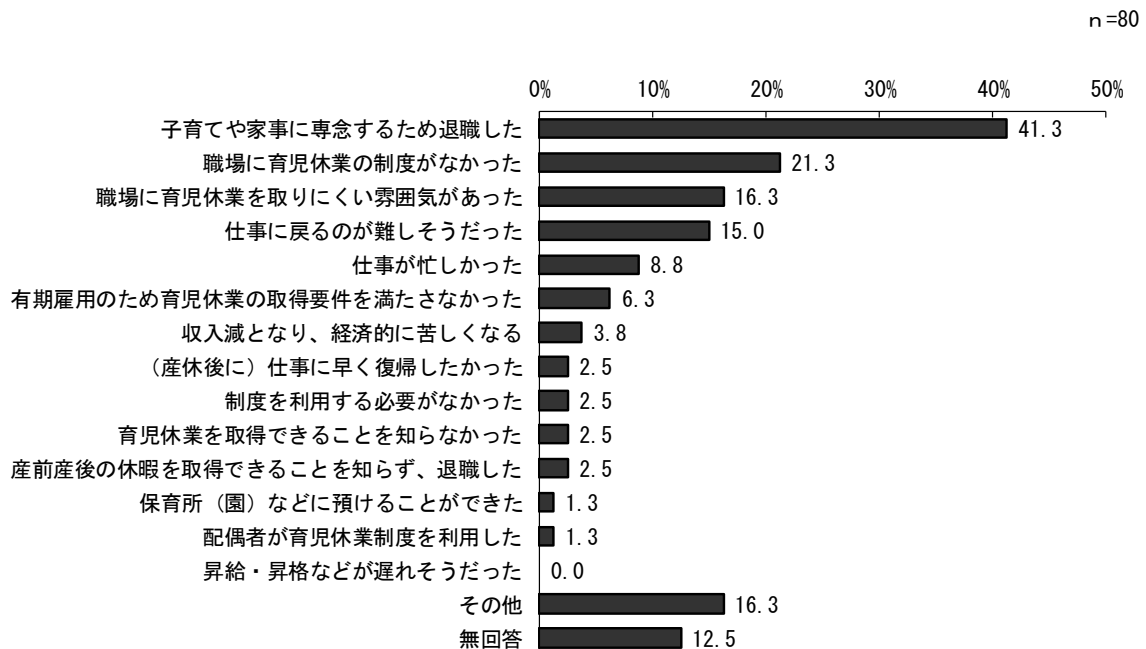
問 31 お母さん／育児休業を取得しましたか【単数回答】

「働いていなかった」が47.0%と最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が33.3%、「取得していない」が17.7%となっています。



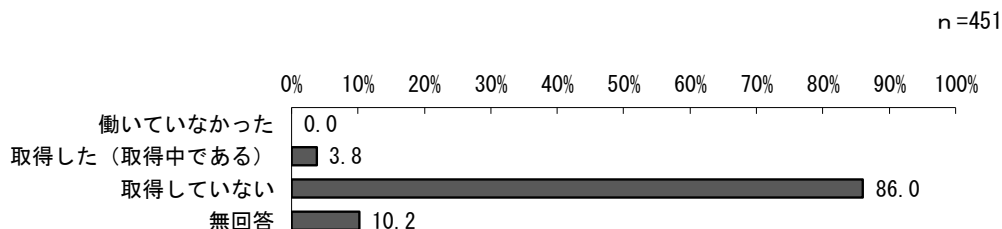
問 31 お母さん／取得していない理由【複数回答】

「子育てや家事に専念するため退職した」が41.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が21.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「その他」が16.3%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が15.0%となっています。



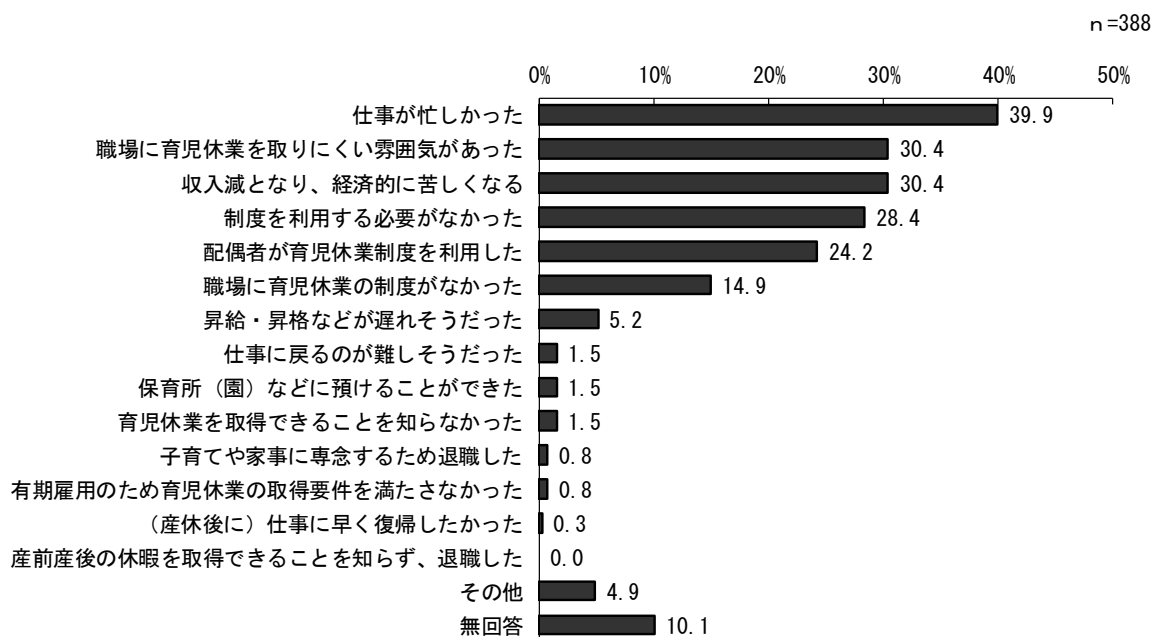
問 31 お父さん／育児休業を取得しましたか【単数回答】

「取得していない」が 86.0%と最も多く、「取得した（取得中である）」が 3.8%となっています。



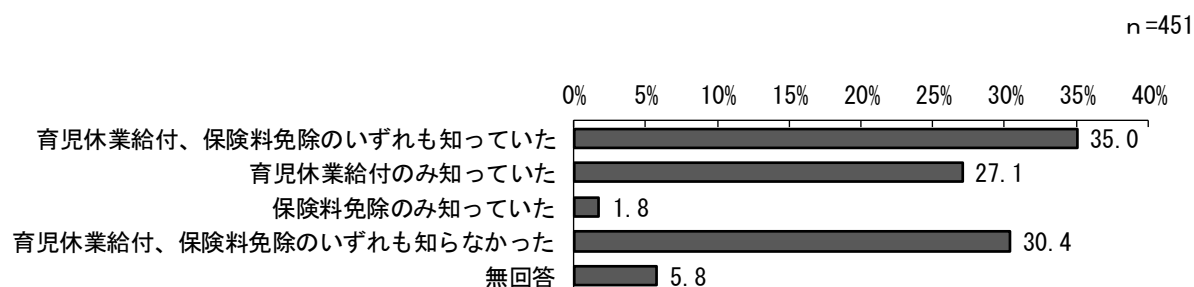
問 31 お父さん／取得していない理由【複数回答】

「仕事が忙しかった」が 39.9%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 30.4%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 28.4%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 24.2%となっています。



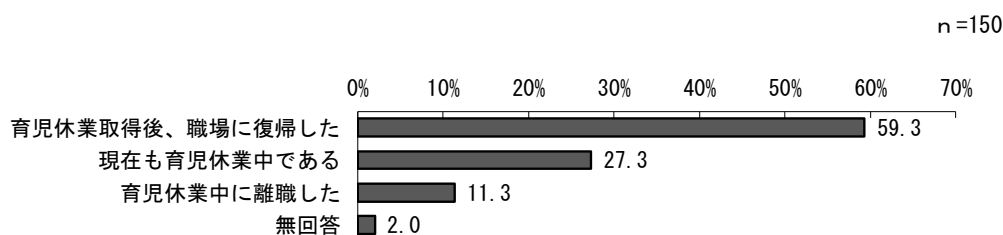
問 31-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給されるしくみ、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険・厚生年金保険の保険料が免除になるしくみについて知っていたか【単数回答】

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が35.0%と最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が30.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が27.1%、「保険料免除のみ知っていた」が1.8%となっています。



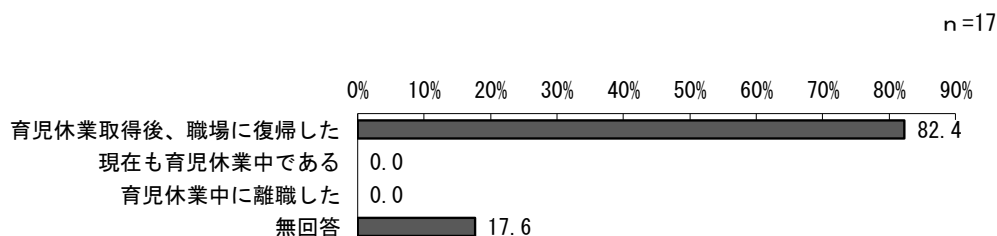
問 31-2 お母さん／育児休業取得後、職場に復帰したか【単数回答】

「育児休業取得後、職場に復帰した」が59.3%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が27.3%、「育児休業中に離職した」が11.3%となっています。



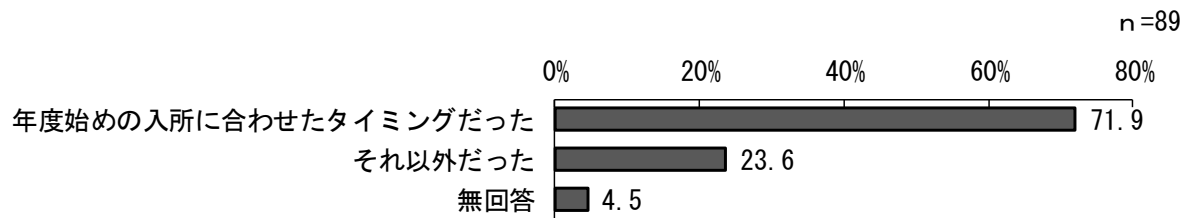
問 31-2 お父さん／育児休業取得後、職場に復帰したか【単数回答】

「育児休業取得後、職場に復帰した」が82.4%となっています。



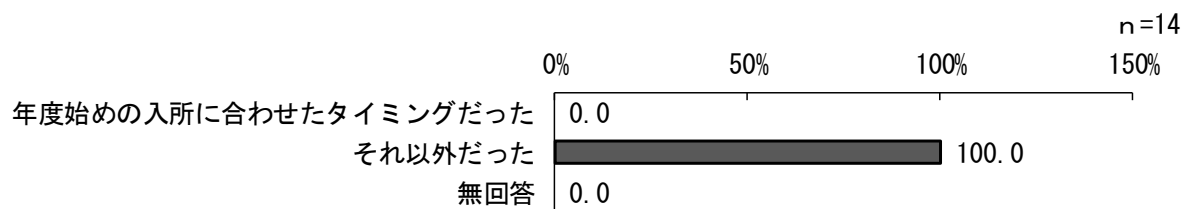
問 31-3 お母さん／育児休業から職場への復帰時期【単数回答】

「年度始めの入所に合わせたタイミングだった」が71.9%、「それ以外だった」が23.6%となっています。



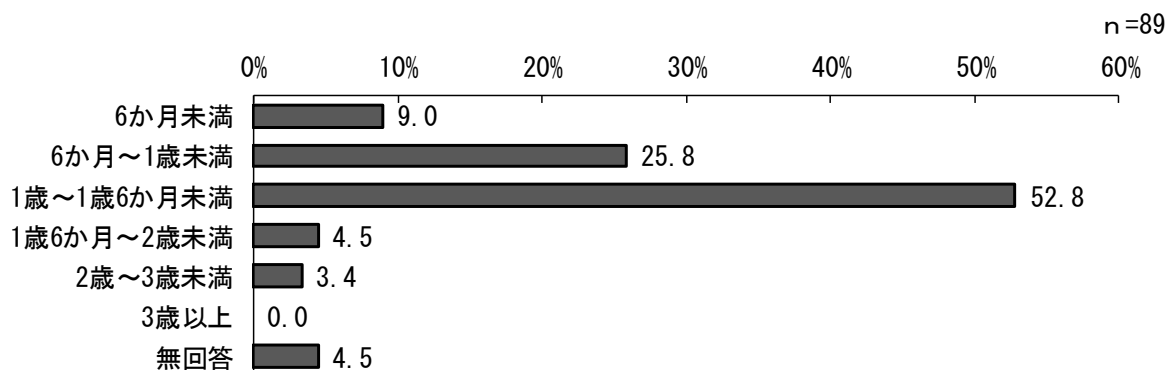
問 31-3 お父さん／育児休業から職場への復帰時期【単数回答】

「それ以外だった」が100.0%となっています。「年度始めの入所に合わせたタイミングだった」はありませんでした。



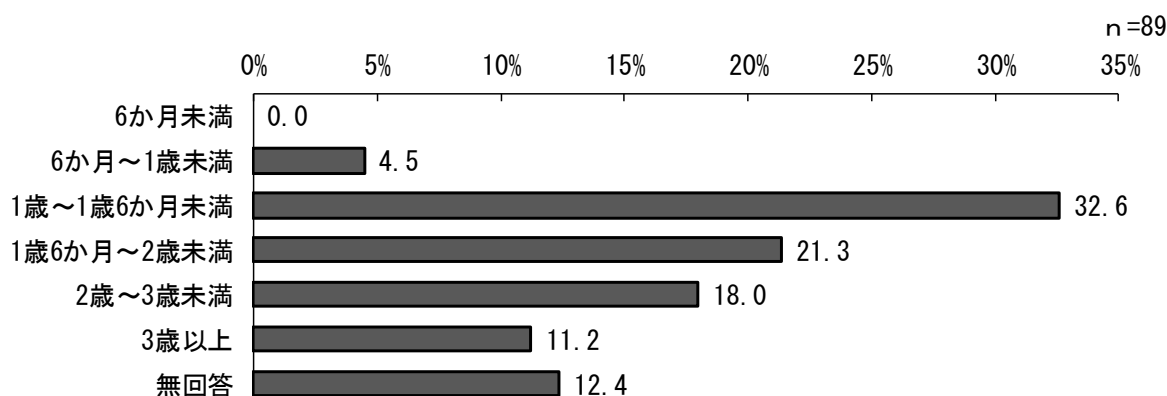
問 31-4 (1) お母さん／実際の取得期間【単数回答】

「1歳～1歳6か月未満」が52.8%と最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が25.8%、「6か月未満」が9.0%、「1歳6か月～2歳未満」が4.5%、「2歳～3歳未満」が3.4%となっています。



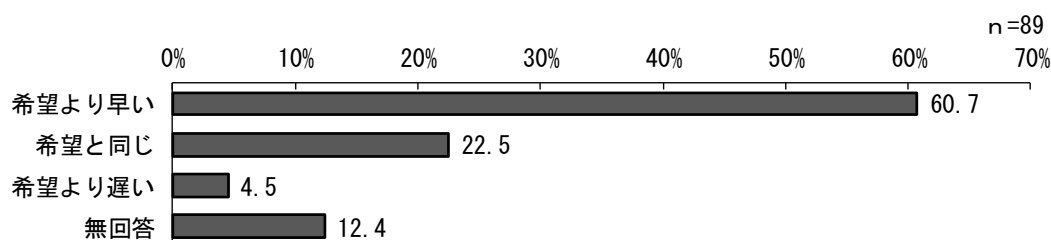
問 31-4 (1) お母さん／希望【単数回答】

「1歳～1歳6か月未満」が32.6%と最も多く、次いで「1歳6か月～2歳未満」が21.3%、「2歳～3歳未満」が18.0%、「3歳以上」が11.2%、「6か月～1歳未満」が4.5%となっています。



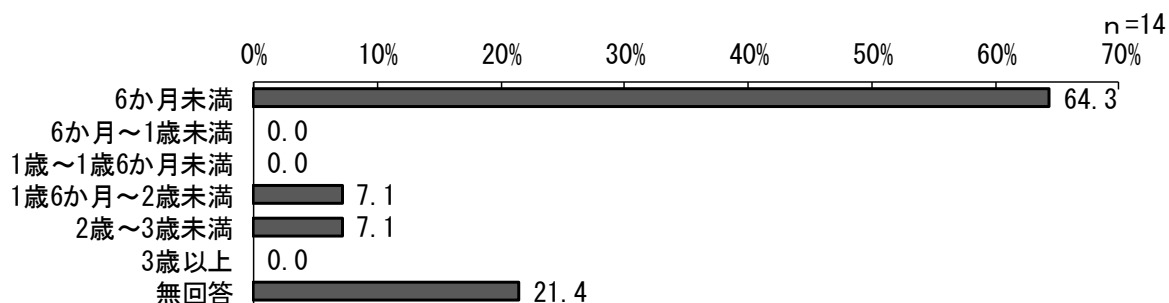
問 31-4 (1) お母さん／復帰時期【単数回答】

「希望より早い」が60.7%と最も多く、次いで「希望と同じ」が22.5%、「希望より遅い」が4.5%となっています。



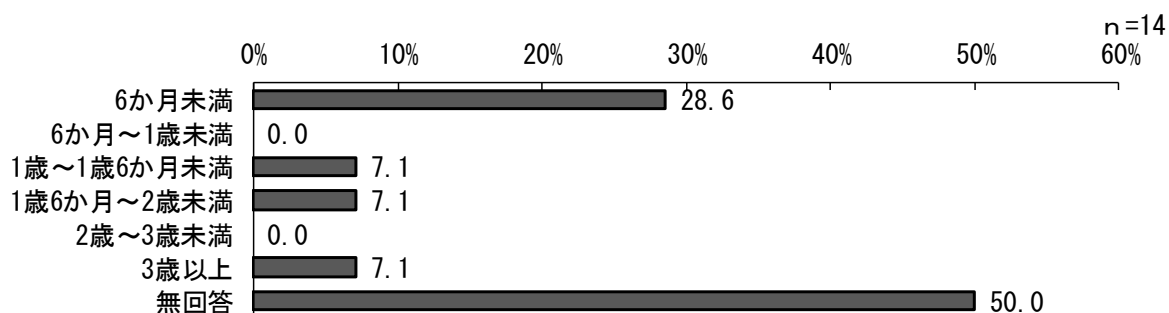
問 31-4 (2) お父さん／実際の取得期間【単数回答】

「6か月未満」が64.3%と最も多く、「1歳6か月～2歳未満」と「2歳～3歳未満」が7.1%となっています。



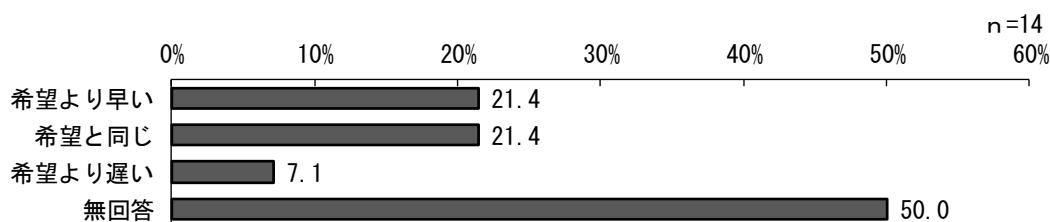
問 31-4 (2) お父さん／希望【単数回答】

「6か月未満」が28.6%と最も多く、「1歳～1歳6か月未満」と「1歳6か月～2歳未満」と「3歳以上」が7.1%となっています。



問 31-4 (2) お父さん／復帰時期【単数回答】

「希望より早い」と「希望と同じ」が21.4%、「希望より遅い」が7.1%となっています。



問 31-5 (1) お母さん／3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望の取得期間

【単数回答】

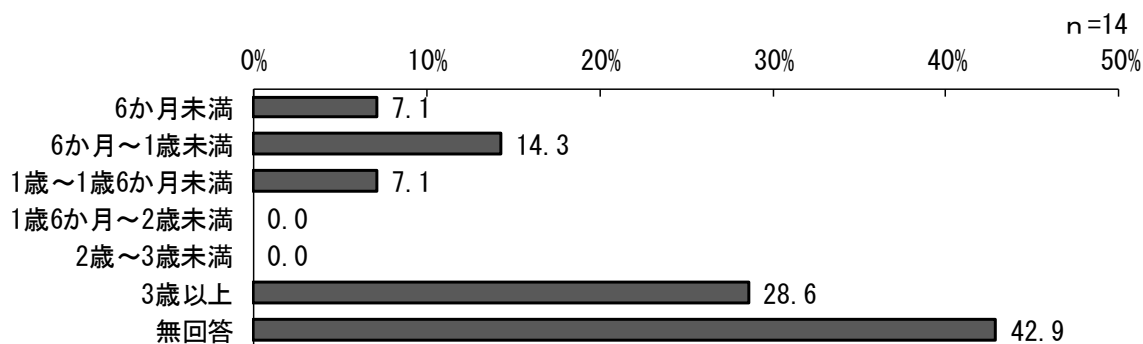
「3歳以上」が42.7%と最も多く、次いで「2歳～3歳未満」が21.3%、「1歳～1歳6か月未満」が13.5%、「1歳6か月～2歳未満」が6.7%、「6か月～1歳未満」が2.2%となっています。



問 31-5 (2) お父さん／3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望の取得期間

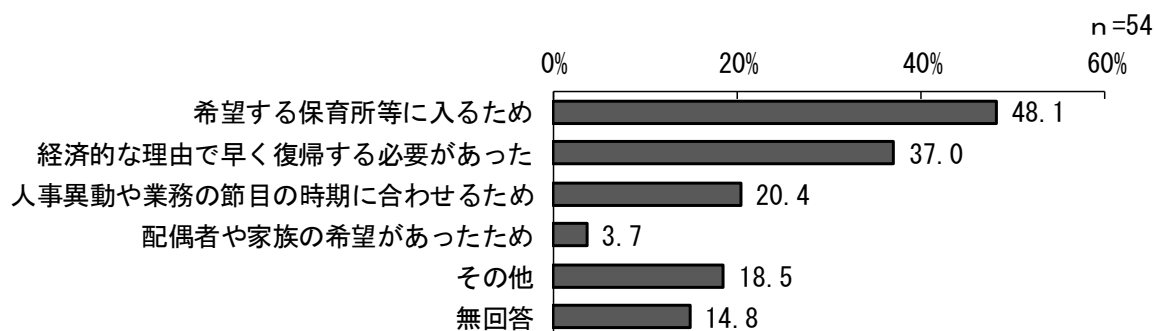
【単数回答】

「3歳以上」が28.6%と最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が14.3%、「6か月未満」と「1歳～1歳6か月未満」が7.1%となっています。



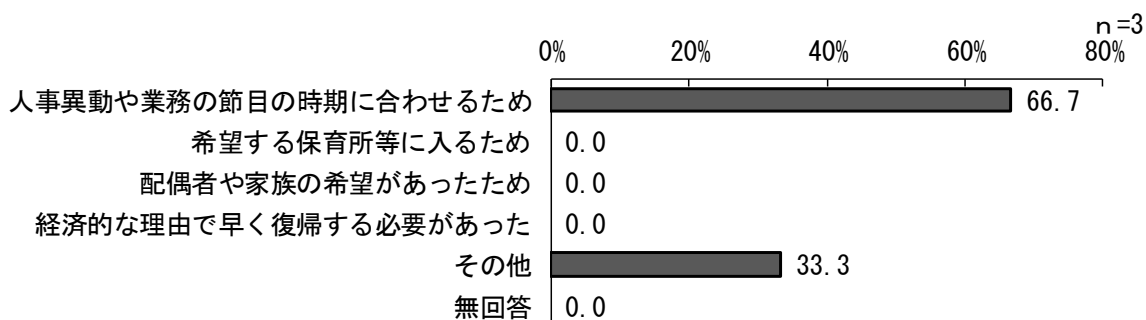
問 31-6 ①お母さん／(1)「希望」より早く復帰した理由【複数回答】

「希望する保育所等に入るため」が48.1%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が37.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が20.4%、「その他」が18.5%、「配偶者や家族の希望があったため」が3.7%となっています。



問 31-6 ②お父さん／(1)「希望」より早く復帰した理由【複数回答】

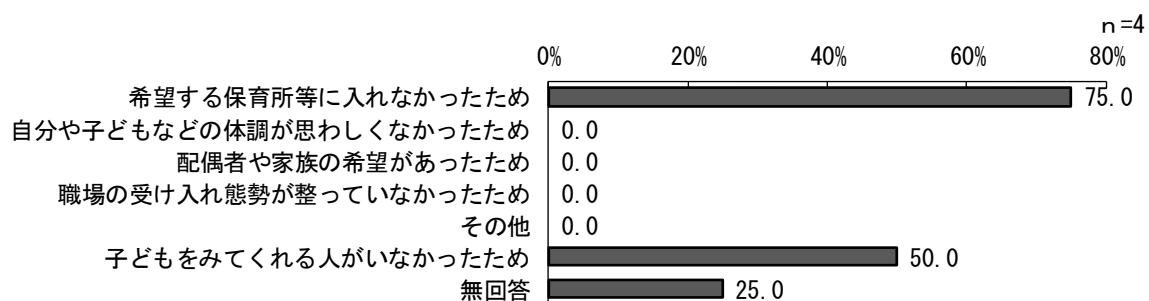
「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が66.7%、「その他」が33.3%となっています。



※n=3であることに留意が必要。

問 31-6 ①お母さん／(2)「希望」より遅く復帰した理由【複数回答】

「希望する保育所等に入れなかったため」が 75.0%と最も多く、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 50.0%となっています。



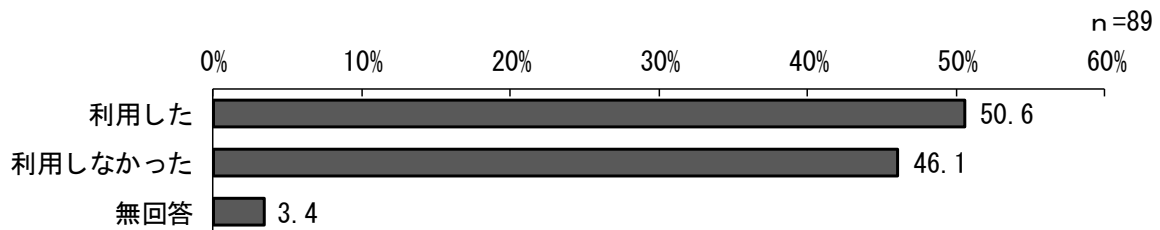
※n=4 であることに留意が必要。

問 31-6 ②お父さん／(2)「希望」より遅く復帰した理由【複数回答】

該当なし。

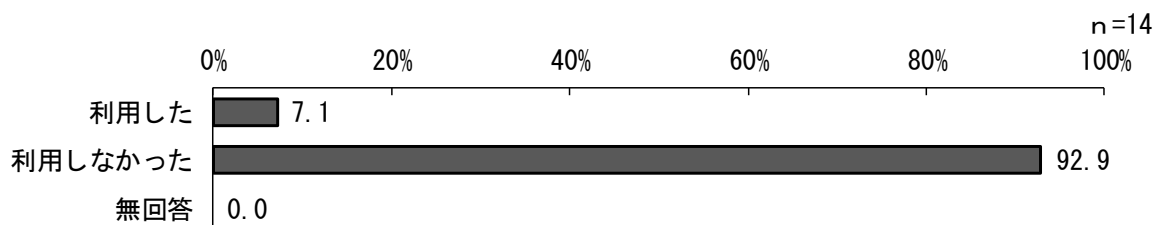
問 31-7 (1) お母さん／育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか
【単数回答】

「利用した」が50.6%、「利用しなかった」が46.1%となっています。



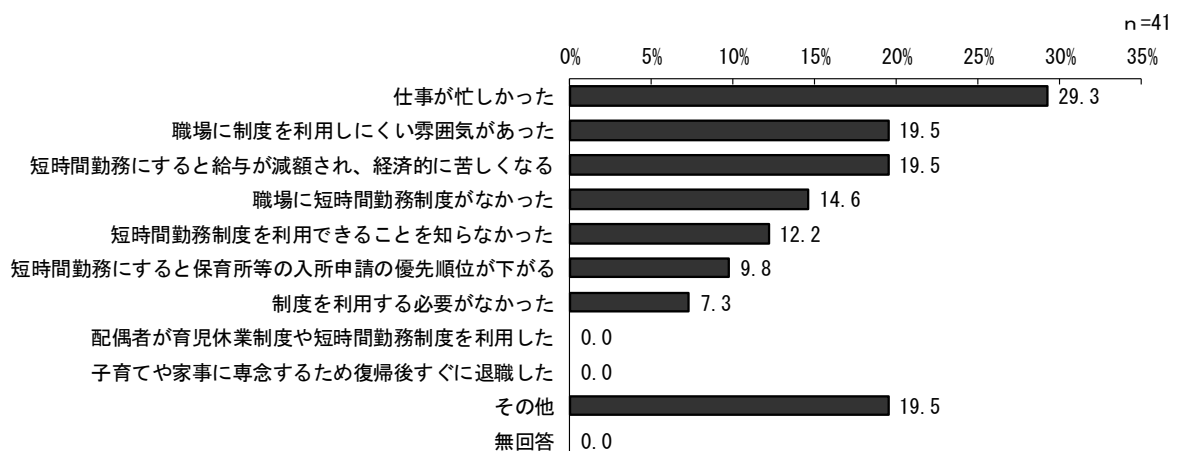
問 31-7 (2) お父さん／育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか
【単数回答】

「利用しなかった」が92.9%、「利用した」が7.1%となっています。



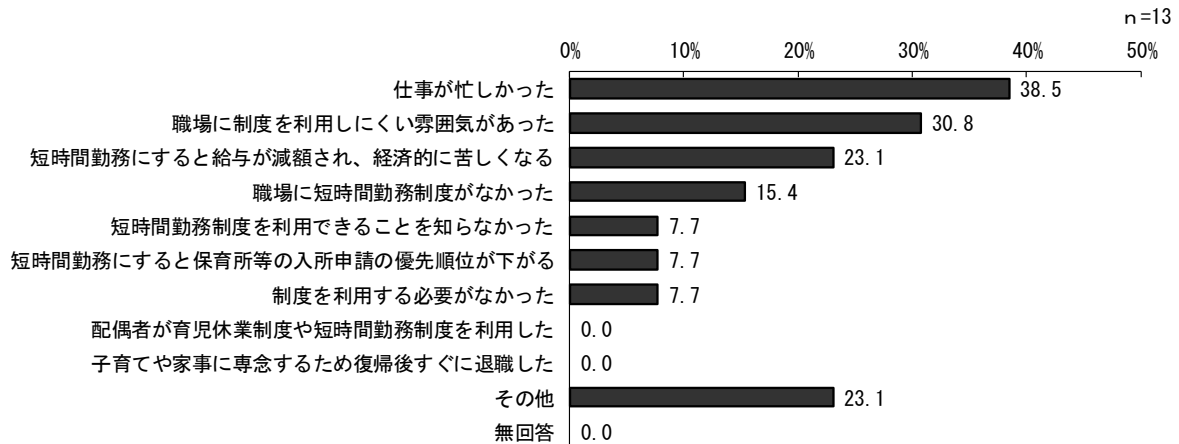
問 31-8 (1) お母さん／短時間勤務制度を利用しなかった理由【複数回答】

「仕事が忙しかった」が29.3%と最も多く、「職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」と「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」と「その他」が19.5%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が14.6%となっています。



問 31-8 (2) お父さん／短時間勤務制度を利用しなかった理由【複数回答】

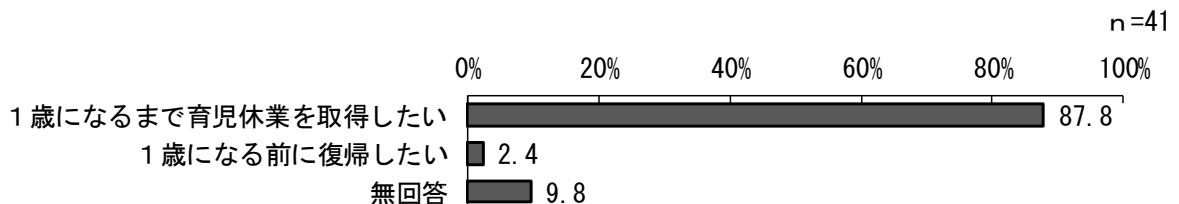
「仕事が忙しかった」が 38.5%と最も多く、次いで「職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」が 30.8%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」と「その他」が 23.1%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 15.4%となっています。



(現在も育児休業中の人への質問)

問 31-9 (1) お母さん／お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか【単数回答】

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が 87.8%、「1歳になる前に復帰したい」が 2.4%となっています。



(現在も育児休業中の人への質問)

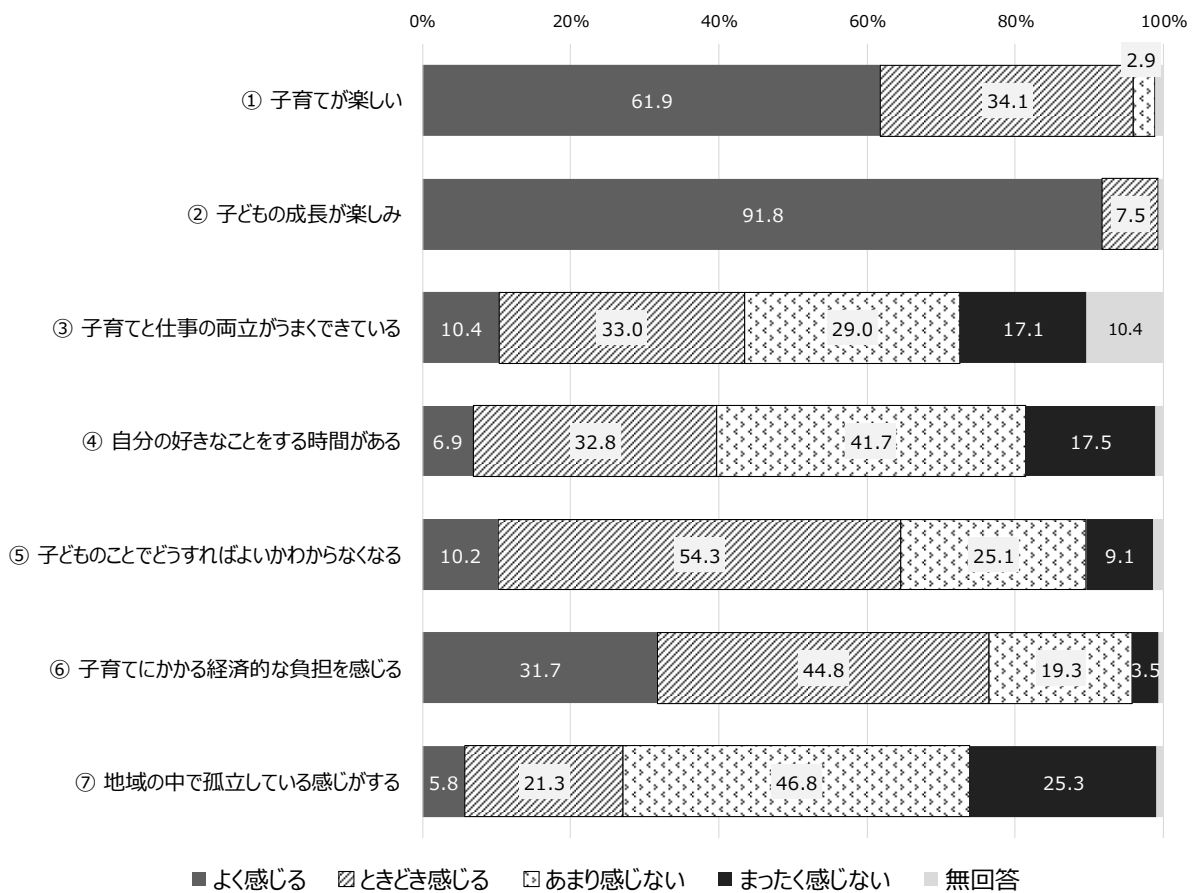
問 31-9 (2) お父さん／お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか【単数回答】

該当なし。

11. 子どもの育ちをめぐる環境について

問 32 子育てをしていて感じること

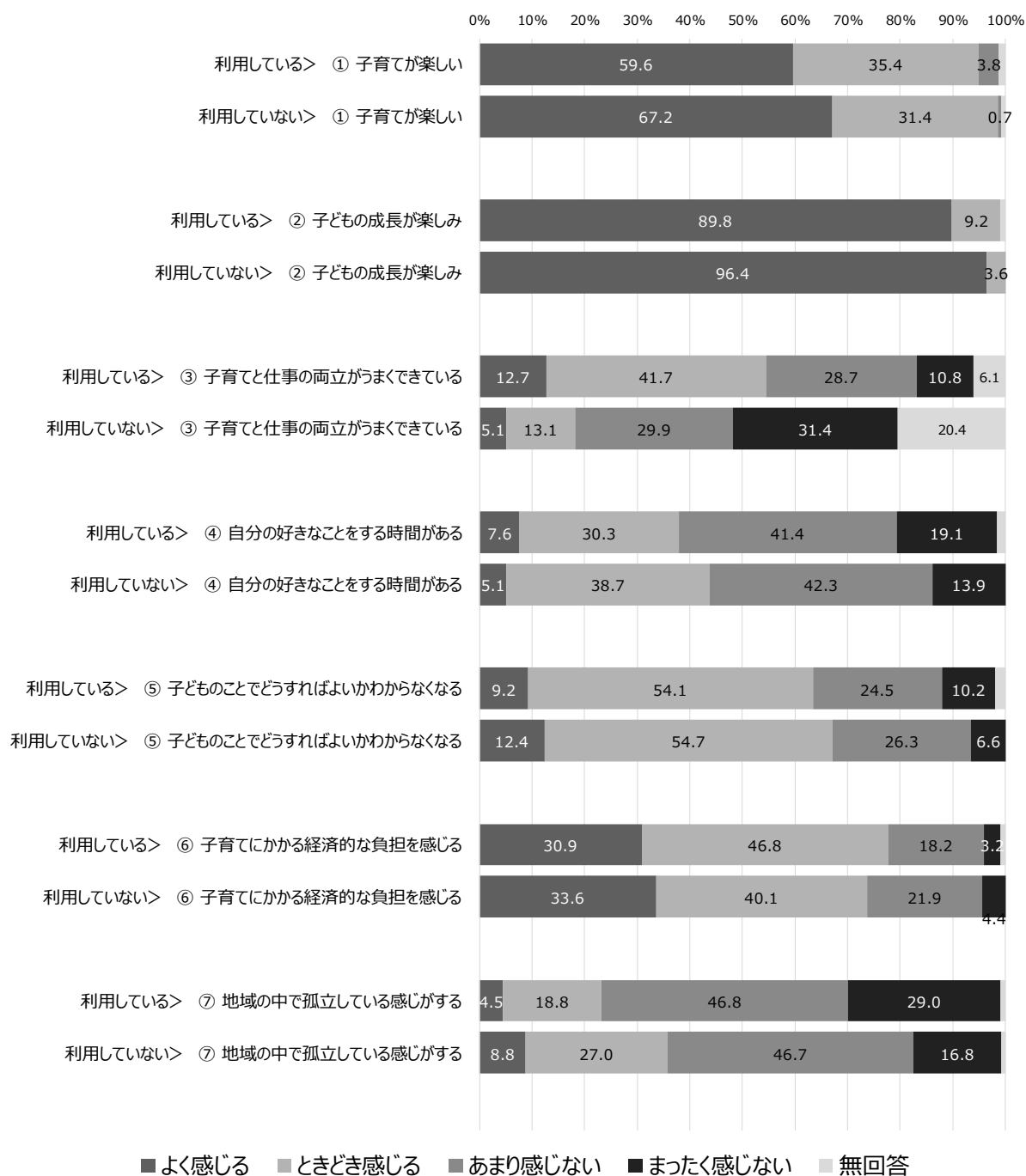
「② 子どもの成長が楽しみ」では91.8%が、「① 子育てが楽しい」では61.9%が「よく感じる」と回答しており、ポジティブな子育て感を持っている人が多いことがうかがえます。ただし、「⑤ 子どものことでどうすればよいかわからなくなる」では「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせて64.5%が『感じる』と回答しており、相談先などの充実が求められると思われます。また、「⑥ 子育てにかかる経済的な負担を感じる」では「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせて76.5%が『感じる』と回答しています。



n=451

問 32 子育てをしていて感じる事（問 14 現在の事業利用の有無別）

子育てをしていて感じる事について、現在の事業利用の有無別に「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた『感じる』の割合をみると、「③子育てと仕事の両立がうまくできている」は約 36 ポイント、「⑥子育てにかかる経済的な負担を感じる」は約 4 ポイントの差で利用している層の方が高くなっています。「④自分の好きなことをする時間がある」は約 6 ポイント、「⑤ 子どものことでどうすればよいかわからなくなる」は約 4 ポイント、「⑦地域の中で孤立している感じがする」は約 12 ポイントの差で利用していない層の方が高くなっています。



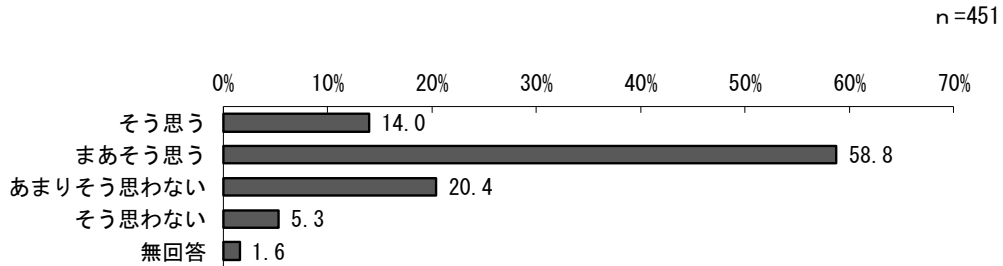
※利用している n=314、利用していない n=137

問 33 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思うか

【単数回答】

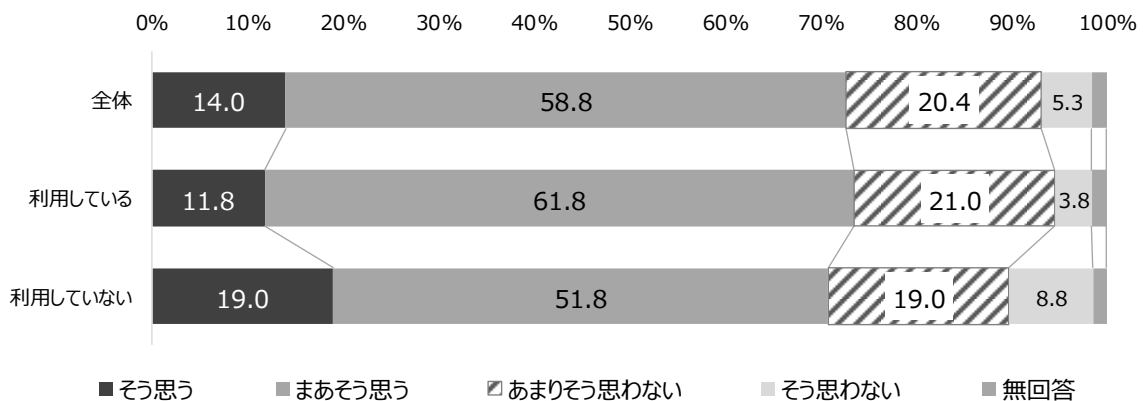
「まあそう思う」が58.8%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が20.4%、「そう思う」が14.0%、「そう思わない」が5.3%となっています。

「そう思う」と「まあそう思う」の肯定的回答が、合わせて72.8%と高くなっています。



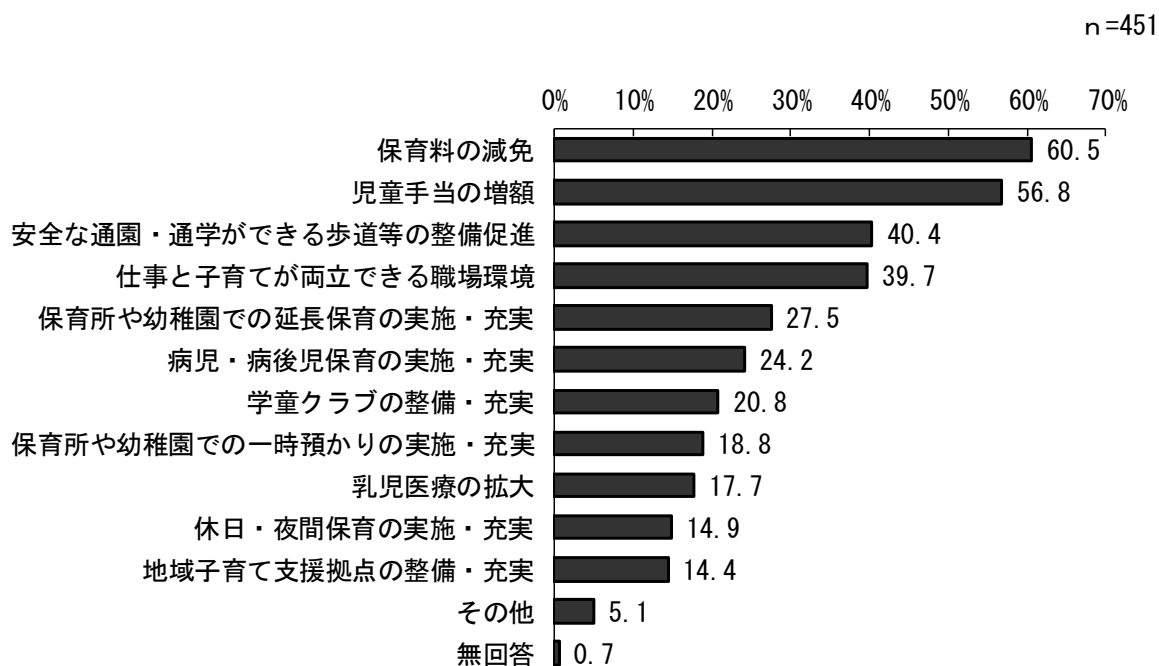
問 33 武蔵村山市の子育て環境評価（問 14 現在の事業利用の有無別）

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『思う』は、教育・保育の事業を利用している層で73.6%、利用していない層で70.8%となり、利用している層で2.8ポイント高くなっています。



問 34 必要と思われる子育て支援策【複数回答】

「保育料の減免」が60.5%と最も多く、次いで「児童手当の増額」が56.8%、「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」が40.4%、「仕事と子育てが両立できる職場環境」が39.7%、「保育所や幼稚園での延長保育の実施・充実」が27.5%となっています。

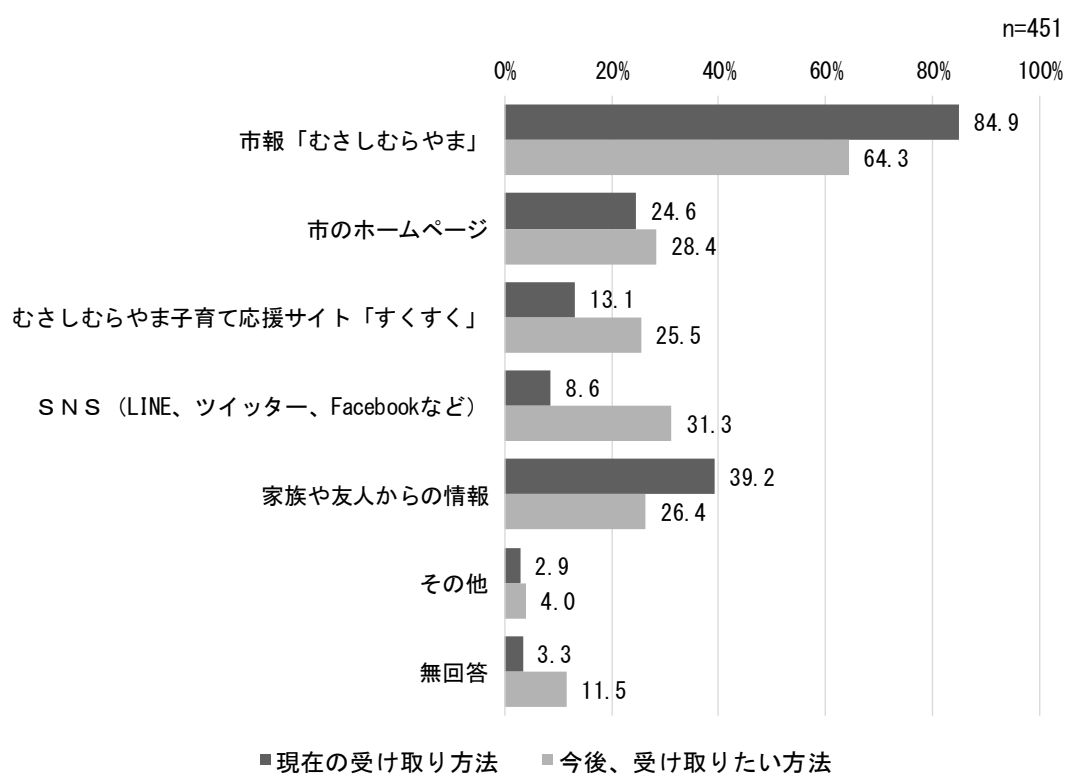


問 35 子どもに関する市の施策や行事などの情報

A 現在の受け取り方法/B 今後、受け取りたい方法【複数回答】

現在の受け取り方法は、「市報「むさしむらやま」」が84.9%と最も多く、次いで「家族や友人からの情報」が39.2%、「市のホームページ」が24.6%、「むさしむらやま子育て応援サイト「すくすく」」が13.1%、「SNS（LINE、ツイッター、Facebookなど）」が8.6%となっています。

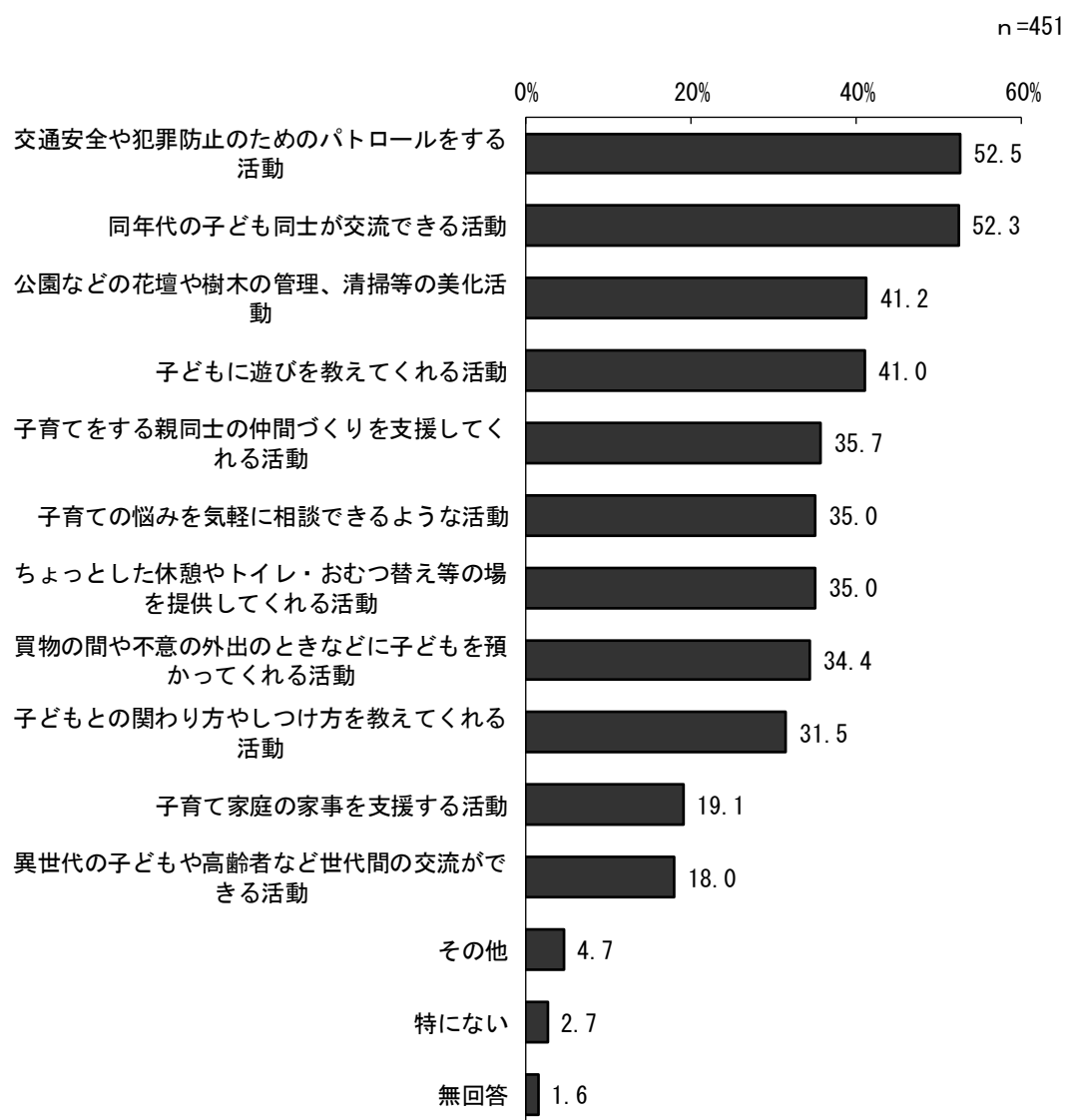
今後、受け取りたい方法は、「市報「むさしむらやま」」が64.3%と最も多く、次いで「SNS（LINE、ツイッター、Facebookなど）」が31.3%、「市のホームページ」が28.4%、「家族や友人からの情報」が26.4%、「むさしむらやま子育て応援サイト「すくすく」」が25.5%となっています。



問 36 子を持つ親にとって、身近な地域にどのような活動があるとよいと思うか

【複数回答】

「交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動」が 52.5%と最も多く、次いで「同年代の子ども同士が交流できる活動」が 52.3%、「公園などの花壇や樹木の管理、清掃等の美化活動」が 41.2%、「子どもに遊びを教えてくれる活動」が 41.0%、「子育てをする親同士の仲間づくりを支援してくれる活動」が 35.7%となっています。

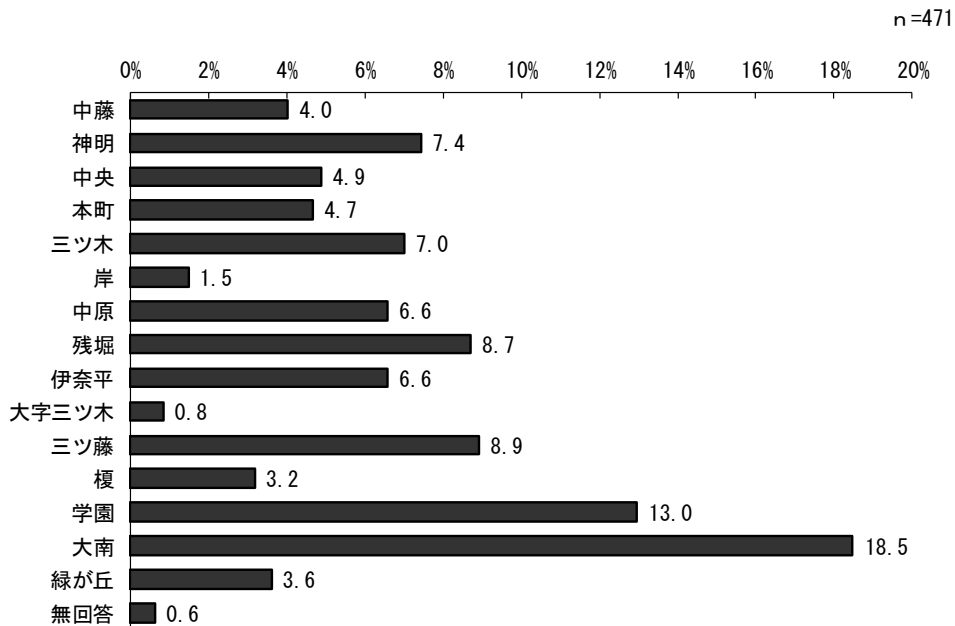


小学生（1～6年生）の保護者 調査結果

1. お子さんご家族などについて(基本属性)

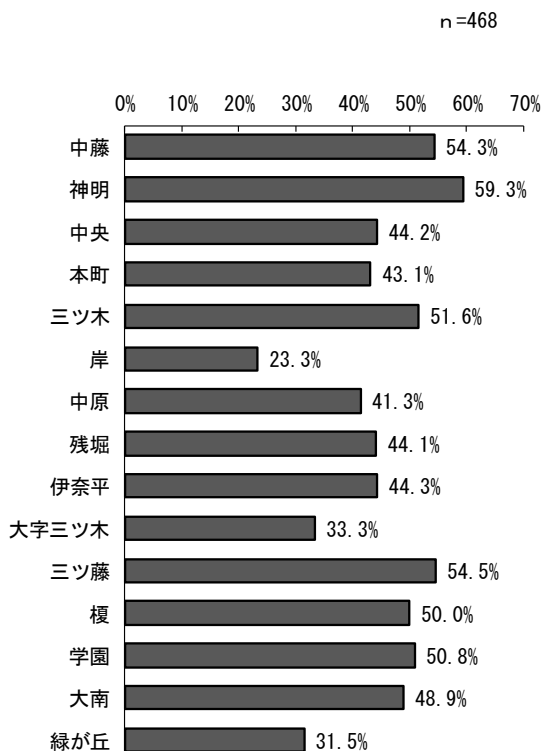
問1 武蔵村山市のどちらにお住まいですか【単数回答】

「大南」が18.5%と最も多く、次いで「学園」が13.0%、「三ツ藤」が8.9%、「残堀」が8.7%、「神明」が7.4%となっています。



【参考】地区ごとの回収率

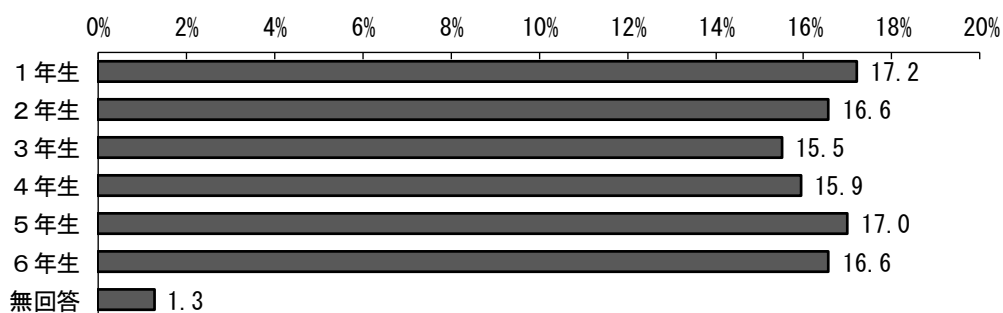
No.	地区名	配付数	回収数	回収率
1	中藤	35	19	54.3%
2	神明	59	35	59.3%
3	中央	52	23	44.2%
4	本町	51	22	43.1%
5	三ツ木	64	33	51.6%
6	岸	30	7	23.3%
7	中原	75	31	41.3%
8	残堀	93	41	44.1%
9	伊奈平	70	31	44.3%
10	大字三ツ木	12	4	33.3%
11	三ツ藤	77	42	54.5%
12	榎	30	15	50.0%
13	学園	120	61	50.8%
14	大南	178	87	48.9%
15	緑が丘	54	17	31.5%
	無回答	-	3	
	全体	1000	471	47.1%



問2 お子さんの学齢【単数回答】

「1年生」が17.2%と最も多く、次いで「5年生」が17.0%、「2年生」と「6年生」が16.6%、「4年生」が15.9%となっています。

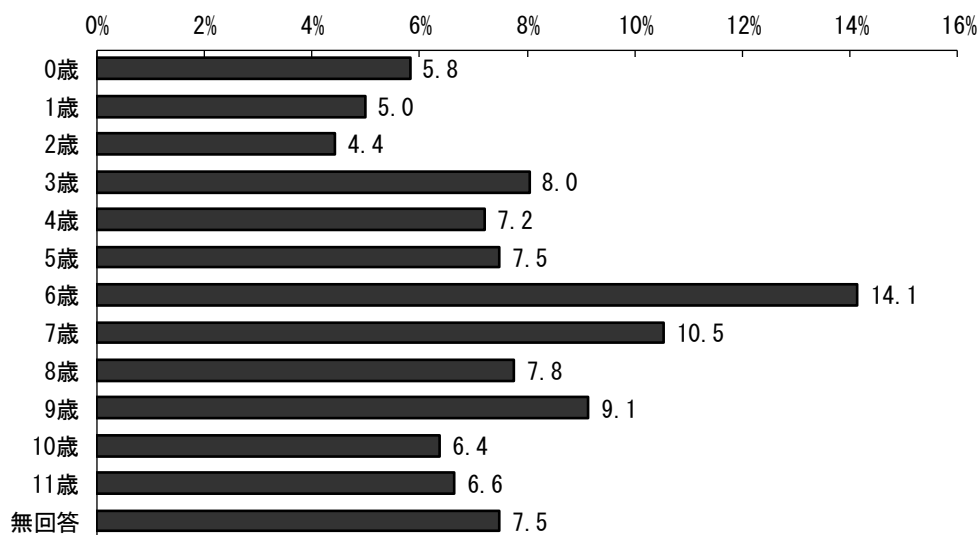
n=471



問3 末子の年齢【単数回答】

「6歳」が14.1%と最も多く、次いで「7歳」が10.5%、「9歳」が9.1%、「3歳」が8.0%、「8歳」が7.8%となっています。

n=361



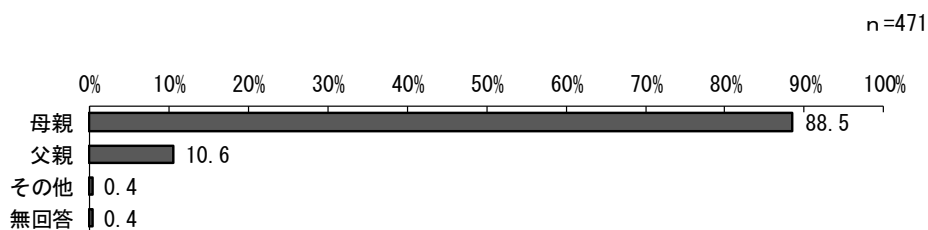
問3 きょうだい数【数量】

きょうだいの数は最大で6人、平均で2.1人となっています。

平均	2.1人
最大値	6人
最小値	1人

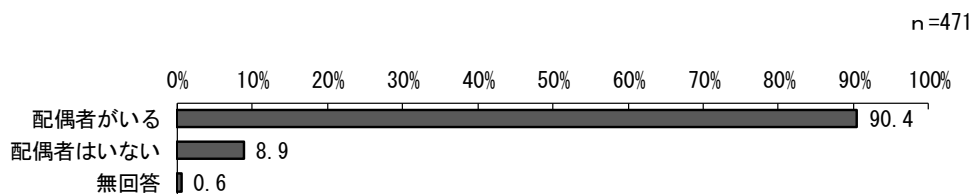
問4 この調査に回答している人【単数回答】

「母親」が88.5%、「父親」が10.6%となっています。



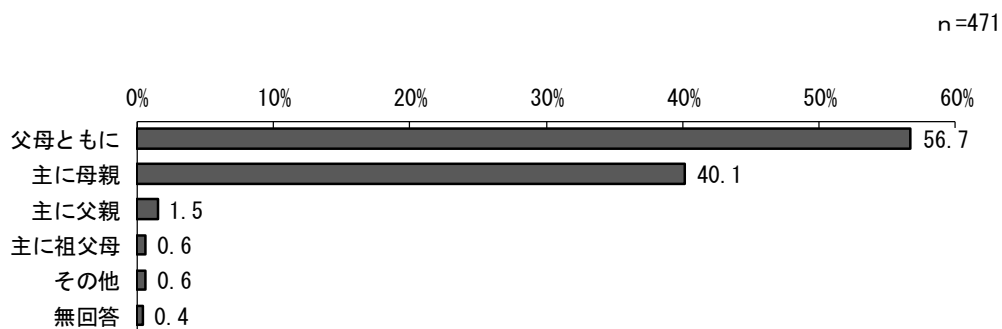
問5 この調査に回答している人の、配偶者（パートナー）の有無【単数回答】

「配偶者がある」が90.4%、「配偶者はいない」が8.9%となっています。



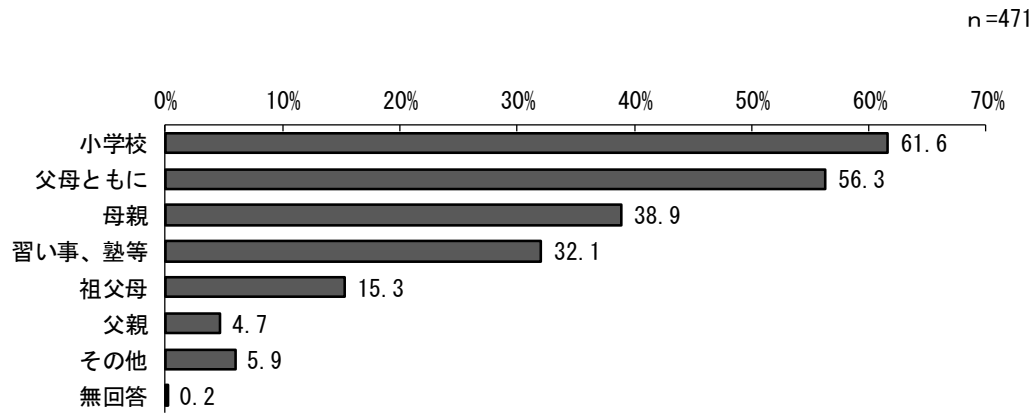
問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主にしている人【単数回答】

「父母ともに」が56.7%と最も多く、次いで「主に母親」が40.1%、「主に父親」が1.5%となっています。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人（施設）【複数回答】

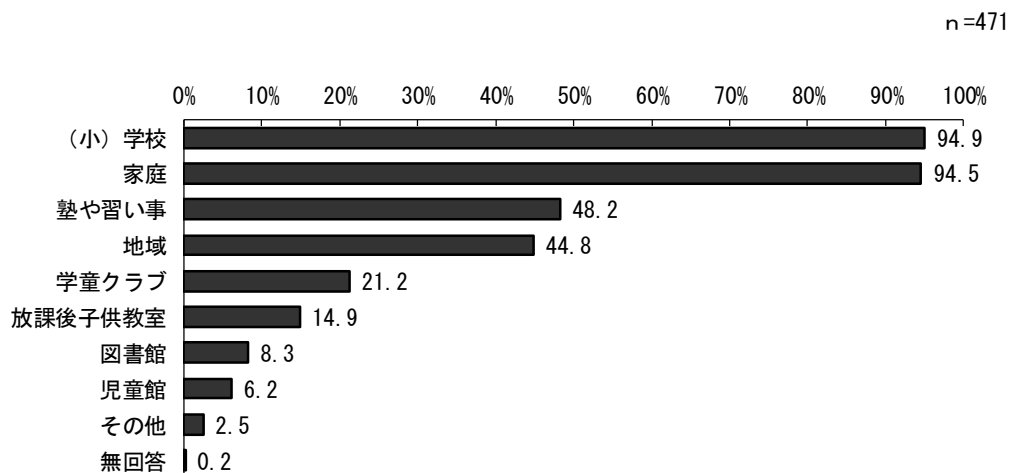
「小学校」が61.6%と最も多く、次いで「父母ともに」が56.3%、「母親」が38.9%、「習い事、塾等」が32.1%、「祖父母」が15.3%となっています。



2. 子どもの育ちを取り巻く環境について

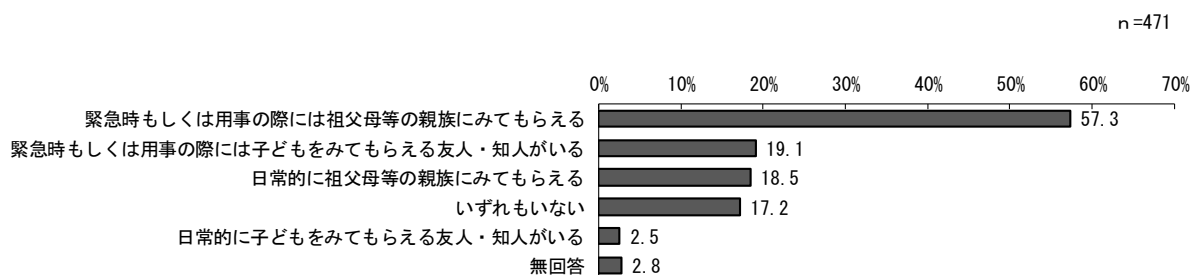
問8 お子さんの子育て（教育を含む）に影響すると思う環境【複数回答】

「(小) 学校」が94.9%と最も多く、次いで「家庭」が94.5%、「塾や習い事」が48.2%、「地域」が44.8%、「学童クラブ」が21.2%となっています。



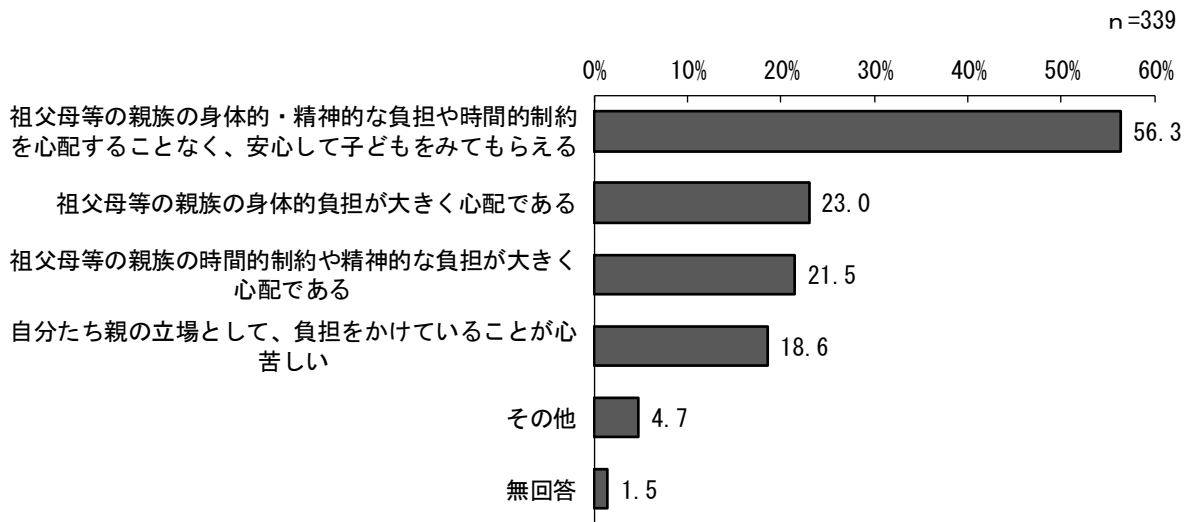
問9 日頃、お子さんを見てもらえる親族や知人等の有無【複数回答】

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.3%と最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が19.1%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が18.5%、「いずれもない」が17.2%、「日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が2.5%となっています。



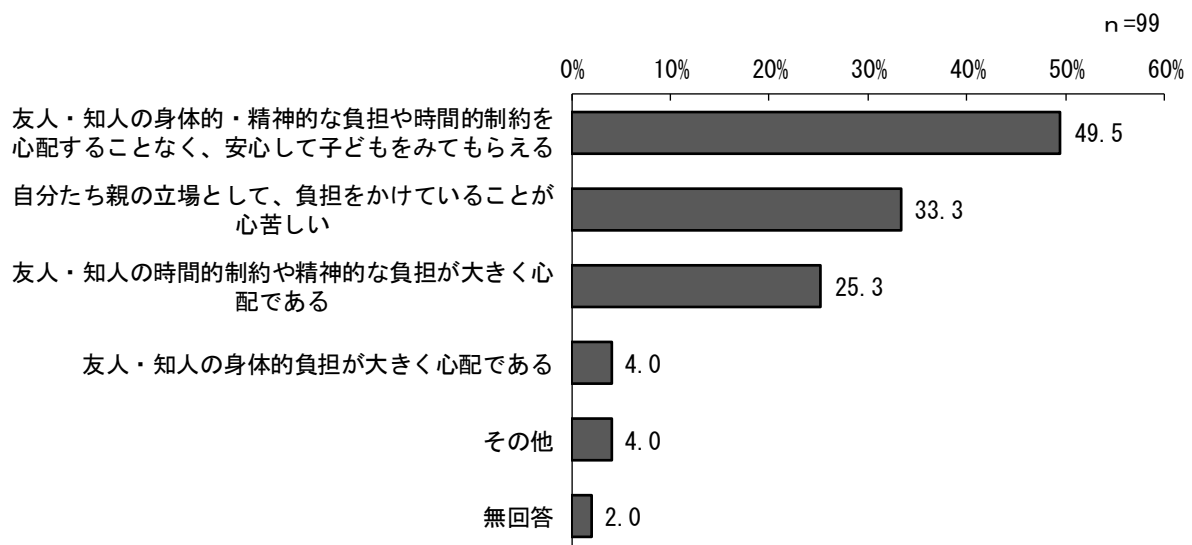
問9-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況【複数回答】

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.3%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が23.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が21.5%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が18.6%、「その他」が4.7%となっています。



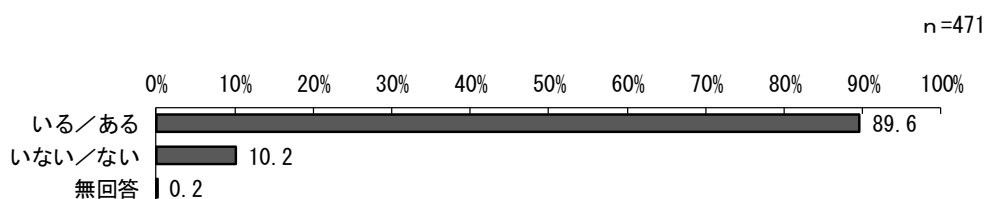
問9-2 友人・知人にみてもらっている状況【複数回答】

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が49.5%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が33.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が25.3%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」と「その他」が4.0%となっています。



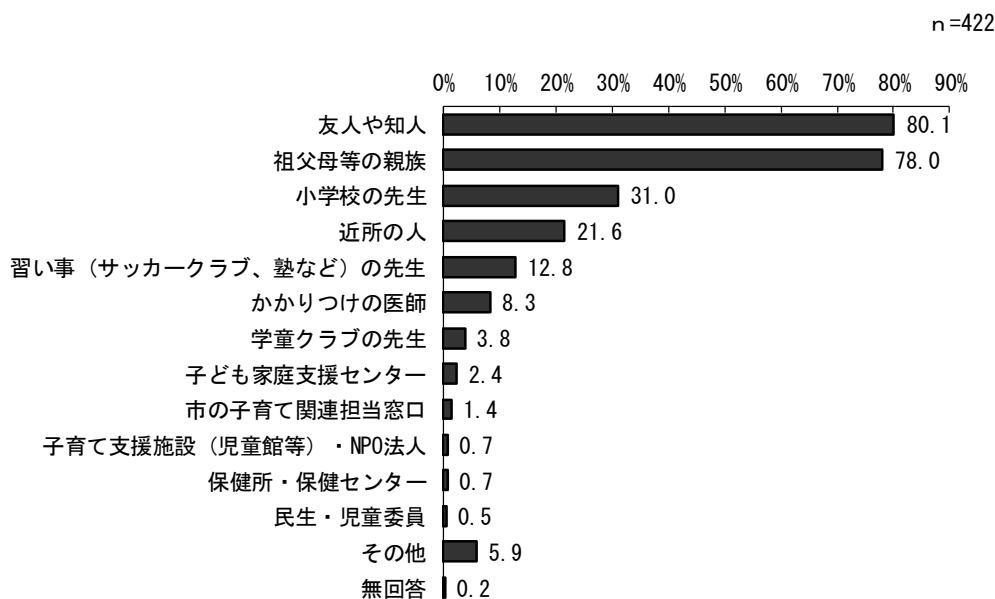
問 10 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人の有無【単数回答】

「いる／ある」が89.6%、「いない／ない」が10.2%となっています。



問 10-1 子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる先は誰（どこ）か【複数回答】

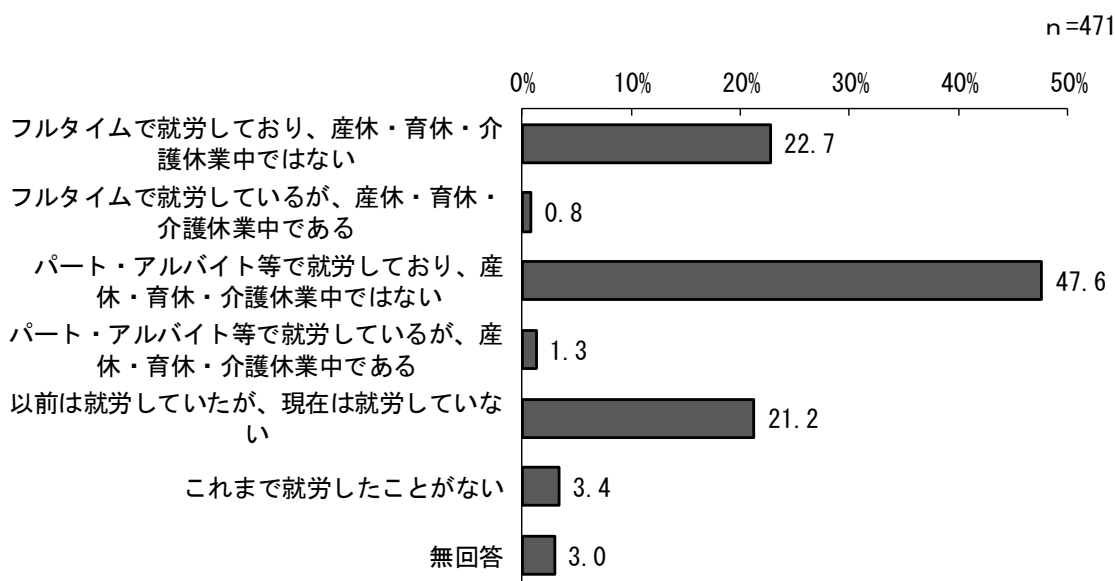
「友人や知人」が80.1%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が78.0%、「小学校の先生」が31.0%、「近所の人」が21.6%、「習い事（サッカークラブ、塾など）の先生」が12.8%となっています。



3. 保護者の就労状況について

問 11 (1)「お母さん」について／保護者の現在の就労状況【単数回答】

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が47.6%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.2%、「これまで就労したことがない」が3.4%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.3%となっています。



お母さん／1週当たり就労日数（日／週）

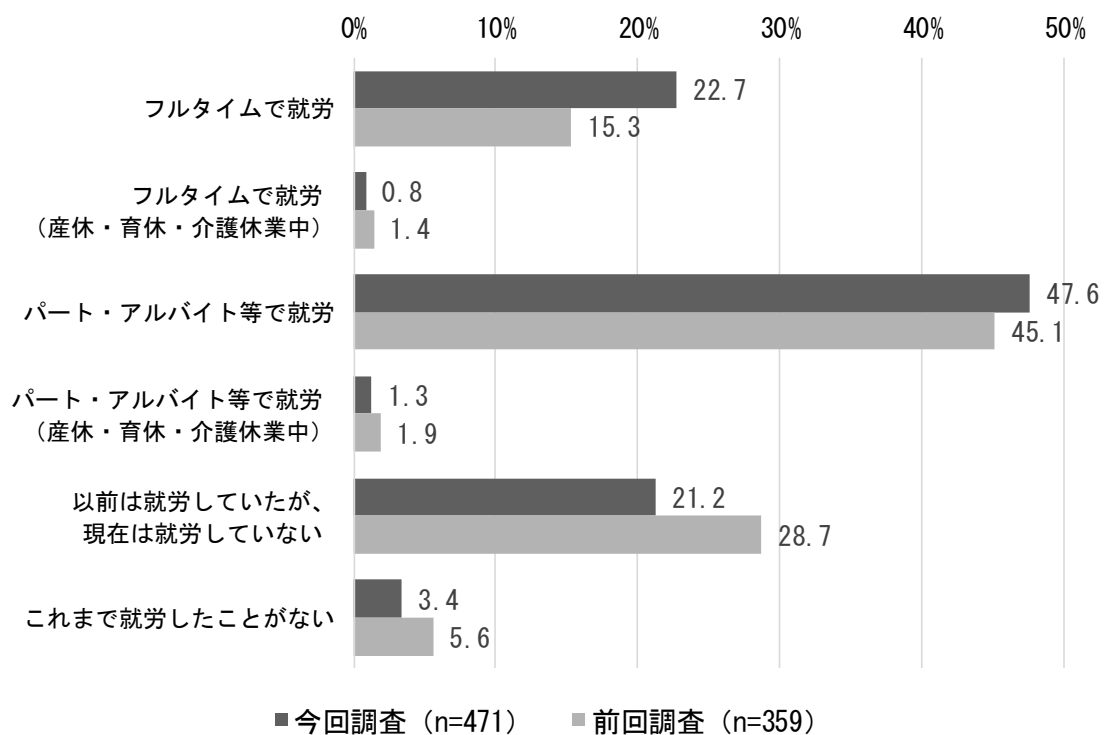
平均	4.4 日
最大値	7 日
最小値	1 日

お母さん／1日当たり就労時間（時間／日）

平均	6.3 時間
最大値	20 時間
最小値	2 時間

【前回調査との比較】「お母さん」の就労状況

母親の就労状況を前回調査と比較すると、フルタイムでの就労（産休・育休・介護休業中含む）が6.8ポイント増加しており、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は7.5ポイント減少しています。



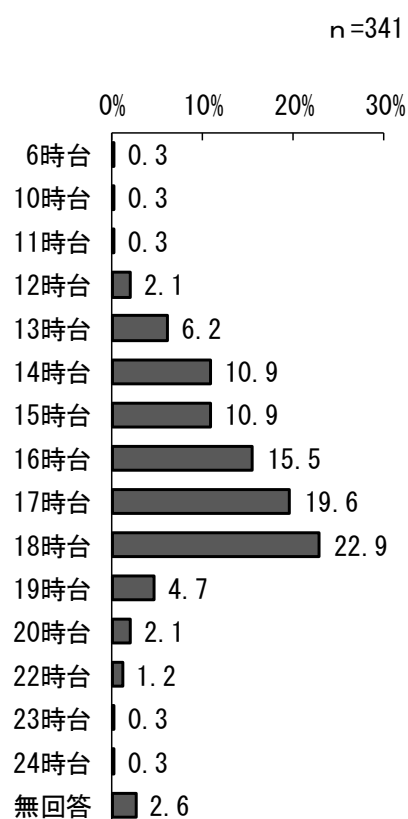
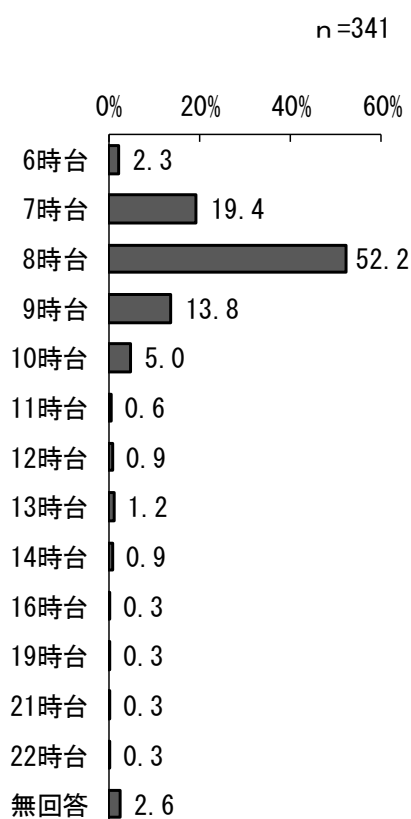
問 11 (1) - 2 「お母さん」／家を出る時刻・帰宅時刻【単数回答】

家を出る時刻は「8 時台」が 52.2%と最も多く、次いで「7 時台」が 19.4%、「9 時台」が 13.8%、「10 時台」が 5.0%、「6 時台」が 2.3%となっています。

帰宅時刻は「18 時台」が 22.9%と最も多く、次いで「17 時台」が 19.6%、「16 時台」が 15.5%、「14 時台」と「15 時台」が 10.9%となっています。

家を出る時刻

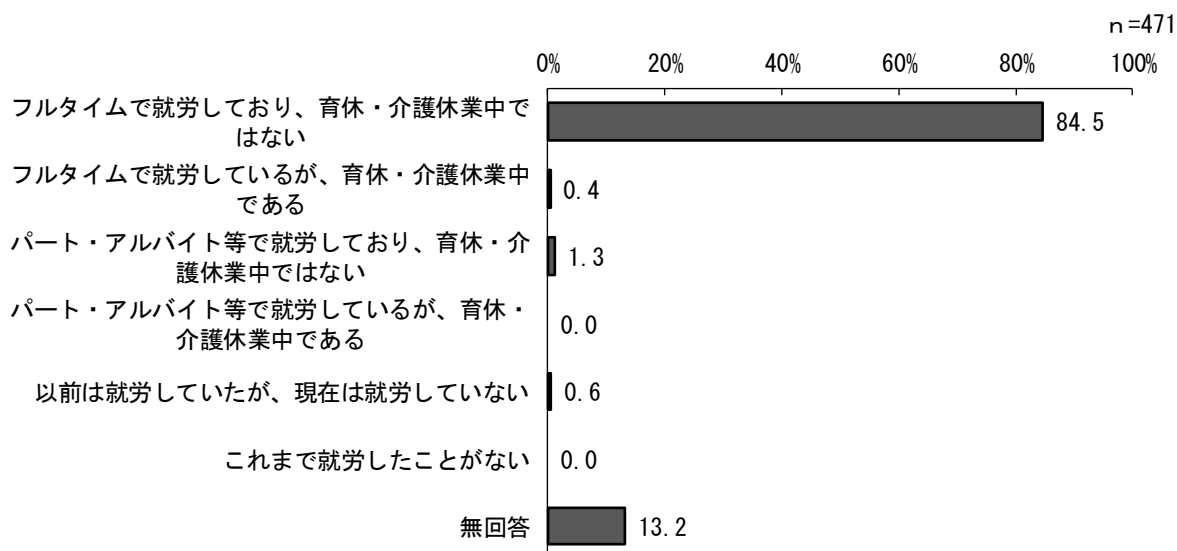
帰宅時刻



※0.0%の時間帯を除いて表示している。

問 11 (2)「お父さん」について／保護者の現在の就労状況【単数回答】

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が84.5%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が1.3%となっています。



お父さん／1週当たり就労日数（日／週）

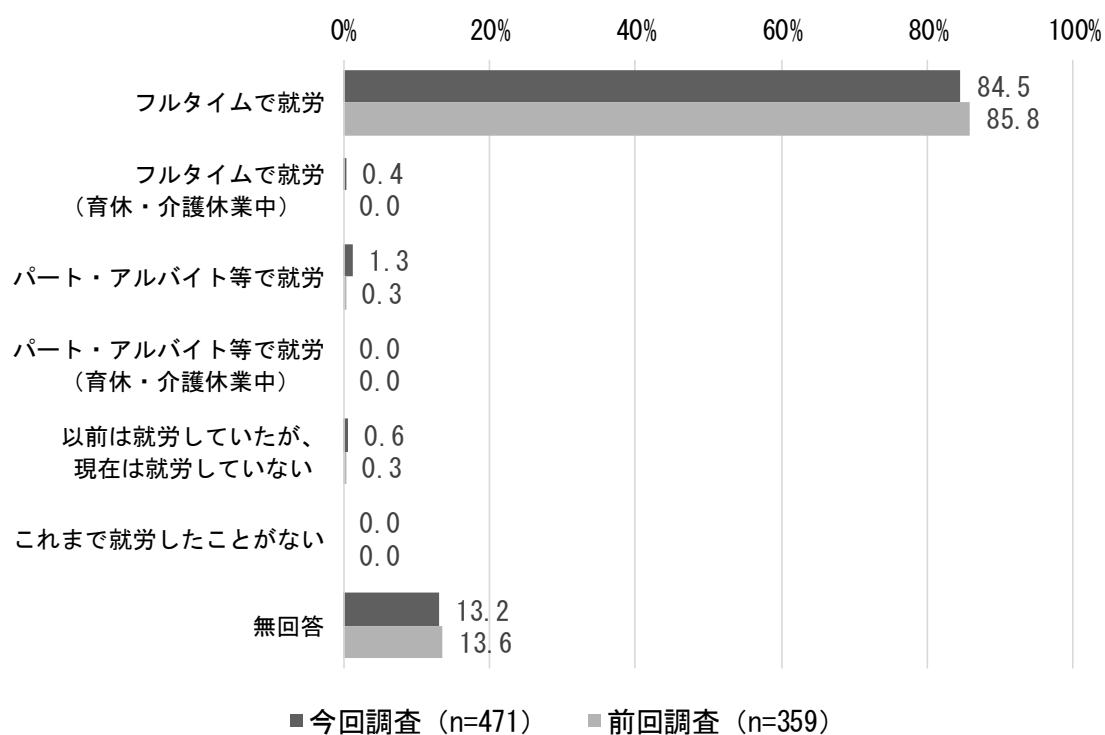
平均	5.3 日
最大値	7 日
最小値	2 日

お父さん／1日当たり就労時間（時間／日）

平均	9.6 時間
最大値	24 時間
最小値	3 時間

【前回調査との比較】「お父さん」の就労状況

父親の就労状況を前回調査と比較すると、フルタイムでの就労（育休・介護休業中含む）が1.3ポイント減少しています。

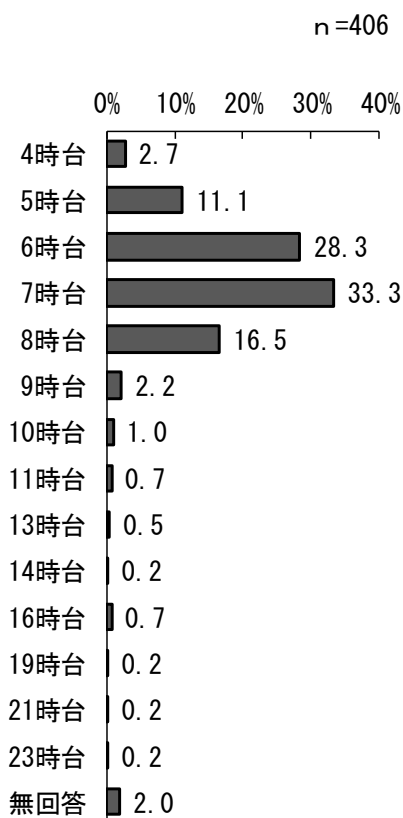


問 11 (2) - 2 「お父さん」／家を出る時刻・帰宅時刻【単数回答】

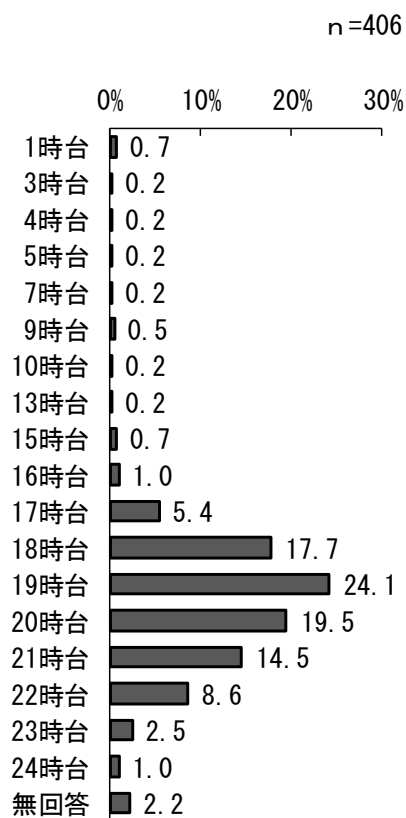
家を出る時刻は「7 時台」が 33.3%と最も多く、次いで「6 時台」が 28.3%、「8 時台」が 16.5%、「5 時台」が 11.1%、「4 時台」が 2.7%となっています。

帰宅時刻は「19 時台」が 24.1%と最も多く、次いで「20 時台」が 19.5%、「18 時台」が 17.7%、「21 時台」が 14.5%、「22 時台」が 8.6%となっています。

家を出る時刻



帰宅時刻

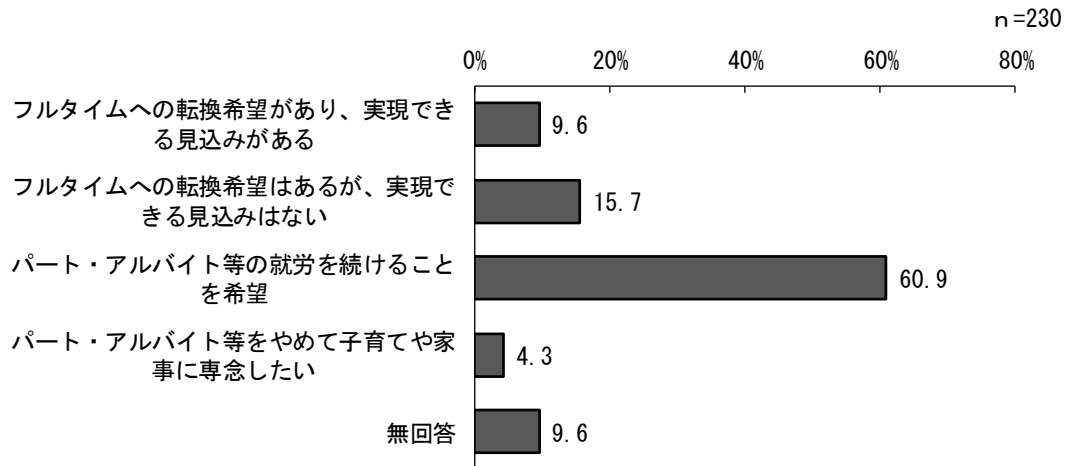


※0.0%の時間帯を除いて表示している。

(フルタイム以外の就労の人への質問)

問 12 (1) お母さん／フルタイムへの転換希望【単数回答】

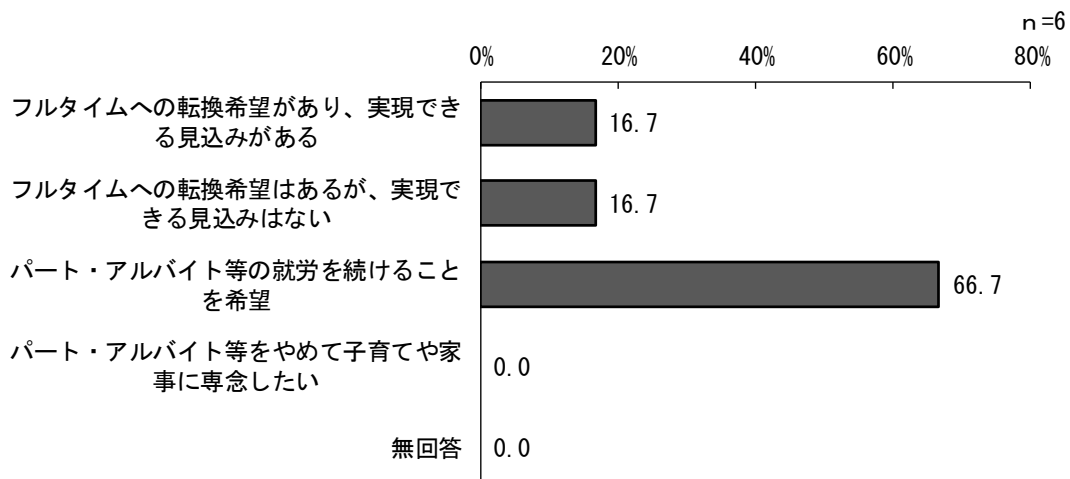
「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が60.9%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が15.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.6%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が4.3%となっています。



(フルタイム以外の就労の人への質問)

問 12 (2) お父さん／フルタイムへの転換希望【単数回答】

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が66.7%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が16.7%となっています。

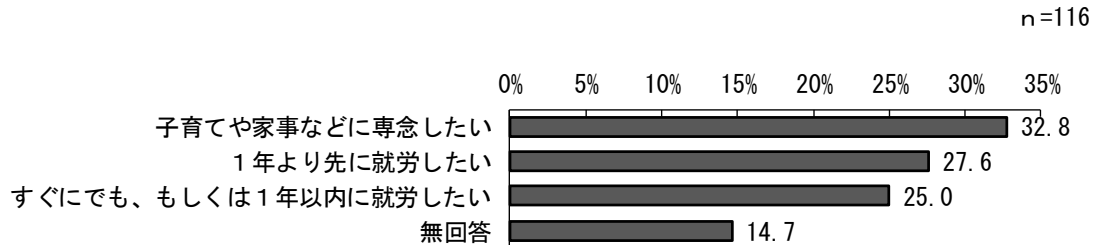


※n=6 であることに留意が必要。

(就労していない・したことがない人への質問)

問 13 (1) お母さん／就労したいという希望はありますか【単数回答】

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 32.8%と最も多く、次いで「1年より先に就労したい」が 27.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 25.0%となっています。



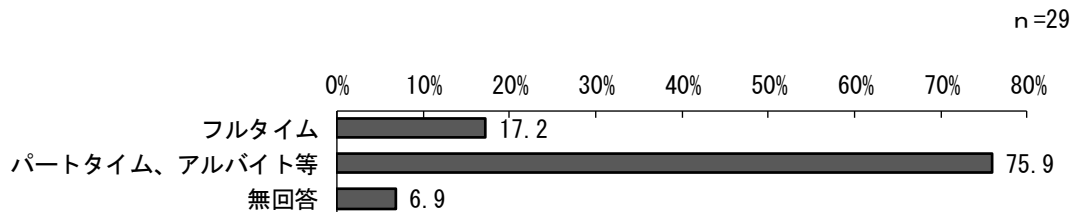
一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいか【数量】

平均	8.0 歳
最大値	19 歳
最小値	3 歳

(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい人への質問)

問 13 (1) お母さん／希望する就労形態【単数回答】

「パートタイム、アルバイト等」が 75.9%、「フルタイム」が 17.2%となっています。



パートタイム、アルバイト等で希望する週当たり就労日数【数量】

平均	3.5 日
最大値	5 日
最小値	3 日

パートタイム、アルバイト等で希望する1日当たり就労時間【数量】

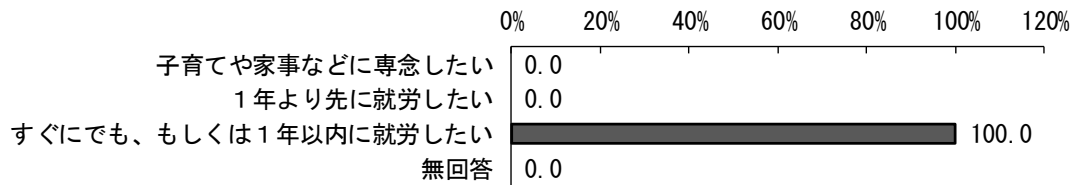
平均	4.6 時間
最大値	6 時間
最小値	3 時間

(就労していない・したことがない人への質問)

問 13 (2) お父さん／就労したいという希望はありますか【単数回答】

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が100.0%となっています。

n=3



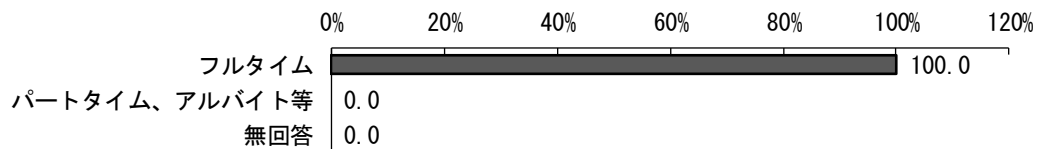
※n=3 であることに留意が必要。

(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい人への質問)

問 13 (2) お父さん／希望する就労形態【単数回答】

「フルタイム」が100.0%となっています。

n=3

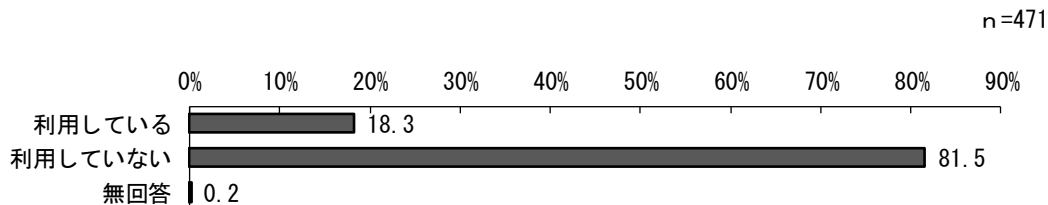


※n=3 であることに留意が必要。

4. 「学童クラブ」の利用や放課後の過ごし方について

問 14 現在、学童クラブを利用しているか【単数回答】

「利用していない」が81.5%、「利用している」が18.3%となっています。

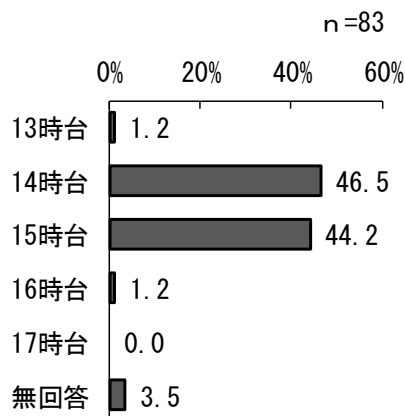


問 14-1 平日に学童クラブを利用している時間帯／開始時間・終了時間

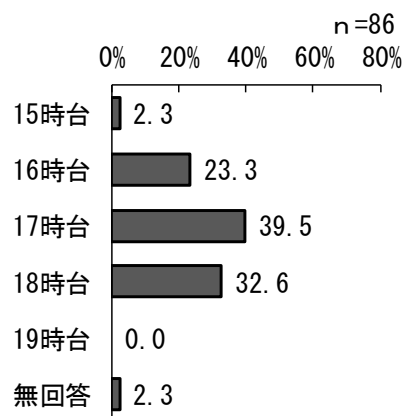
学童クラブを利用している時間帯の利用開始時間は「14 時台」が46.5%と最も多く、次いで「15 時台」が44.2%、「13 時台」と「16 時台」が1.2%となっています。

終了時間は「17 時台」が39.5%と最も多く、次いで「18 時台」が32.6%、「16 時台」が23.3%、「15 時台」が2.3%となっています。

開始時間



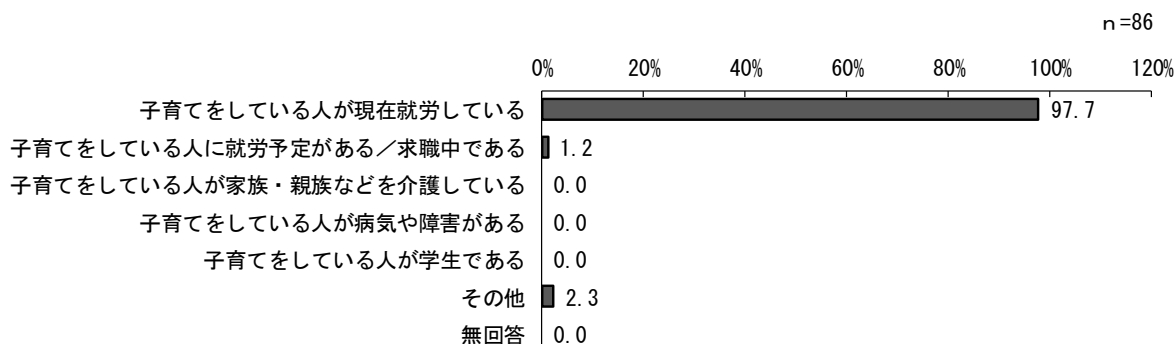
終了時間



※開始時間では午前8時（1名）、9時（2名）の記入があった（グラフ省略）。

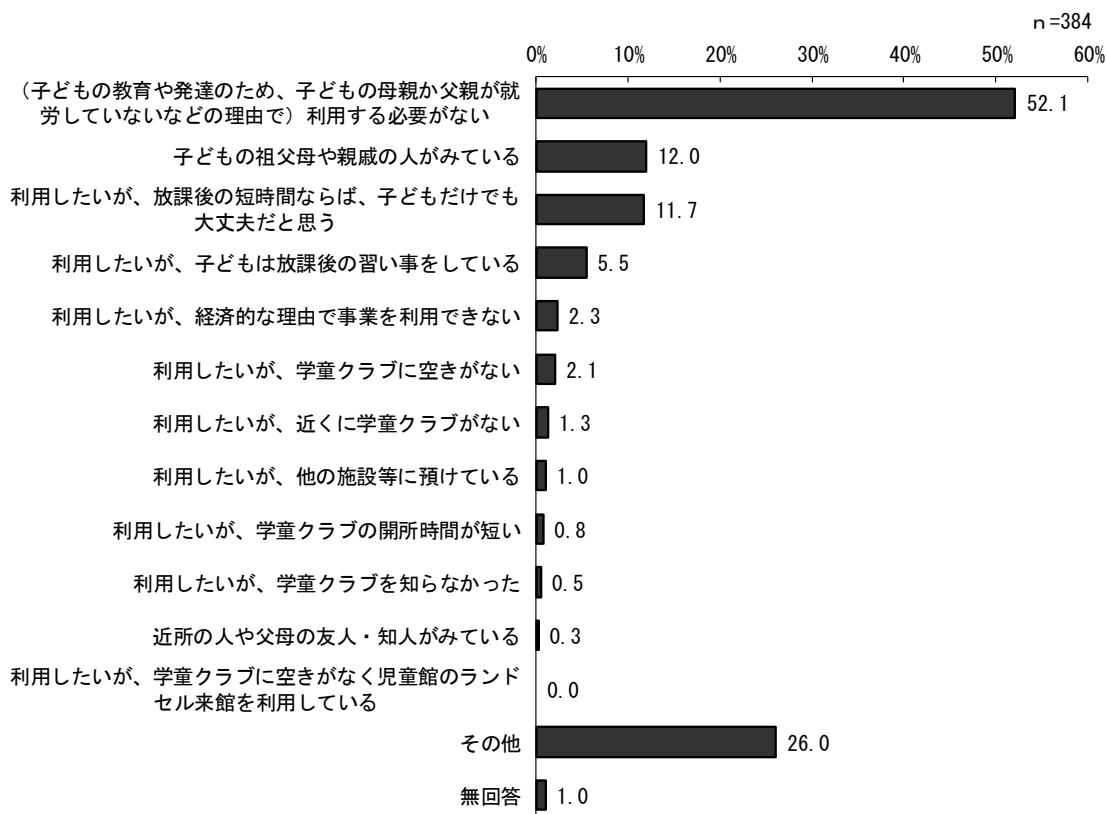
問 14-2 平日に学童クラブを利用している理由【複数回答】

「子育てをしている人が現在就労している」が97.7%と最も多く、次いで「その他」が2.3%、「子育てをしている人に就労予定がある／求職中である」が1.2%となっています。



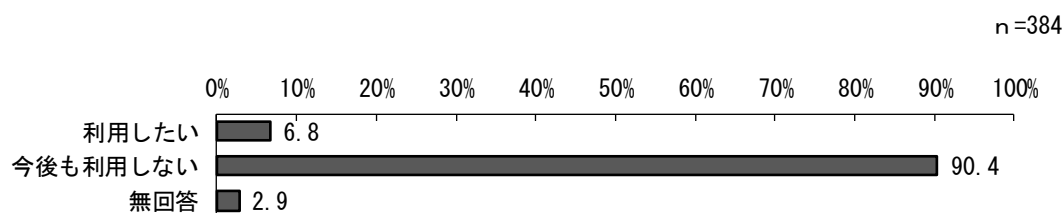
問 14-3 (平日に学童クラブを) 利用していない理由【複数回答】

「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が52.1%と最も多く、次いで「その他」が26.0%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が12.0%、「利用したいが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」が11.7%、「利用したいが、子どもは放課後の習い事をしている」が5.5%となっています。



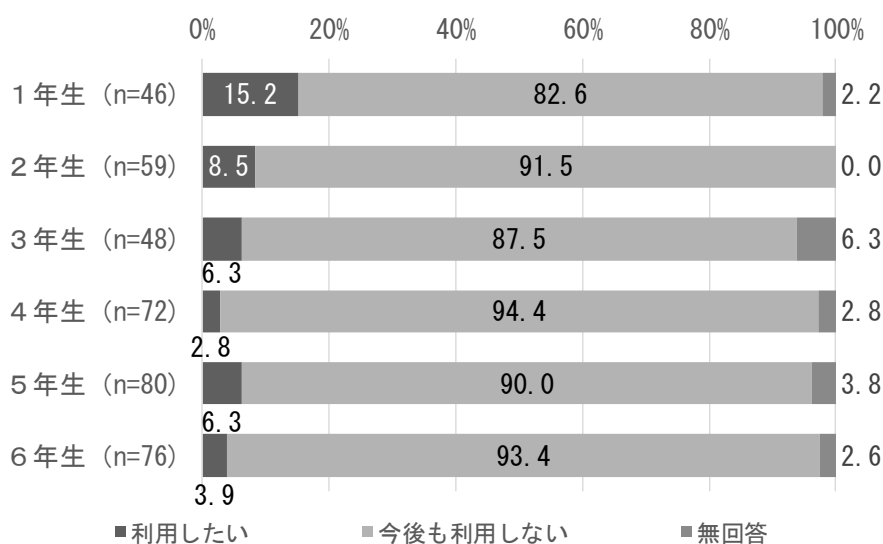
問 14-4 今後、学童クラブを利用したいか【単数回答】

「今後も利用しない」が90.4%、「利用したい」が6.8%となっています。



問 14-4 今後の学童クラブ利用意向（問 2 学年別）

学年別の今後の学童クラブ利用意向をみると、「利用したい」は1年生が15.2%で最も多く、2年生が8.5%となっています。



(%)

	回答数 (人)	利用したい	今後も利用 しない	無回答
1年生 (n=46)	46	15.2	82.6	2.2
2年生 (n=59)	59	8.5	91.5	0.0
3年生 (n=48)	48	6.3	87.5	6.3
4年生 (n=72)	72	2.8	94.4	2.8
5年生 (n=80)	80	6.3	90.0	3.8
6年生 (n=76)	76	3.9	93.4	2.6

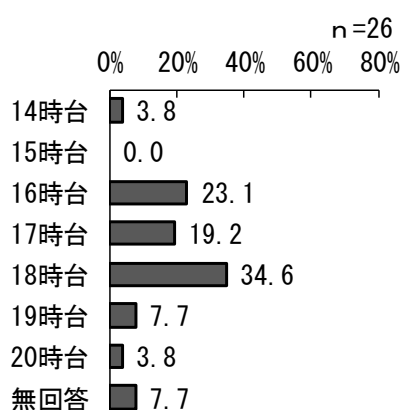
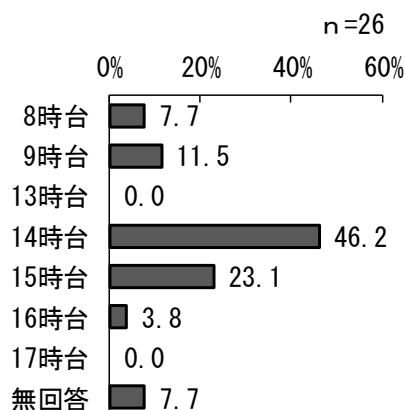
問 14-5 学童クラブ利用希望／開始時間・終了時間

今後の学童クラブ利用希望の開始時間は「14 時台」が 46.2%と最も多く、次いで「15 時台」が 23.1%、「9 時台」が 11.5%、「8 時台」が 7.7%、「16 時台」が 3.8%となっています。

終了時間は「18 時台」が 34.6%と最も多く、次いで「16 時台」が 23.1%、「17 時台」が 19.2%、「19 時台」が 7.7%、「14 時台」と「20 時台」が 3.8%となっています。

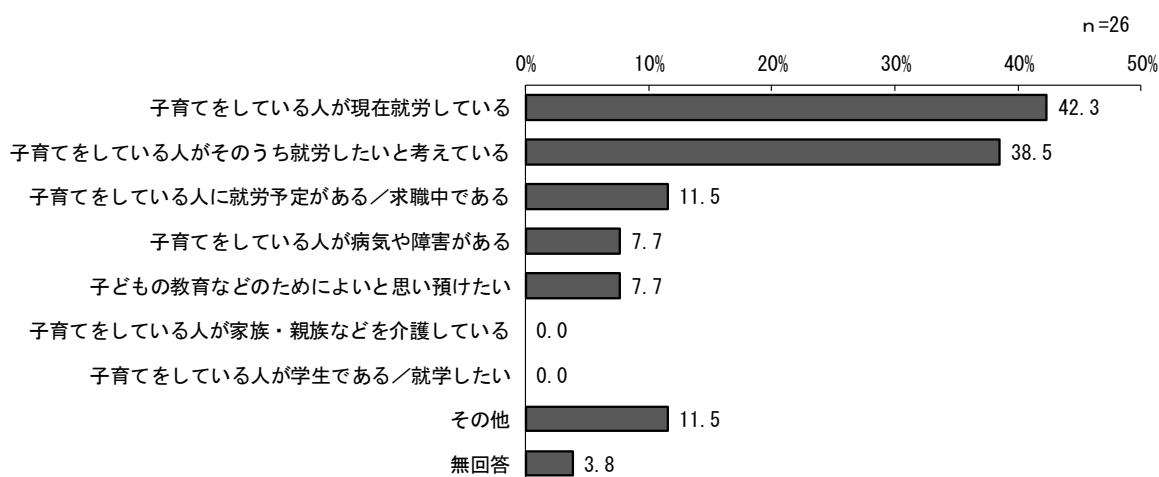
開始時間

終了時間



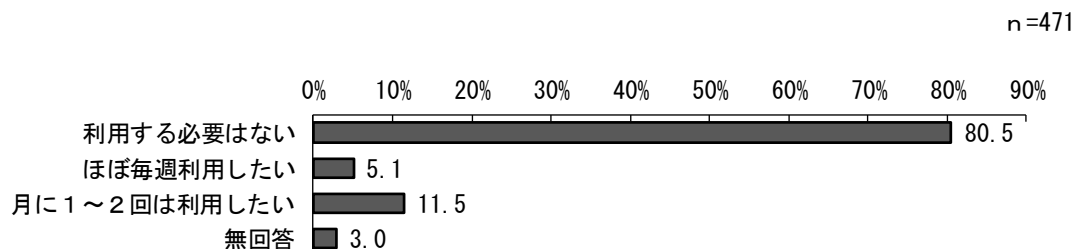
問 14-6 学童クラブを現在は利用していないが、今後は利用したい理由【複数回答】

「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が 42.3%と最も多く、次いで「子育て（教育を含む）をしている人がそのうち就労したいと考えている」が 38.5%、「子育て（教育を含む）をしている人に就労予定がある／求職中である」と「その他」が 11.5%、「子育て（教育を含む）をしている人が病気や障害がある」と「子どもの教育などのためによいと思いたい」が 7.7%となっています。



問 15 (1) 土曜日／学童クラブの利用希望【単数回答】

「利用する必要はない」が80.5%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が11.5%、「ほぼ毎週利用したい」が5.1%となっています。

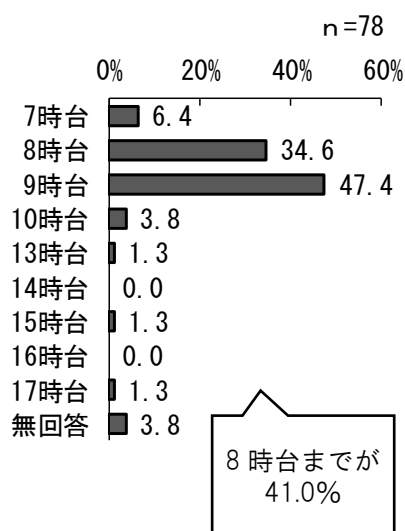


問 15 (1) 土曜日／利用したい開始時間・終了時間

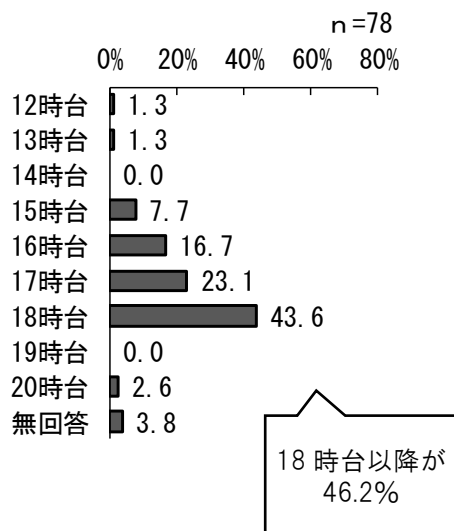
土曜日の学童クラブ利用希望の開始時間は「9時台」が47.4%と最も多く、次いで「8時台」が34.6%、「7時台」が6.4%、「10時台」が3.8%となっています。

終了時間は「18時台」が43.6%と最も多く、次いで「17時台」が23.1%、「16時台」が16.7%、「15時台」が7.7%、「20時台」が2.6%となっています。

開始時間

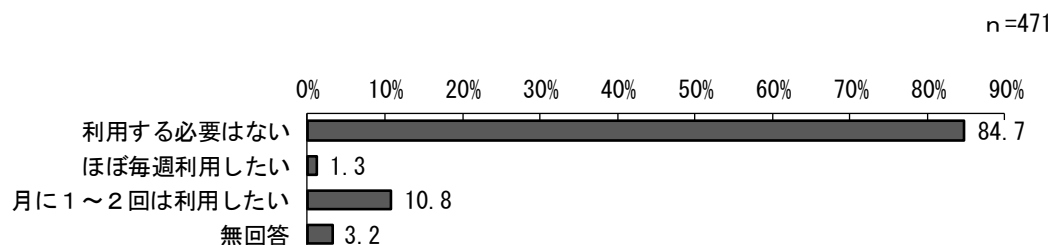


終了時間



問 15 (2) 日曜・祝日／学童クラブの利用希望【単数回答】

「利用する必要はない」が84.7%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が10.8%、「ほぼ毎週利用したい」が1.3%となっています。

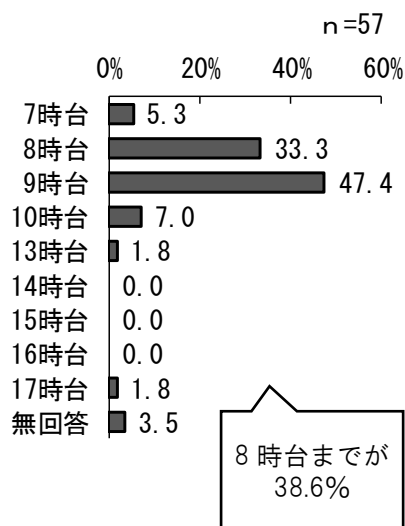


問 15 (2) 日曜・祝日／利用したい開始時間・終了時間

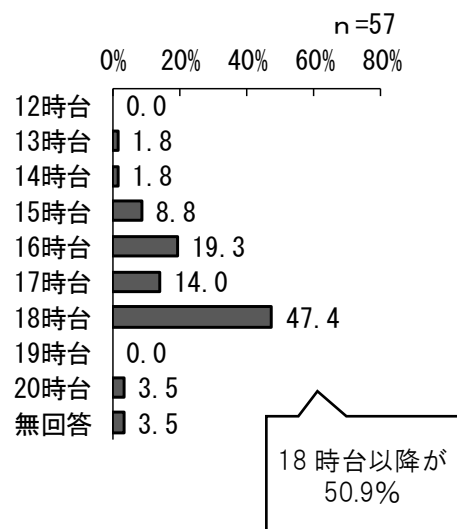
日曜・祝日の学童クラブ利用希望の開始時間は「9時台」が47.4%と最も多く、次いで「8時台」が33.3%、「10時台」が7.0%、「7時台」が5.3%、「13時台」と「17時台」が1.8%となっています。

終了時間は「18時台」が47.4%と最も多く、次いで「16時台」が19.3%、「17時台」が14.0%、「15時台」が8.8%、「20時台」が3.5%となっています。

開始時間

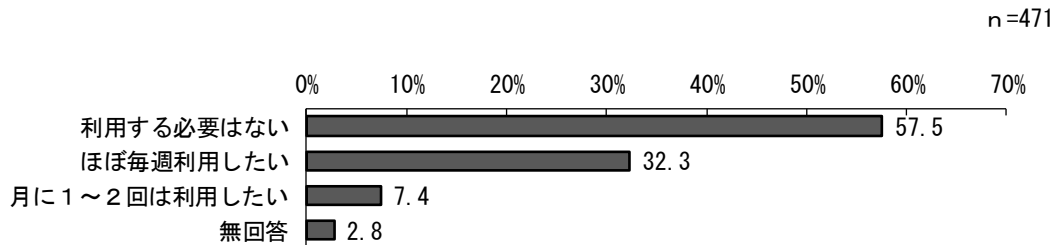


終了時間



問 16 夏休み・冬休みなどの休暇期間中／学童クラブの利用希望【単数回答】

「利用する必要はない」が 57.5%と最も多く、次いで「ほぼ毎週利用したい」が 32.3%、「月に1～2回は利用したい」が 7.4%となっています。



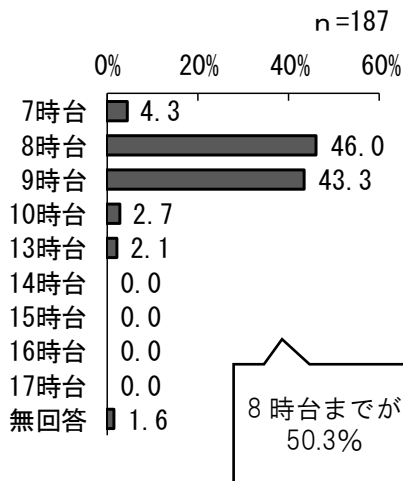
問 16 夏休み・冬休みなどの休暇期間中／利用したい開始時間・終了時間

休暇期間中の学童クラブ利用希望の開始時間は「8 時台」が 46.0%と最も多く、次いで「9 時台」が 43.3%、「7 時台」が 4.3%、「10 時台」が 2.7%、「13 時台」が 2.1%となっています。

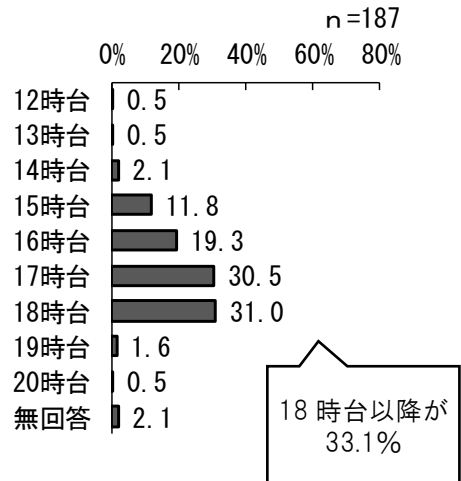
終了時間は「18 時台」が 31.0%と最も多く、次いで「17 時台」が 30.5%、「16 時台」が 19.3%、「15 時台」が 11.8%、「14 時台」が 2.1%となっています。

土曜日、日曜・祝日と比べると、希望する開始時間と終了時間は全体に早くなる傾向がみられます。

開始時間

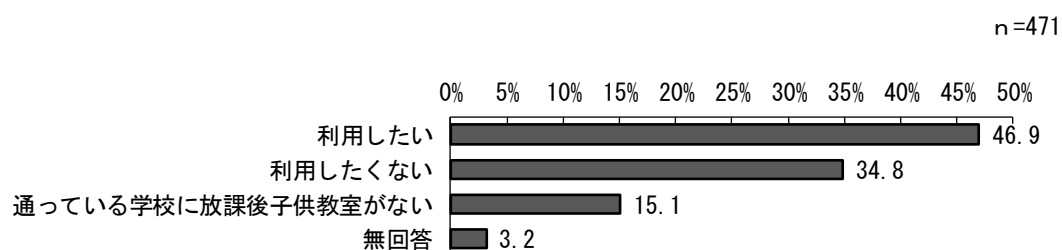


終了時間



問 17 (地域により学童クラブと連携して行われている)「放課後子供教室」の利用意向
【単数回答】

「利用したい」が46.9%と最も多く、次いで「利用したくない」が34.8%、「通っている学校に放課後子供教室がない」が15.1%となっています。



放課後子供教室利用希望の1週当たり利用日数 (日/週)

平均	2.8 日
最大値	7 日
最小値	1 日

放課後子供教室利用希望の1日当たり利用時間 (時間/日)

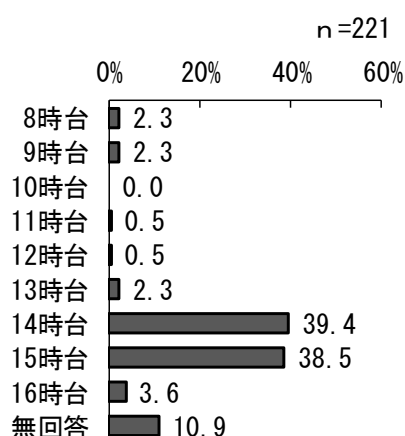
平均	2.5 時間
最大値	10 時間
最小値	1 時間

問 17-1 放課後子供教室利用希望／開始時間・終了時間

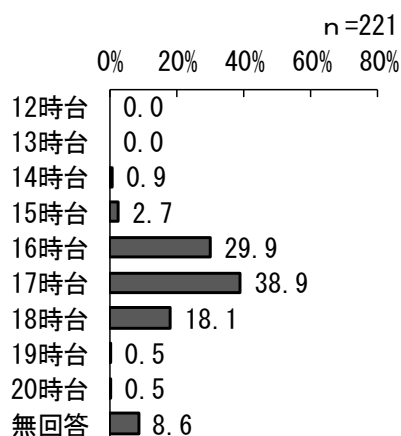
放課後子供教室の利用希望の開始時間は「14 時台」が 39.4%と最も多く、次いで「15 時台」が 38.5%、「16 時台」が 3.6%、「8 時台」と「9 時台」と「13 時台」が 2.3%となっています。

終了時間は「17 時台」が 38.9%と最も多く、次いで「16 時台」が 29.9%、「18 時台」が 18.1%、「15 時台」が 2.7%となっています。

開始時間

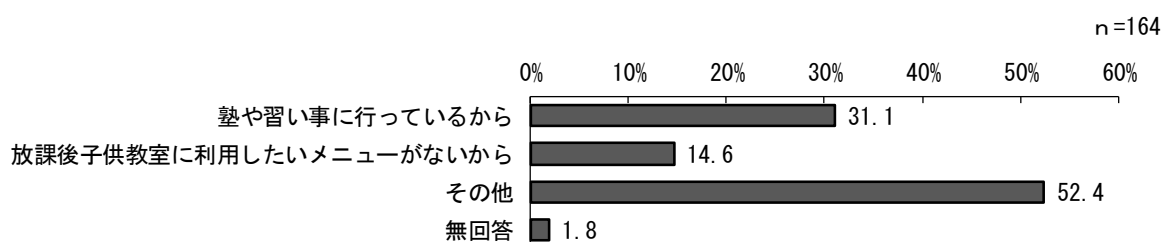


終了時間



問 17-2 (放課後子供教室を) 利用したくない理由【単数回答】

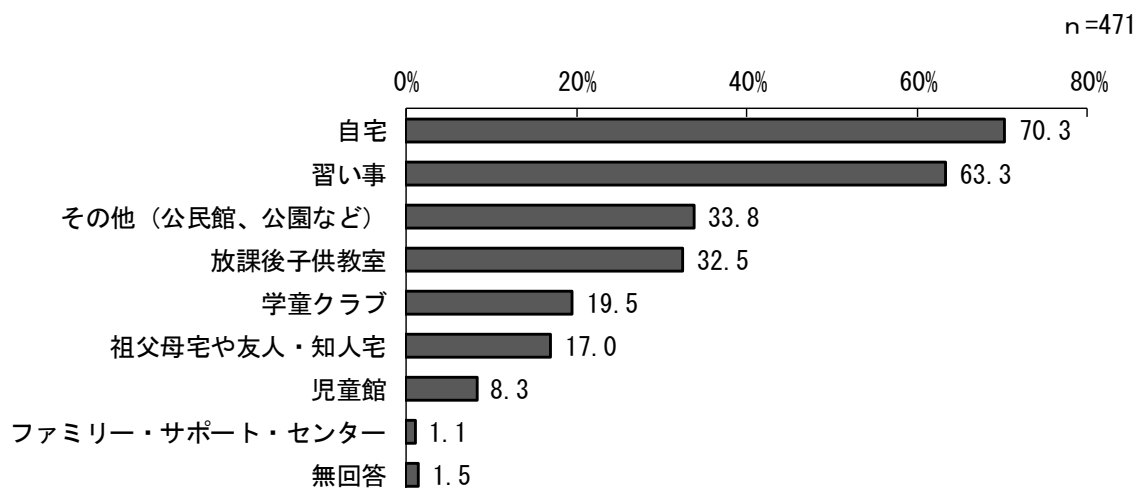
「その他」が 52.4%と最も多く、次いで「塾や習い事に行っているから」が 31.1%、「放課後子供教室に利用したいメニューがないから」が 14.6%となっています。



問 18 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか

【複数回答】

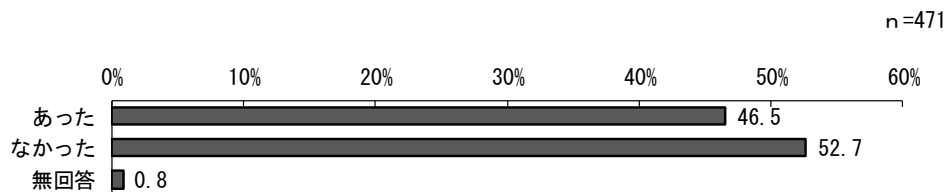
「自宅」が 70.3%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 63.3%、「その他（公民館、公園など）」が 33.8%、「放課後子供教室」が 32.5%、「学童クラブ」が 19.5%となっています。



5. 病気の際の対応について

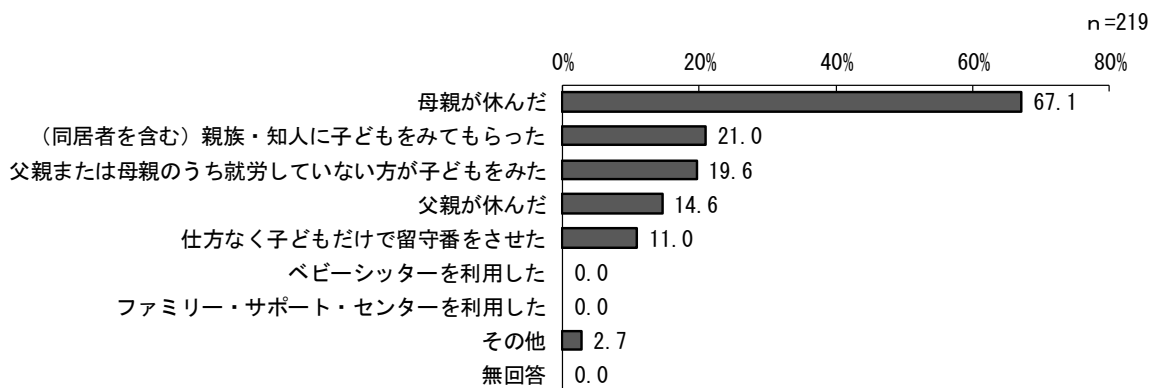
問 19 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスを利用できなかった経験【単数回答】

「なかった」が52.7%、「あった」が46.5%となっています。



問 19-1 お子さんが病気やケガの際に、この1年間で行った対処方法【複数回答】

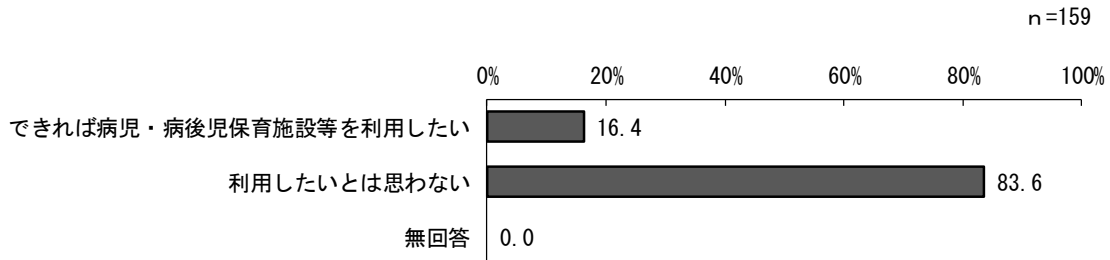
「母親が休んだ」が67.1%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が21.0%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が19.6%、「父親が休んだ」が14.6%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が11.0%となっています。



(母親もしくは父親が休んだ人への質問)

問 19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか
【単数回答】

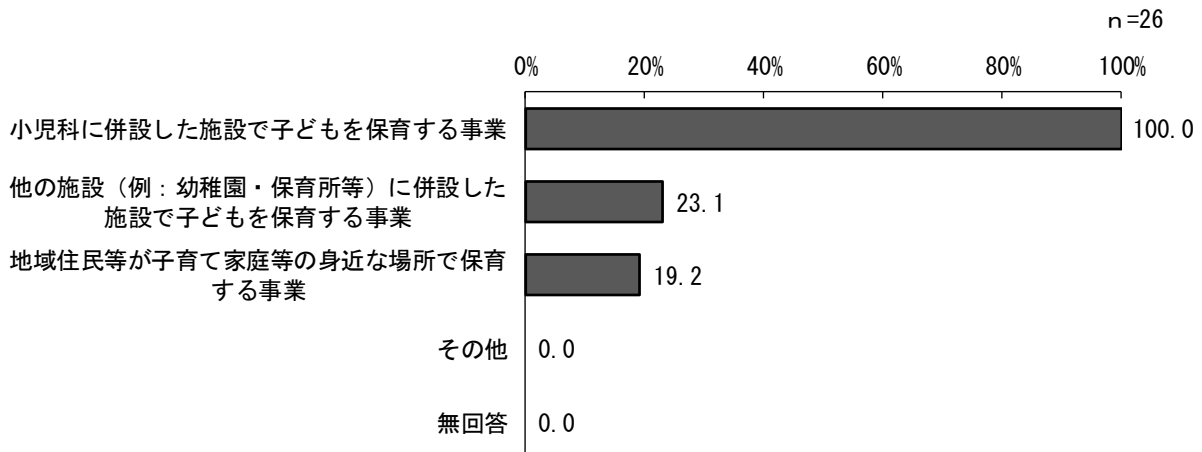
「利用したいとは思わない」が 83.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 16.4%となっています。



(できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい人への質問)

問 19-3 子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思うか【複数回答】

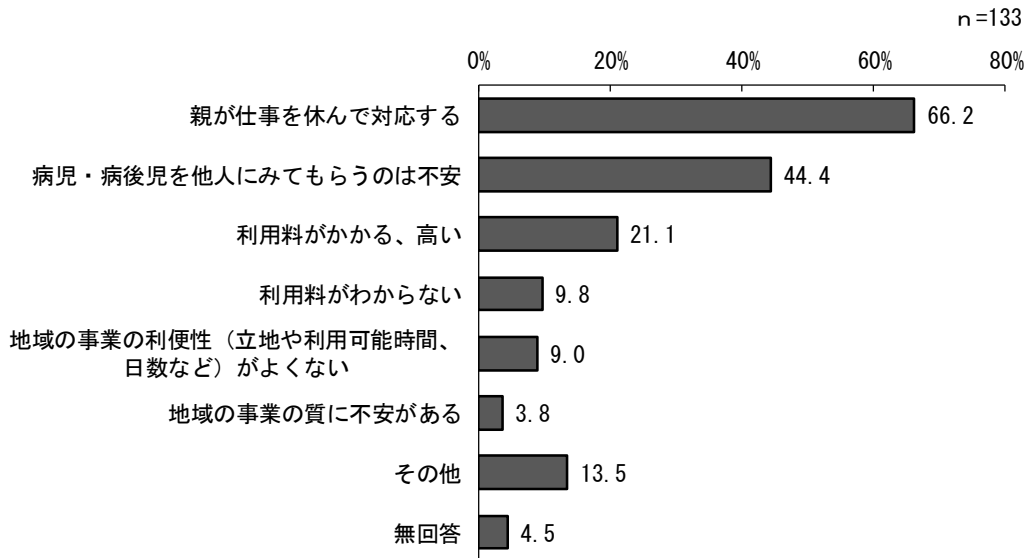
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 100.0%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 23.1%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 19.2%となっています。



(病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない人への質問)

問 19-4 そう思う理由【複数回答】

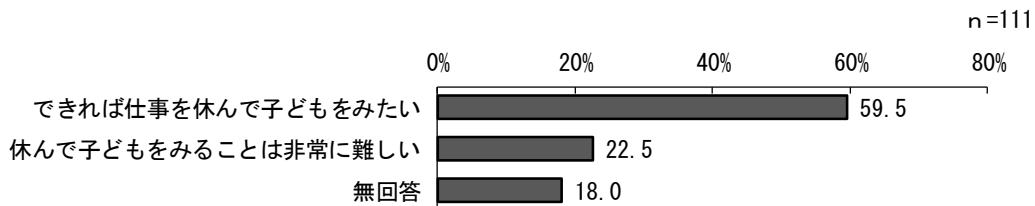
「親が仕事を休んで対応する」が66.2%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が44.4%、「利用料がかかる、高い」が21.1%、「その他」が13.5%、「利用料がわからない」が9.8%となっています。



(母親・父親が休まなかった人への質問)

問 19-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思ったか【単数回答】

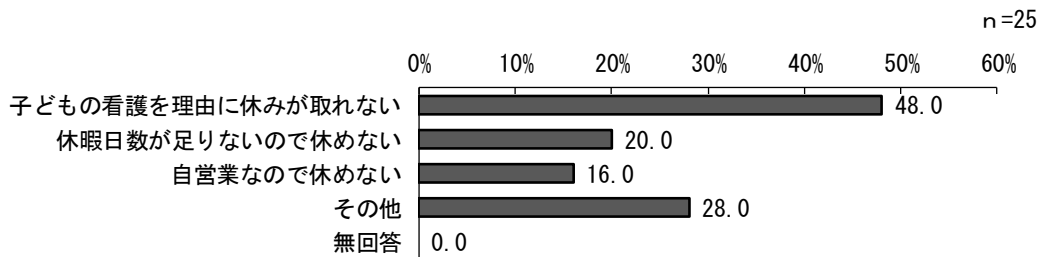
「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が59.5%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が22.5%となっています。



(休んで子どもをみることは非常に難しい人への質問)

問 19-6 そう思う理由【複数回答】

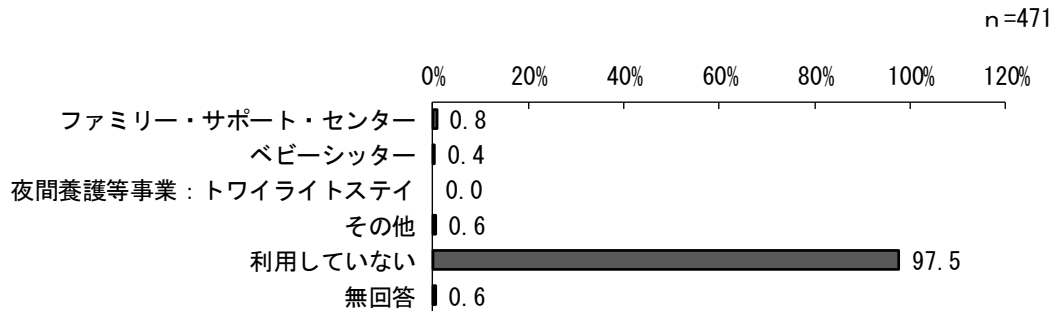
「子どもの看護を理由に休みが取れない」が 48.0%と最も多く、次いで「その他」が 28.0%、「休暇日数が足りないので休めない」が 20.0%、「自営業なので休めない」が 16.0% となっています。



6. 不定期の教育・保育や宿泊を伴う事業の利用について

問 20 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無【複数回答】

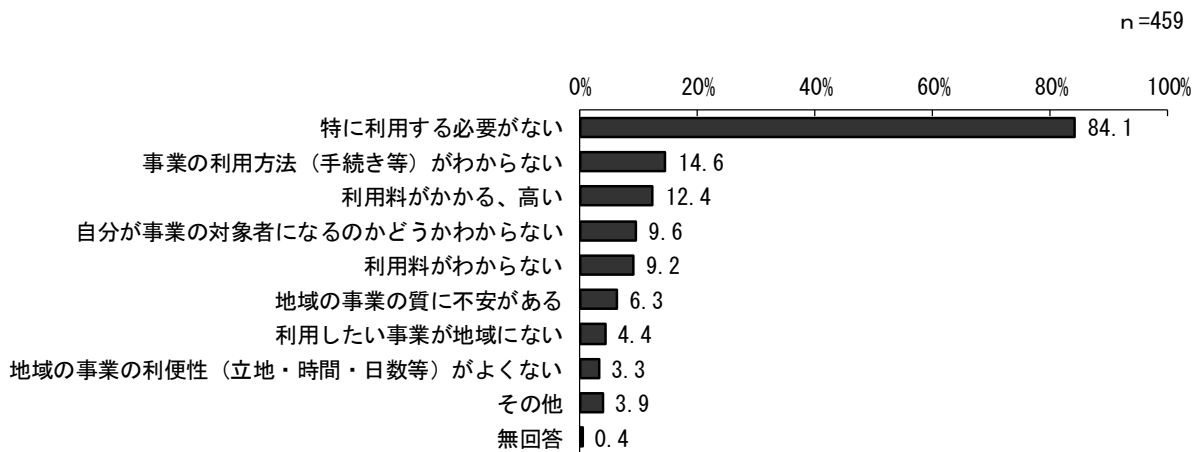
「利用していない」が97.5%と最も多くなっています。



(利用していない人)

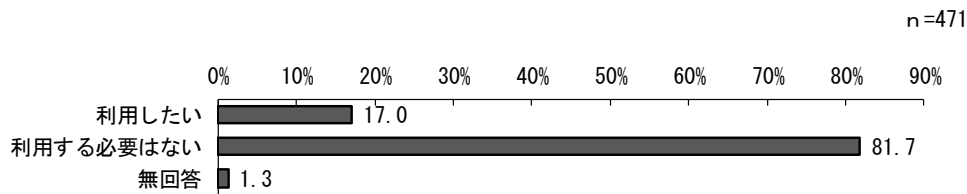
問 20-1 現在利用していない理由【複数回答】

「特に利用する必要がない」が84.1%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が14.6%、「利用料がかかる、高い」が12.4%、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が9.6%、「利用料がわからない」が9.2%となっています。



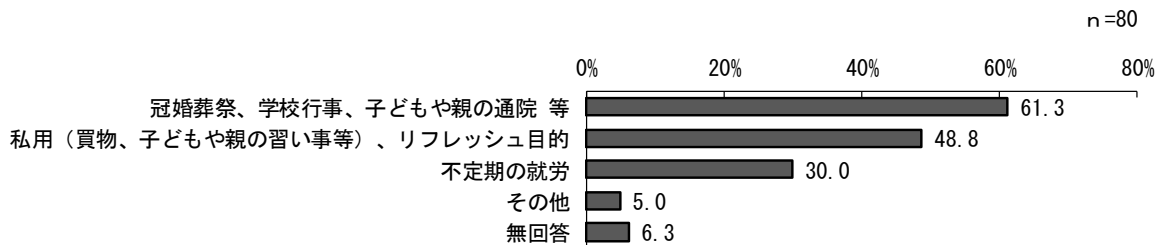
問 21 私用・親の通院・不特定の就労等の目的で事業を利用する必要【単数回答】

「利用する必要はない」が 81.7%、「利用したい」が 17.0%となっています。



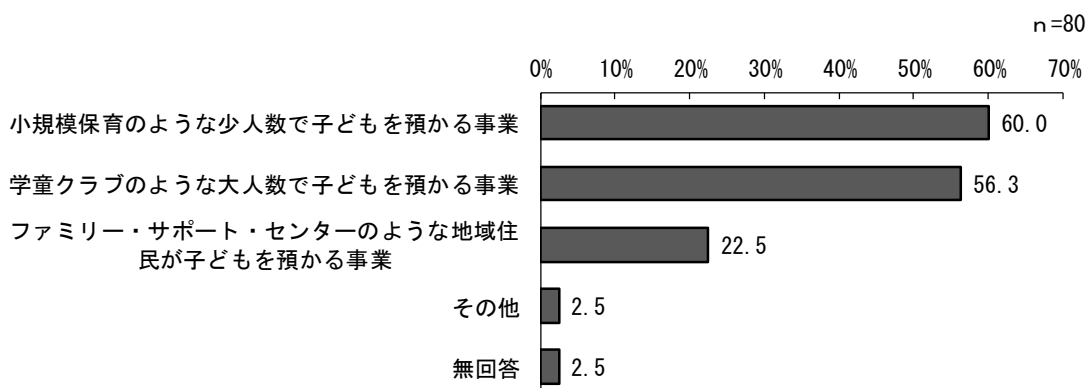
問 21 利用目的【複数回答】

「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が 61.3%と最も多く、次いで「私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 48.8%、「不特定の就労」が 30.0%となっています。



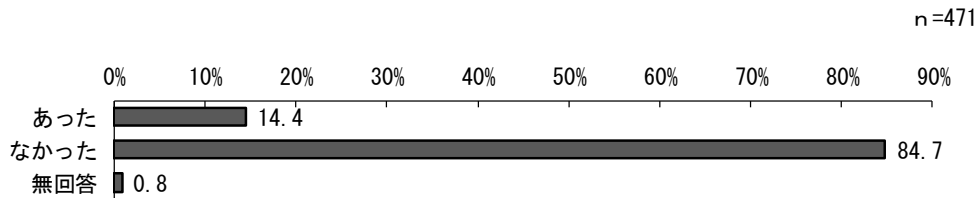
問 21-1 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思うか【複数回答】

「小規模保育のような少人数で子どもを預かる事業」が 60.0%と最も多く、次いで「学童クラブのような大人数で子どもを預かる事業」が 56.3%、「ファミリー・サポート・センターのような地域住民が子どもを預かる事業」が 22.5%となっています。



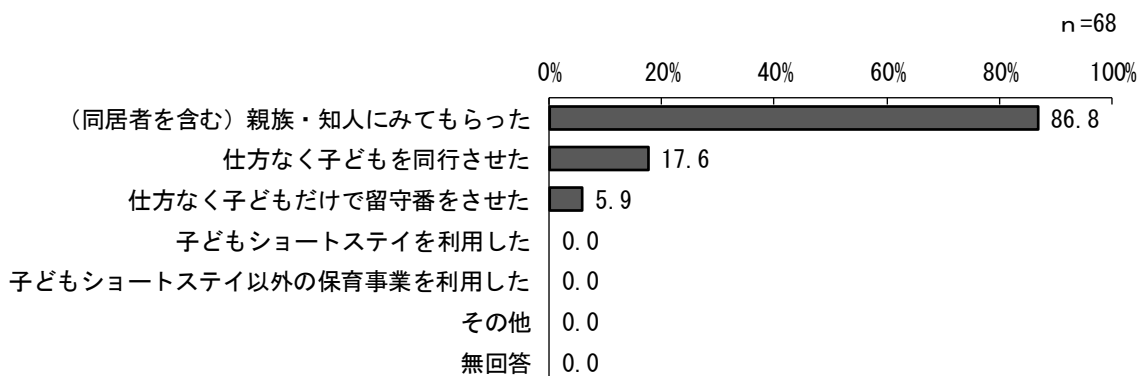
問 22 この1年間に、保護者の用事など（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか【単数回答】

「なかった」が84.7%、「あった」が14.4%となっています。



問 22 対処方法【複数回答】

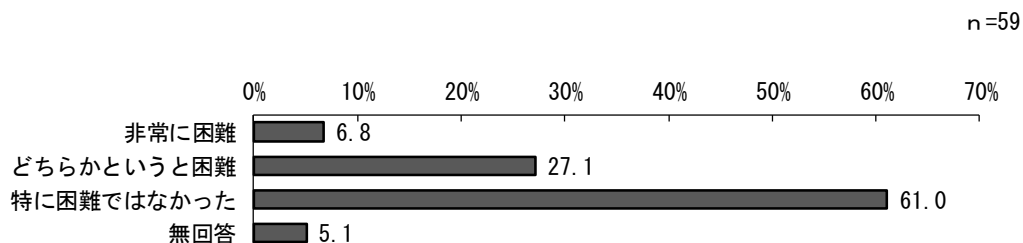
「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が86.8%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が17.6%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が5.9%となっています。



((同居者を含む) 親族・知人にみてもらった人への質問)

問 22-1 その場合の困難度【単数回答】

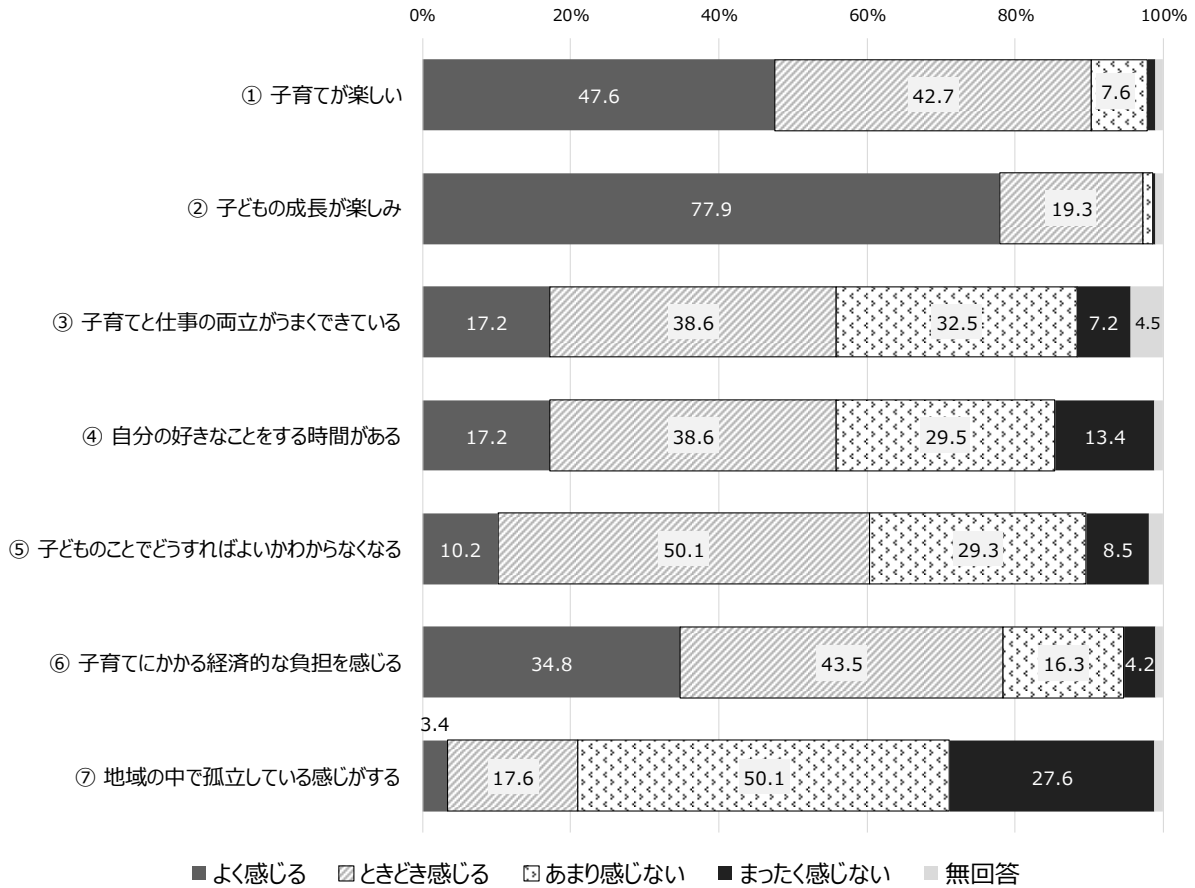
「特に困難ではなかった」が61.0%と最も多く、次いで「どちらかというと困難」が27.1%、「非常に困難」が6.8%となっています。



7. 子どもの育ちをめぐる環境について

問 23 子育てをしていて感じること

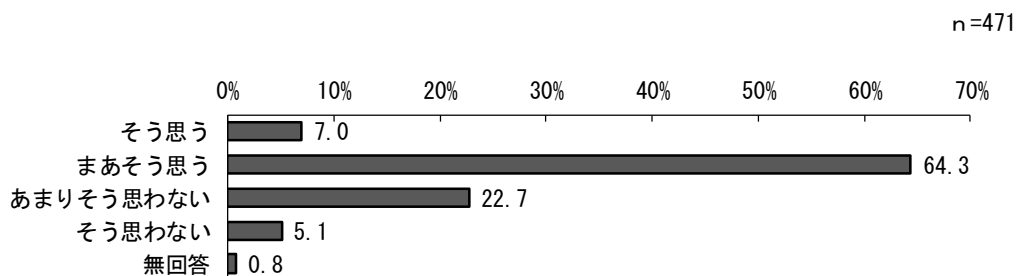
「② 子どもの成長が楽しみ」では 77.9%が、「① 子育てが楽しい」では 47.6%が「よく感じる」と回答しており、就学前と同様、小学生の保護者もポジティブな子育て感を持っている人が多いことがうかがえます。「⑤ 子どものことでどうすればよいかわからなくなる」では「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせて 60.3%が『感じる』と回答しており、就学前の保護者と同様、相談先などが求められると思われれます。「⑥ 子育てにかかる経済的な負担を感じる」では「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせて 78.3%が『感じる』と回答しており、就学前保護者（76.5%）よりも割合が高くなっています。



n=471

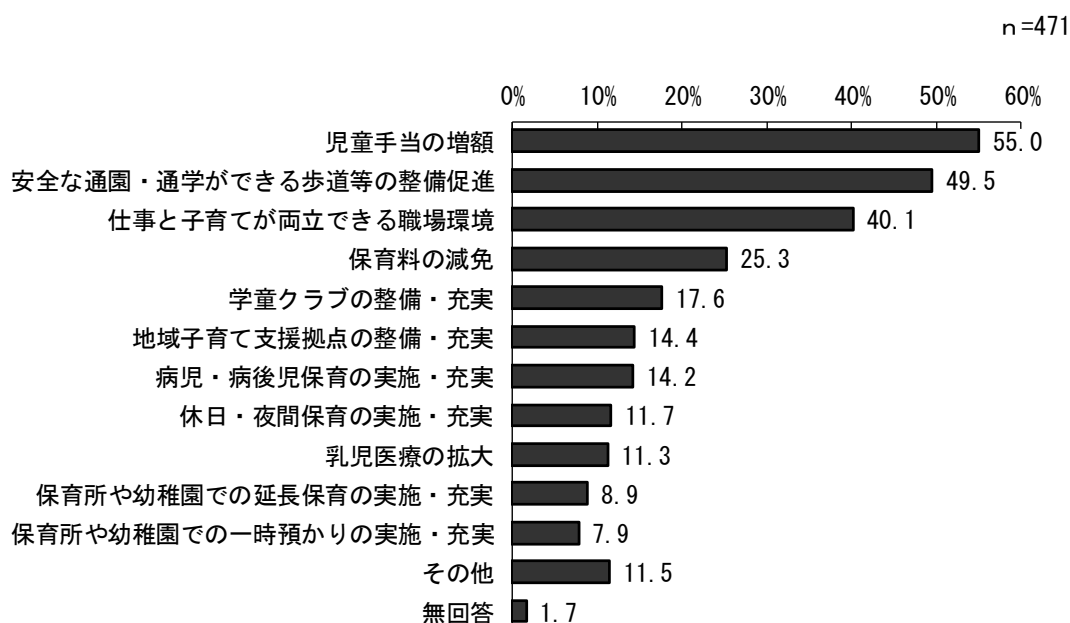
問 24 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思うか【単数回答】

「まあそう思う」が64.3%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が22.7%、「そう思う」が7.0%、「そう思わない」が5.1%となっています。



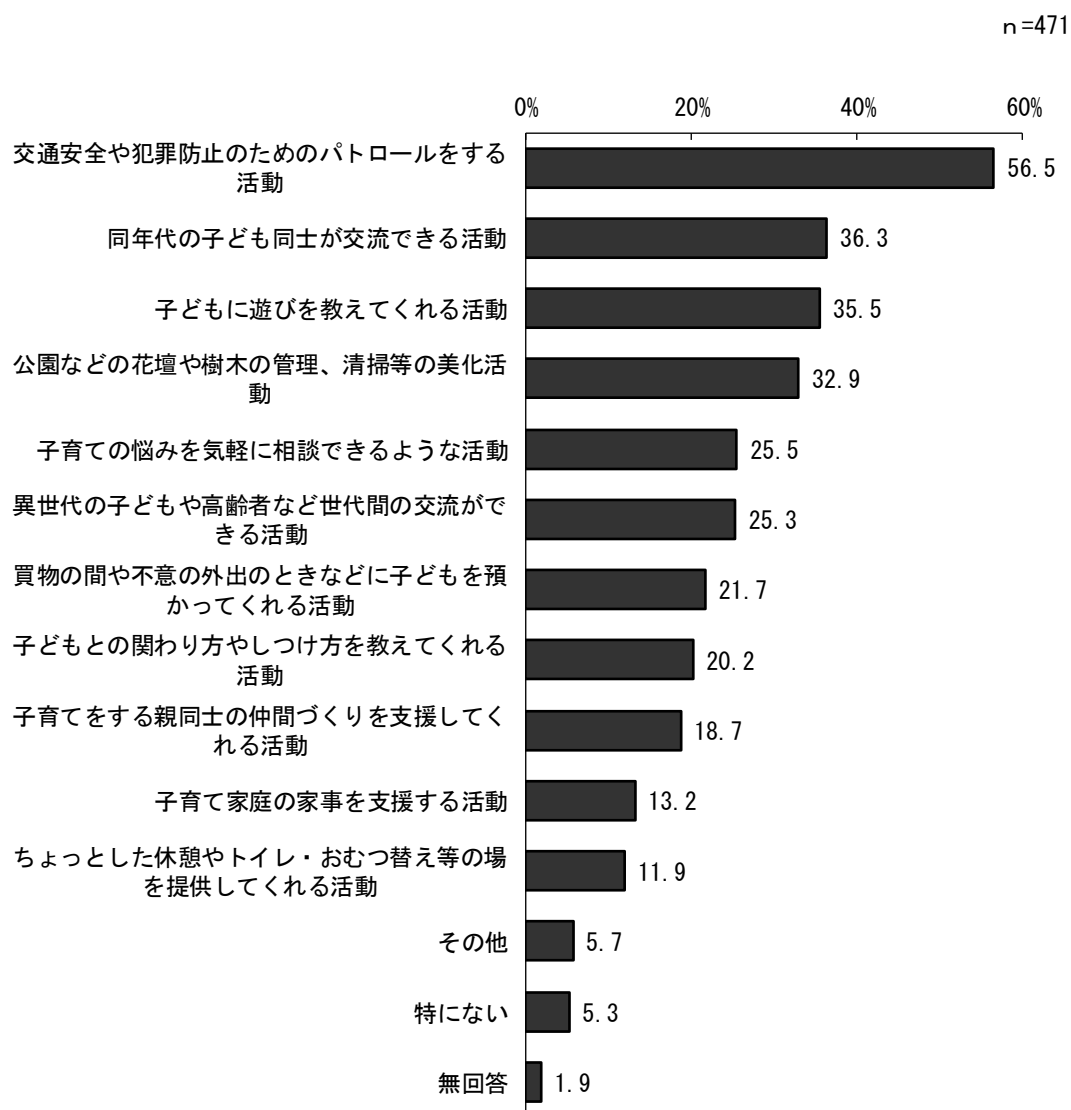
問 25 必要と思われる子育て支援策【複数回答】

「児童手当の増額」が55.0%と最も多く、次いで「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」が49.5%、「仕事と子育てが両立できる職場環境」が40.1%、「保育料の減免」が25.3%、「学童クラブの整備・充実」が17.6%となっています。



問 26 子を持つ親にとって、身近な地域にどのような活動があるとよいと思うか【複数回答】

「交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動」が 56.5%と最も多く、次いで「同年代の子ども同士が交流できる活動」が 36.3%、「子どもに遊びを教えてくれる活動」が 35.5%、「公園などの花壇や樹木の管理、清掃等の美化活動」が 32.9%、「子育ての悩みを気軽に相談できるような活動」が 25.5%となっています。

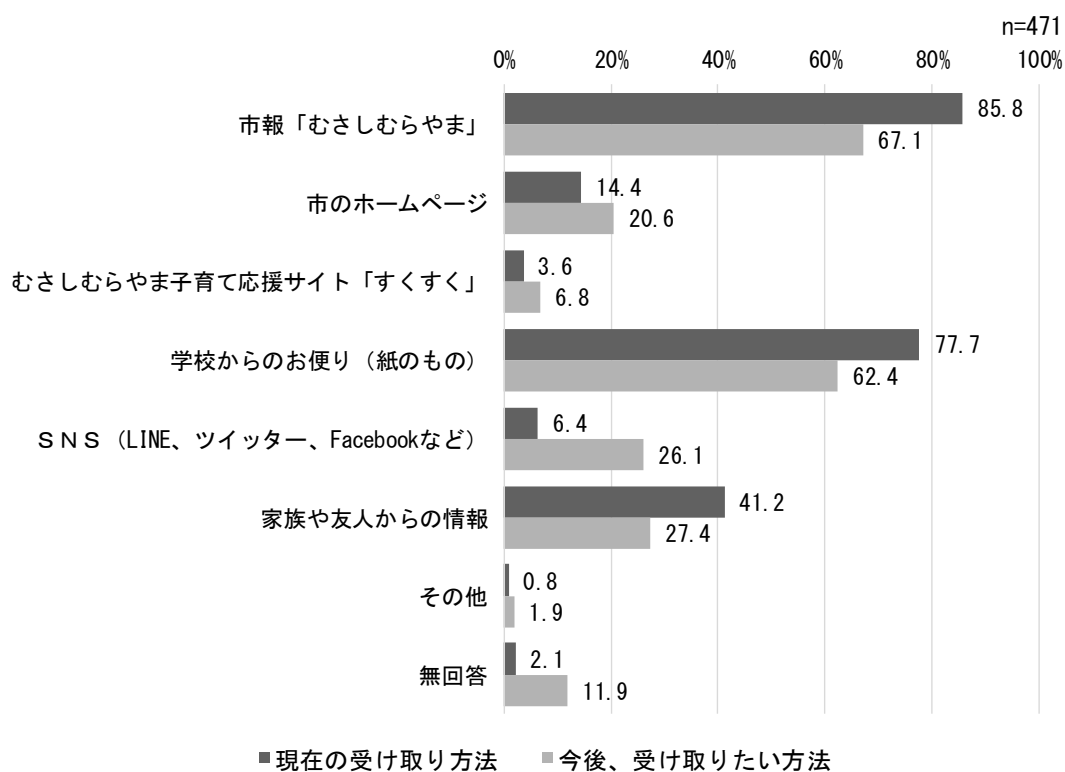


問 27 子どもに関する市の施策や行事などの情報

A 現在の受け取り方法／B 今後、受け取りたい方法【複数回答】

現在の受け取り方法は、「市報「むさしむらやま」」が85.8%と最も多く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」が77.7%、「家族や友人からの情報」が41.2%、「市のホームページ」が14.4%、「SNS（LINE、ツイッター、Facebookなど）」が6.4%となっています。

今後受け取りたい方法は、「市報「むさしむらやま」」が67.1%と最も多く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」が62.4%、「家族や友人からの情報」が27.4%、「SNS（LINE、ツイッター、Facebookなど）」が26.1%、「市のホームページ」が20.6%となっています。



自由回答

【設問】 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための国・東京都・武蔵村山市の取り組みや、社会の制度のあり方、あなたにとっての理想の子育てなど、ご意見等がありましたらご自由にご記入ください。

自由記述は意見が多いことから、本報告書においては主な意見を内容ごとに分類し、まとめています。

また、各意見の文末には【子どもの年齢】（就学前）、【子どもの学年】（小学生）を付しています（記載ないものはNAと表記）。

1. 就学前児童(0～5歳)の保護者

制度・事業・市の取組・費用

- 保育料をもう少し安くしてほしい。【0歳】
- 無償化など子どもにかかるお金への制度に期待したいです。【1歳】
- 子供の教育にかかる経済的負担を軽くしてほしい。【2歳】
- 制度や決まりは理解しますが個々の事情に寄り添える環境は必要。【2歳】
- 幼稚園の費用が高すぎ。【2歳】
- 2人目からは保育料半額！などは難しいでしょうか（元々の保育料が他自治体よりも低めではありますが）。【2歳】
- 全て無料になったらいいと思う。【3歳】
- 保育士の優遇・メンタルヘルスなどの管理はしっかり。【3歳】
- ファミリー・サポート・センターをもう少し安く利用したいと思ってしまいました。【3歳】
- 働きやすい制度づくりをしてほしい。【3歳】
- 子供が4人いても、児童手当がどう考えても少ないです。【4歳】
- 収入の上限で児童手当が他より低いことは納得いかない。【4歳】
- 教育費の軽減を検討していただきたいです。【4歳】
- 保育料を2人分払うために結局出費が多くなり、かなりしんどかったです。【4歳】
- しっかりとすべての子の保育料を払っていたが、来年度卒園なのに今頃の無料化にはがっかりしました。地域の方々の温かい見守りが本当に助かります。【5歳】
- ファミリー・サポート・センターが利用しにくい。【5歳】
- 手当等を増やすより個人で働き、稼げる環境を作った方が国のためにもなる。【0歳】
- 定員が100名以上等、大きい園ばかりだと感じています。【0歳】
- 出産をもう少し安くしてほしい。【0歳】
- 保育園の整備、交通の便（駅、バスの本数、ルート増等）を考えるべきだと思うのですが。【0歳】

- 未就園児のイベント（リトミックや体操、ベビーマッサージ、読み聞かせ、園庭開放など）がとてもありがたく、参加させて頂いております。児童館のイベントも友達ができ、悩み相談ができるなど。残堀伊奈平図書館で行って頂いてありがたいです（車がないので）。とても良い保育園が村山は多いように思います。【0歳】
- 幼稚園に入園するまで給付金がもらえると無理に子どもと離れて働く必要がない。【0歳】
- 市の支援センターなどとても助かっています。また、図書館などで読み聞かせをしているのも嬉しいです。【0歳】
- 子どもと過ごすことはおおむね満足できていることが多いです。行政サービスを知らず、子育てサポート等も利用したことがないという声も多い。【0歳】
- 武蔵村山市は子育てについて力を入れているようには思えない。公園が多いのは唯一のいい所だと思う。【0歳】
- 児童館が0歳からいつも遊べるようになっていない。【1歳】
- 支援センターや児童館で色々なイベントがありとても助かっている。【1歳】
- 他の区市町村の児童館や子育て支援センターを見て、改善して頂きたいと切に願います。【1歳】

預け先確保・待機児童

- 武蔵村山は比較的保育園に入りやすい。【1歳】
- 武蔵村山市は比較的、近隣市区町村より待機児童が少ないと感じます。人口規模の割に保育園が多く、子育ての環境が充実しています。公園も多く、子どもを安心して遊ばせられる環境もあります。【1歳】
- 保育園が他市を選べないことが不満です。【1歳】
- 保育園に預けていてストレスだったので幼稚園にしました。学費は少し高くなりましたが、負担が少なくなり楽になりました。有料でも良いので親の洗濯の負担、持ち物準備の負担を減らしてほしいです。【3歳】
- 職員の数が足りず保育の質も下がるのも親としては不安。【3歳】
- 学校は放課後教室がないので困る。【4歳】
- 保育園の待機児童を0とし、選択が自由にできる理想的な子育て環境をつくって頂きたい。【NA】
- 保育料の無償化は別にしなくていいから、確実に保育園に入れるようにしてもらいたい。【1歳】
- 多世代が集って助け合えるような場所が必要。【2歳】

窓口・相談・情報・手続き

- 武蔵村山は小さな子を育てるには向いていない。手がかからなくなった子供や、老人向きの市だと感じる。【2歳】
- 市の子育てに関する情報が伝わりづらい。【4歳】
- 市役所の営業を土曜日もしてほしいです。【5歳】
- 市のホームページが見つらく、必要な情報を探しにくいので改善をお願いします。【0歳】

子ども・子育て・教育

- 保育料だけではないが、子育てしやすい環境整備と保育士の給料もアップし、預ける側だけではなく預かる側にも恩恵があることを望む。【0歳】
- 高齢出産の会があるといいなあなんて思ったりします。【1歳】
- 児童手当や子育て支援相談の充実を求めます。【2歳】
- 園庭開放の保育士さんや市の保健師さんとお話しできたらなあ、心強いなあと思いました。【4歳】
- 学童の充実（受け入れ人数、指導内容プログラム）。【4歳】
- 将来への不安は教育費。【4歳】
- 保育所→小学校→中学校の連携を充実させてほしい。【5歳】
- 8小も校内に学童クラブがあると安心して働けます。【5歳】
- 子供の世話をするのが当たり前の社会になってほしい。【5歳】
- 学校の授業日数、時間数の取り方が良くないです。【5歳】
- 学校給食の無償化。【0歳】
- 出産費用が一時金でまかなえないのは経済的に辛い。残堀児童館のイベントがもう少し欲しい。【0歳】
- 幼稚園でも長い時間預かってほしい（夏休み中なども）。【0歳】
- 他の市に比べ子育てしやすく、市の対応も丁寧で助かっています。公園をシルバーさんが毎日きれいにしてくれ、感謝しています。【1歳】
- 産婦人科の補助（妊婦健診）が少ない。【1歳】

仕事と子育て・就労・育休

- 3歳までは育休がとれる制度を普及し、慣らし保育期間を1年程設け、その間は職場復帰しなくてもいい制度を設けてもらい、安心して仕事に復帰出来る制度を作っていただきたいです。【0歳】
- 市で生活状況などを見た上で、転勤をすすめるような申し入れ書面を作っていただけるような制度があったらいいなと思います。【2歳】
- 有給休暇を1時間単位で取得可能な制度を義務化してもらいたいです。また、小学校低学年の下校の時間を遅くしてほしいです。【2歳】
- 時間に融通がきく在宅の仕事がもっと増えてほしいなと思います。【2歳】
- 保育園に入れたため、急な残業となっても、安心して保育園にお願いできた。【5歳】
- 共働きの家庭にとっては、保育園に通っている間は安心して働くことができる。【5歳】
- 女性活躍と言われていますが、私は個人的には賛成ではないです。【0歳】
- 子供が2、3歳頃まで育休を取得できれば良かった。【0歳】
- 育児休業をもっと取りやすく、誰でも3歳になるまでは追加申請しなくても取れるようにしてほしい。【0歳】
- 家計的にも保育料の減額があると嬉しい。でも、武蔵村山は子育てしやすいまちだと感じております！【0歳】

- 心から安心して預けたいと思える保育所が少なく驚きました。認証保育園に預ける際に、助成を受けることのできる家庭の枠をもっと広げてほしい。【0歳】

健康・医療・障害

- インフルエンザの予防接種代を全額とは言わないので一部補助してほしい。【1歳】
- 病児保育は凄く必要だと思います。【1歳】
- 病児・病後児保育が利用しにくい。【2歳】
- 武蔵村山市に産婦人科・病院が一つしかなく今後は国内であれば医療費がどこでも免除（乳児・幼児）されるとありがたいです。【2歳】
- 娘は、生後2ヵ月で心臓の手術をし、3歳になる今も言葉があまり出ず発達が遅れています。市で関わって頂きとても助かっています。【3歳】
- 病児保育の当日受け入れ（事前診察なし）をやってほしい。【3歳】
- 小児科が増えると助かる。【3歳】
- 現在、病児保育が当日申請の対応をして頂けるよう、ご対応の程よろしくお願い致します。【4歳】
- 夜間、土日祝の受診しやすい病院が地域にあると安心。学童クラブは18:30までですが、急に仕事（残業）で帰れなくなってしまった際に対応策があると助かります。【4歳】
- インフルエンザの補助が高齢者にしかないのが不満。【2歳】

施設・設備・サービス拡充

- 自分の地域の自治会内で子どもがご近所の方々とふれ合えるイベントがあれば嬉しい。【1歳】
- 児童館がもう少し遊びやすいといいなと思います。【2歳】
- 各児童館でもっと集まれる会を作ってほしいです。【2歳】
- 図書館もすべて古めかしいのもっと新しくしてほしいです。【4歳】
- 一時預かり専用の子育て施設があると良いと思います。【4歳】
- 子どもを預かってくれる施設等の充実があればありがたい。【5歳】
- 車がなくても楽に支援センターや保育施設に行くことが出来ると嬉しい。【0歳】
- 児童館を少しかれいにしてほしい。【0歳】

生活環境・地域環境・安全

- 子供を遊ばせる場として、公園での喫煙を禁止してほしい。【1歳】
- 安全な通園・通学ができる環境の整備をぜひお願いしたいです。【1歳】
- 公園（遊べる遊具のある場所）が少ない。【2歳】
- 歩いて行ける距離に公園がない。【2歳】
- 防犯カメラ、パトロール施設が増えればと思います。【2歳】

- モノレールを通す計画を早く実行に移していただきたいと思う。【3歳】
- 通学に駅が遠いのでとても不便です。【3歳】
- 小さな子供が遊べる公園が少ないので、そういう公園を増やしてほしい。【3歳】
- きれいな公園やキャッチボールなど、ボールで遊べる場所がほしい。【4歳】
- 登校で使う道路を安全に通れるようにしてほしいです。【5歳】
- 伊奈平からは保健相談センターが遠すぎる。【5歳】
- 美化活動に力を入れてほしいです。【0歳】
- 大きな公園が欲しいです。【0歳】
- 小さい子が遊べる公園が少ない気がする。【0歳】
- ミラーの設置を希望します。【0歳】
- 道が狭いので子どもが安心して通行できる道路整備。【0歳】
- やっぱり交通が不便。地域の人たちの子供への優しさ温かさはとてもありがたく、子供もいつも笑顔ですくすくと育ち、児童館でお友だちも出来、これからも楽しみです。【0歳】
- ベビーカーでも通りやすい道に整備してほしい。【1歳】
- あまり利用したいと思える公園がない。【1歳】

その他

- 外国人の英語やフィリピンのタガログ語のアンケートなど（訳す）。【5歳】

2. 小学生(1~6年生)の保護者

制度・事業・市の取組・費用

- 教育に関わるものは無償化してほしい。【1年生】
- 子供が欲しくて大変な思いをしている人達への援助などが大切だと思います。【1年生】
- 小学生になると医療費がかかるのでなくしてほしいです。【1年生】
- 自然観察会に参加しましたが、市の自然等と触れ合う機会も増えるのではと感じました。高齢者の方々との触れ合いもでき、とても良かったです。【1年生】
- 学童で習字や英会話等ができるとうれしいです。【1年生】
- ファミリーサポートではよくお世話になっています。大変助かっております。【2年生】
- 中学生まで医療費が200円というのがとても良いです！東京なのに子育てしやすいと思う。【2年生】
- 放課後クラブを利用して、娘本人も楽しく遊ばせてもらい、私も時間の余裕が出来て夕食の用意など家事が終わり、娘が帰って来る頃には話をしたり宿題を見てあげたりとコミュニケーションが取れます。【2年生】
- スポーツ先進都市を目指す。【3年生】
- 小学校にある放課後教室ですが、子どもが通っている三小にはありません。【4年生】
- 子供が放課後に遊ぶ場所(外)が少ない。【4年生】
- 母子家庭となりましたが、補助金の所得制限額を見直してほしい。【4年生】
- 中学校卒業までの手当を手厚くしてほしい。【4年生】
- 祝日の出勤時に預ける保育園がなくファミリー・サポート・センターを利用していました。二人利用するとだいたい1万5000円ぐらいになり、経済的に負担でした。【4年生】
- 1人親世帯に補助金などがあるととても助かります。【4年生】
- 小学生を安心して預けられる場所や遊ばせることのできる場所もあまりなく、行き場のない子供達をよく見かけます。【4年生】
- 海外のように3人以上の子供を育てる世帯が、より手厚く教育、税のメリットを受ける様にすべきだ。もしくは、子供の人数に比例する制度が全てにわたって準備されるべきだ。【5年生】
- 中学・高校生の子どもを持つ家庭にも、もう少し支援していただけたらと思います。【5年生】
- 所得に関係なく子どもの医療費は平等にしてほしい。【5年生】
- 武蔵村山市全体に学力が低い。【6年生】
- 児童手当の増額、延長など、高校を卒業する頃まで手当を受けられると助かる。【6年生】
- 高校まで児童手当を延長してほしい。【6年生】

預け先確保・待機児童

- 長期の学校の休みの間だけ、学童のように預けられる場所を作ってほしいと願います。【1年生】

- 放課後子供教室を長期休暇(夏休み、冬休みなど)に、短時間でもいいので実施してほしいです。【2年生】
- 子供がいても働ける!というサービスがあれば若者が増えるかも?【2年生】
- 学童の空きがない。【5年生】
- 放課後子供教室は、長期休暇日や給食のない日はやっていません。外部の子でももう少し楽しめるような設備や遊具、内容の充実等ご検討頂けたら子ども達が喜ぶかと思いません。【5年生】
- 学童クラブを利用したかった時に入れず、ランドセル来館や放課後子どもクラブを利用しました。【6年生】

窓口・相談・情報・手続き

- サービスや施設を知らない方が多いと思います。情報発信の仕方が大切かと思えます。【2年生】
- 児童館のHPなどを見ても、場所や連絡先は分かるが、どのような場所で、だれが利用できるのか? 何が出来るのか? などわかりづらい。対象年齢や時間など詳しくしてほしい。【2年生】

子ども・子育て・教育

- 美味しい給食をお願いしたいです。育ち盛りなので。【3年生】
- 市内小・中・高校の学力が低いようで、何か対策はありますか?【4年生】
- すべての子どもに、一定の学力をつけるための方法を考えてほしい。【5年生】
- 図書館の整備もしてほしいです。【5年生】
- 中学校の選択制について、人気のある中学校の受け入れ枠をもっと増やしてほしい。【6年生】
- もう少し悩みやグチが気軽に言えるともっと良いと思います。【6年生】
- 現在、6年生だが、学校の風通しが良く、安心して通わすことができている。【6年生】
- 「地元民の潜在能力(元講師、元スポーツ代表など)」を規定選考でアルバイト的に参加して頂き、各地の子ども達の成長力を高める事を検討してほしいです。【6年生】

仕事と子育て・就労・育休

- 病児保育が、もっと増えて利用しやすくなれば、安心して働くことができます。【1年生】
- 子供の学校行事や病気での休暇を取りやすい環境づくりをすすめていただけるとありがたいです。【3年生】
- 父子家庭の支援にも力を入れていただけたら幸いです。【4年生】
- 子育て支援も大切だと思いますが、親子関係の大切さ、今の成長をよるこんでいけるそんな支援も大切だと思います。【4年生】
- 子育てに関する事業が行われていることは知っているが、主に日中(平日)ばかりで仕事を持つ者は参加しにくいと感じています。【3年生】

健康・医療・障害

- 医療ケア児にも目を向けて、親同士が共感できる場を作ってほしいと思います。【1年生】
- 子供が具合の悪いときにうまく活用できるようなシステムが欲しい。【1年生】
- 産婦人科のある病院の拡充。【1年生】
- これまで通院負担 200 円というのが、とてもありがたかった。【2年生】
- 医療機関が少ない、不便という印象があります。【3年生】
- 地域、学校などで障害児が楽しく生活できる環境を作っていただければと思います。【3年生】
- 障害児がいる家庭のサポートをもっと充実させてほしいです。【3年生】
- インフルエンザの予防接種のお金が高い。【4年生】
- 聴覚障害があるため、子供が通える中学校・難聴学級を設けて下さい。【5年生】
- たばこの受動喫煙問題…禁煙対策を望みます。【6年生】

施設・設備・サービス拡充

- 放課後子供教室が三小と十小にはないのはなぜなのか。【1年生】
- 子どもたちが思いっきり遊べる場所が欲しいです。【1年生】
- 他市に比べスポーツ施設が少ない。【1年生】
- 現在利用している学童クラブ、児童館がとても古く感じ、暗く、清潔感が感じられません。【2年生】
- 保育所の開設時間の延長、学童保育所の開設時間の延長。【4年生】
- 放課後子供教室が夏休みなどにもあるとありがたい。中央図書館の建設を強く望む。【4年生】
- 学校に登校前の時間帯に利用できる制度や施設があると助かります。【4年生】
- 市営プールも市の中心部にしてほしい。【4年生】
- 学童や放課後クラブ、できるだけ学校内で完結するようにしていただけたらと思いました。【6年生】
- もっと図書館を充実したものにしてほしいです。【6年生】

生活環境・地域環境・安全

- 身近に行く事が出来る公園（遊具有）が少ない。【1年生】
- 通学路の歩道の狭さ。朝は自転車も通ったりするので本当に危ないです。【1年生】
- 地域の方の見守りが、子供を守ることに繋がると思います。【1年生】
- 通学路の街灯を増やしてほしい。【1年生】
- 児童館などで過ごせるようなイベントや遊具などが増えてほしいです。【1年生】

- 野山北公園が大好きで体力づくりにとても良い場所だと思います。大きい図書館や科学館みたいな物が身近にあり、子供や大人が学びたくなる環境があるとステキです。【1年生】
- 不審者対策をしっかりしてほしいです。【2年生】
- 成長を見守っていけるような地域の密度をもっともっと深めていけたらと思うこの頃です。【2年生】
- 早くモノレールができてほしいです！【2年生】
- ゴミが多く出され歩道をふさぐため、子供が通れないため車道に出ざるを得ない状況がたびたびある。【2年生】
- 土地がたくさんあるのに、公園や遊具が少ないと思いました。【2年生】
- 公園や通学路に防犯カメラの設置を希望。学校での歯みがきの徹底。【3年生】
- 安全で魅力ある公園、児童館をたくさん作ってもらいたい!管理人がいる公園、夏になると水遊びができる公園、子供達が借りられるバスケットコートやサッカーコート等のある公園、年齢に合わせた様々な遊具のある公園、特色のある公園、駐車場のある公園、児童館と公園が同じ敷地に併設している公園、大人と様々な年齢の子供達が一緒に遊べる公園があったら良いなと思います。児童館が古くて使いにくい。【3年生】
- 学童ありきの考え方をやめて、親が家庭での学習を子どもと一緒にやって取り組むことを推進すべきです。【4年生】
- 比較的のびのびと子育てしやすい場所だと思っています。公園で見かける“ボール禁止”の看板は、近隣への迷惑を考えてのことかもしれませんが、どんどん自由に遊べる場所が減って子供の居場所がなくなるといいな…と思っています。【5年生】
- 親同士のかかわりが無いのが不安になる。【1年生】

その他

- 各家庭が閉鎖的にならずに、地域で子育てをしているという意識を個々に持てるようになることが重要。【1年生】
- 安心して子供を育てられます。【4年生】

参考資料 -使用した調査票-

1. 就学前児童(0～5歳)の保護者

武蔵村山市 子ども・子育て支援事業計画

策定のためのアンケート調査

就学前のお子さんの保護者の皆様へ

ご協力をお願い

皆様には、日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

武蔵村山市では、子ども・子育て支援策に基づき、平成27年3月に「武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、「みんな子育て、支えあい、うるおいのあるまち武蔵村山市」の実現に向けて市の子どもと子育て世帯への支援の充実を図ってまいりました。この計画は5年ごとに作成する計画となっており、現在、市では次の5年間（平成32年度～平成36年度）を対象とした第2期の計画策定に向けて準備を進めているところです。

そしてこのたび、計画策定にあたって、市民の皆様への教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望、子どもと子育て世帯を取り巻く状況などを把握するため、この調査を実施することといたしました。

この調査は、住民基本台帳から小学校就学前（0～5歳）のお子さん1,000名を無作為に選び、その保護者をお相手にお願ひするものです。ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、回答者の方が特定されたり、ご回答内容が他に漏れたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月
武蔵村山市

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名のお子さんについて、お子さんの保護者の方がお答えください。この調査では、封筒のあて名のお子さんのことを「お子さん」と書きます。
2. 質問には平成30年11月1日現在の状況でお答えください。
3. あてはまる答えの番号を○（1つ、もしくは、あてはまるものすべて）で囲んでください。数字を記入する質問では枠内に数字を記入してください。○をつける数や数字の記入のしかたは、それぞれの質問文や、質問文の後ろの（ ）に書いてあります。「その他」を選ばれた場合は、後の（ ）の中にその具体的な内容をご記入ください。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒に入れ、**12月11日(火)**までに郵便ポストへ投函してください（切手は必要ありません）。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

お問い合わせ先
武蔵村山市役所 健康福祉部 子ども育成課 保育係
電話番号：042-565-1111（内線1182）
8:30～17:15（土日祝日を除く）

お住まいの地区についておたずねします。

問1 武蔵村山市のどちらにお住まいですか。(1つに○)

- | | | | | |
|-----------|---------|-------|--------|---------|
| 1. 緑が丘 | 2. 中藤 | 3. 神明 | 4. 中央 | 5. 本町 |
| 6. 三ツ木 | 7. 岸 | 8. 中原 | 9. 残堀 | 10. 伊奈平 |
| 11. 大字三ツ木 | 12. 三ツ藤 | 13. 榎 | 14. 学園 | 15. 大南 |

お子さんご家族の状況などについておたずねします。

問2 お子さんの生年月日はいつですか。(数字を記入)

平成()年()月()日 生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、いちばん下のお子さんの生年月月もご記入ください。

きょうだい数()人

末子の生年月:平成()年()月()日 生まれ

問4 この調査にご回答くださっている方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査にご回答くださっている方には、配偶者(パートナー)はいらっしゃいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父 | 5. その他() | |

問7 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方(施設)はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 |
| 4. 祖父 | 5. 認定こども園 | 6. 幼稚園 |
| 7. 保育所 | 8. その他() | |

子どもの育ちを取り巻く環境についておたずねします。

問8 お子さんの子育て(教育を含む)に影響すると思う環境はどれですか。

1. 家庭
2. 地域
3. 認定こども園
4. 幼稚園
5. 保育所
6. その他()

(あてはまるものすべてに○)

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人等はいませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9へ

問9へ

問9で「1」または「2」に○をつけた方に向かいます。

問9-1 祖父母等の親族にみてもらえている状況についてお答えください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きいく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きいく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他()

問9へ

問9で「3」または「4」に○をつけた方に向かいます。

問9-2 友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きいく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他()

すべての方に向かいます。

問10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所はありますか。(1つに○)

1. いる/ある
2. いない/ない

問10へ

問11へ

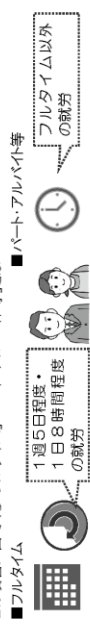
問10で「1」いる/あるに○をつけた方に向かいます。

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(児童館等)・NPO法人
5. 保健所・保健センター
6. 子ども家庭支援センター
7. 保育士
8. 幼稚園教諭
9. 学童クラブの先生
10. 民生・児童委員
11. かかりつけの医師
12. 市の子育て関連担当窓口
13. その他()

お子さんの保護者の就業状況についておたずねします。

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」は…



問11 保護者の現在の就業状況(自営業・家族従事者を含む)は下記のどれですか。【※父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問11の「1」~「4」(就労している)に○をつけた方に向かいます。

(1)-1 1週当たりの「就労日数」、また1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(数字を記入)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前のお答えください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(1)-2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時台かを教えてください。

(数字を記入。必ず「8時台~18時台」のよう、24時間制でお答えください。)

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前のお答えください。

家を出る時刻 () 時台 帰宅時刻 () 時台

(2)「お父さん」について(1つに○)

【※母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就労しており、育児・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、育児・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問 11の(2)で「1」または「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

(2)-1 1週当たりの「就労日数」、また1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(数字を記入)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※育児・介護休業中の方は、休業に入る前のお答えください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(2)-2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時台かを教えてください。

(数字を記入。必ず「18時台～18時台」のように、24時間制でお答えください。)

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※育児・介護休業中の方は、休業に入る前のお答えください。

家を出る時刻 () 時台 帰宅時刻 () 時台

問 11の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にうかがいます。

問 12 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

- (1)お父さん
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

- (2)お父さん
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 11の(1)または(2)で「5」(現在就労していない)、または「6」(就労したことがない)に○をつけた方にうかがいます。

問 13 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1)お母さん

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、いちばん下の子どもが () 歳になった頃に就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
⇒1週当たり () 日 / 1日当たり () 時間

(2)お父さん

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、いちばん下の子どもが () 歳になった頃に就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
⇒1週当たり () 日 / 1日当たり () 時間

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についておたずねします。

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指すこととします。具体的には、幼稚園や保育所など、問 14-1に示した事業が含まれます。

すべての方にかかいます。

問 14 お父さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。

(1つに○)

1. 利用している 問 14-1 へ

2. 利用していない 問 14-5 へ

問 14-1～問 14-4は、問 14 で 1. 利用している」に○をつけた方の方がいいです。
 問 14-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合し、市の認可を受けた定員 6～19 人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認証保育所(国基準による認可保育所ではないが、東京都が独自基準で認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
12. その他()

問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入ください。
 時間は、必ず「9時～18 時」のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 【 () 時 ～ () 時 】
 (2) 希望
 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 【 () 時 ～ () 時 】

問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(1つに○)
 1. 武蔵村山市内
 2. 他の市区町村

問 14-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由は、次のとおりですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている人が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている人に就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている人が家族・親族などを介している
5. 子育て(教育を含む)をしている人が病氣や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている人が学生である
7. その他()

問 14 で 2. 利用していない」に○をつけた方の方がいいです。
 問 14-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人、知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため() 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他()

すべての方の方がいいです。
 問 15 現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)
 なお、これらの事業利用には一定の利用者負担が発生します。また、認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合し、市の認可を受けた定員 6～19 人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認証保育所(国基準による認可保育所ではないが、東京都が独自基準で認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
12. その他()

問 15 で 1. または 2. に○をし、かつ 3. ～ 12. のいずれかにも○をした方の方がいいです。
 問 15-1 特に幼稚園(預かり保育含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

1. はい
 2. いいえ

問 16 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(1つに○)

1. 武蔵村山市内
2. 他の市区町村

問17 もし、教育・保育サービスにかかっている現在の経済的負担が減るとしたら、現在の利用から変更・追加したいと思うものはありますか。何に変更したいか、何を追加したいかをお答えください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 幼稚園 | 2. 幼稚園の預かり保育 |
| 3. 認可保育所 | 4. 認定こども園 |
| 5. 小規模な保育施設 | 6. 家庭的保育 |
| 7. 事業所内保育施設 | 8. 認証保育所 |
| 9. その他の認可外の保育施設・サービス | 10. 居宅訪問型保育 |
| 11. ファミリー・サポート・センター | 12. その他() |

問18 教育・保育サービス(施設)を選ぶ際に、重視することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 教育・保育の方針に共感できる | 2. 送迎バスがある |
| 3. 保育以外にさまざまな教育プログラムがある | 4. 通勤経路に施設がある |
| 5. 園庭がある | 6. 給食を提供している |
| 7. 園長・保育士・教員等の対応や施設の印象 | 8. アレルギーなど個別の支援対応 |
| 9. 夏休み等も預かってくれる | 10. 地域での評判が良い |
| 11. 預かり保育や延長保育への対応 | 12. 行事が充実している |
| 13. 保育料が安い | 14. 兄弟と同じ園である |
| 15. 自宅との距離・移動時間 | 16. その他() |

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についておたずねします。

問19 お子さんは現在、市内保育所で実施している『子育てセンター』『親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、国の事業名では「地域子育て支援拠点事業」と呼ばれています(1つに○) また、おおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

- | |
|--|
| 1. 利用している
⇒ 1週当たり () 回 もしくは 1か月当たり () 回程度 |
| 2. 利用していない |

問20 問19のような「地域子育て支援拠点事業」(『子育てセンター』)について、「今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは「利用日数を増やしたい」と思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を数字でご記入ください。

- | |
|---|
| 1. 利用していないが、今後利用したい
⇒ 1週当たり () 回 もしくは 1か月当たり () 回程度 |
| 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
⇒ 1週当たり 更に () 回 もしくは 1か月当たり 更に () 回程度 |
| 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない |

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(①)～⑥の事業ごとに、A～Cそれぞれ「はい」「いいえ」のどちらかに○)

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子ども家庭支援センター (「市民総合センター」2階)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

お子さんの土曜・日曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についておたずねします。

※「教養・保育事業」とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かり等は含まれません。

問22 お子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。1つに○をつけ、希望がある場合は利用したい時間帯を19時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。(1)土曜日

- | |
|---|
| 1. 利用する必要はない |
| 2. ほぼ毎週利用したい
利用したい時間帯 () 時から() 時まで |
| 3. 月に1～2回は利用したい () 時まで |

- | |
|---|
| (2)日曜・祝日 |
| 1. 利用する必要はない |
| 2. ほぼ毎週利用したい
利用したい時間帯 () 時から() 時まで |
| 3. 月に1～2回は利用したい () 時まで |

問22の(1)または(2)で3.月に1～2回は利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため |
| 4. 息抜きのため |
| 5. その他() |

「幼稚園」を利用されている方にかかります。

問 23 お子さんについて、夏休み・冬休みなど休学期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。1つに○をつけ、希望がある場合は利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制で記入ください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- 利用したい時間帯
- () 時から() 時まで

問 23で3.週に数日利用したいを選択した方にかかります。

問 23-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他()

お子さんの病気等の病気等の対応についておたずねします。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 14で1「平日の定期的な教育・保育の事業を利用している」に○をつけた方にかかります。

問 24 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありましたか。(1つに○)

1. あった
2. なかった

問 24で1. あったに○をつけた方にかかります。

問 24-1 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行なった対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を数字でご記入ください。

※半日程度の場合も「1日」と数えてください。概算でもかまいません。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	() 日
イ. 母親が休んだ	() 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	() 日
カ. ベビーシッターを利用した	() 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
ク. その他()	() 日

問 24-5へ

問 24-1で「ア」「イ」のいずれかのみに○をつけた方(「ウ」「ケ」には○をつけなかった方)にかかります。

問 24-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数について数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日
2. 利用したいとは思わない

問 24-2で1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したいに○をつけた方にかかります。

問 24-3 上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て支援等の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問 24-2で「病児・病後児保育施設等」を2. 利用しないとは思わないに○をつけた方にかかります。

問 24-4 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない
4. 利用料がかかる、高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

問 24-1で「ウ」「ケ」のいずれかに○をつけた方にかかります。

問 24-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ」「ケ」の日数のうち仕事を休んで子どもをみなかった日数について数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい ⇒ () 日
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい

問 24-5で1. 休んで子どもをみることは非常に難しいに○をつけた方にかかります。

問 24-6 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みが取れない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りない
4. その他()

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についておたずねします。

すべての方にかかいます。

問 25 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか、ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)	() 日
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	() 日
4. 夜間看護等事業・トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	() 日
5. ベビーシッター	() 日
6. その他()	() 日
7. 利用していない	() 日

問 25 で 7. 利用していないに○をつけた方にかかいます。

問 25-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる、高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()

すべての方にかかいます。

問 26 お子さんについて、私用・親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があるかと思えますか、利用希望の有無についてあてはまる番号1つに○をつけ、「利用したい」場合は必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください)。なお、事業利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 () 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、 リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他()	() 日
2. 利用する必要はない	() 日

問 26 で 1. 利用したいに○をつけた方にかかいます。

問 26-1 問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと聞われますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(定員 6~19 人程度のもの)
3. 地域住民等が子育てや子育て支援等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

すべての方にかかいます。

問 27 この1年間に、保護者の用事など(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号1つに○をつけ、「あった」場合はそれぞれの日数を数字でご記入ください。

1年間の対処方法	日数
1. あった	() 泊
ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	() 泊
イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	() 泊
ウ. 「イ」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	() 泊
エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	() 泊
カ. その他()	() 泊
2. なかった	() 泊

問 27 で 1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらったに○をつけた方にかかいます。

問 27-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではなかった

お子さんが5歳以上であるすべての方に、小学校卒業後の放課後の過ごし方に関するお知らせします。

お子さんが5歳以上であるすべての方にうかがいます。

問 28 将来、お子さんが小学校に入ってから、放課後(平日の小学校終了後の)時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を記入してください。また「学童クラブ^{※3}」の場合には、利用を希望する時間を数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。曜日等により時間が一定でない場合は、最も近いタームに記入してお考えください。

※ 高学年は、お問い合わせの先におこなわれますが、現在お持ちのイメージでご答えください。

	小学校低学年(1～3年生)	小学校高学年(4～6年生)
1. 自宅	週()日くらい	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい	週()日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカー・ダンス、学習塾など)	週()日くらい	週()日くらい
4. 児童館 ^{※1}	週()日くらい	週()日くらい
5. 放課後子供教室 ^{※2}	週()日くらい	週()日くらい
6. 学童クラブ ^{※3} (放課後児童クラブ)	週()日くらい ⇒ 下校時から()時まで	週()日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週()日くらい	週()日くらい
8. その他 (公民館、公園など)	週()日くらい	週()日くらい

※1 児童館: 市内に6か所あります。児童館での学童クラブを利用したい場合は「6」に回答してください。
 ※2 放課後子供教室: 学校の余裕教室等を活用して、児童に対し放課後における居場所を確保するとともに、体験活動・市民との交流活動等の機会を提供するものです。週日は、学校給食のある日の放課後です。実施校(第三小、第七小を除く)は、小学校に通う児童が利用できます。

※3 学童クラブ: 保護者により児童が通う必要のない場合などに、指導員の下、小学生の子どもの生活を確保するための、市内に11か所あります。事前の登録が必要で、一定の利用料がかかります。

問 28 で「6. 学童クラブ(放課後児童クラブ)」に○をつけた方にうかがいます。

問 29 土曜日や日曜日・祝日に学童クラブの利用希望はありますか。(1)、(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

また、利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

利用したい時間帯

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい () 時から() 時まで

2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい () 時から() 時まで

3. 利用する必要はない

(2) 日曜・祝日

利用したい時間帯

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい () 時から() 時まで

2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい () 時から() 時まで

3. 利用する必要はない

お子さんが5歳以上であるすべての方にうかがいます。

問 30 お子さんの夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

利用したい時間帯

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい () 時から() 時まで

2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい () 時から() 時まで

3. 利用する必要はない

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度に関してお知らせします。

すべての方にうかがいます。

問 31 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。
 お母さん、お父さんそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由を下の表から選んで番号を記入してください。

お母さん(1つに○)	お父さん(1つに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください。いくつでも)

- 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください。いくつでも)
- 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 - 仕事が多かった
 - (産後)仕事に早く復帰したかった
 - 仕事に戻るのが難しかった
 - 昇給・昇格などが遅れそうだった
 - 収入減となり、経済的に苦しくなる
 - 保育所(園)などに預けることができた
 - 配偶者が育児休業制度を利用した
 - 配偶者が無職・祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 - 子育てや家事に専念するための退職した
 - 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
 - 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 - 育児休業を取得できることを知らなかった
 - 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 - その他()

問 31-1 子どもが原則1歳(保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月又は2歳)になるまで育児休業給付が支給されるしくみ、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険・厚生年金保険の保険料が免除になるしくみがあります。そのことをご存じでしたか。(1つに○)

①お母さん	②お父さん
1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	1. 育児休業給付のみ知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた	2. 現在も育児休業中である
3. 保険料免除のみ知っていた	3. 育児休業中に離職した
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	

問 31-2 2取得した(取得中である)に○をつけた方にかがいます。→該当しない方は、問 32へ
問 31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

①お母さん(1つに○)	②お父さん(1つに○)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問 31-2で母または父が1 育児休業取得後、職場に復帰したに○をつけた方にかがいます。
あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)

※年度始め(4月)での認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合などは1月～2月頃までは認可外保育園に入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「○」を選択してください。

①お母さん(1つに○)	②お父さん(1つに○)
1. 年度始めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度始めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問 31-4 実際には、お母さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、お母さんご自身の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取り戻したかどうか。数字で記入ください。

①お母さん	実際の取得期間 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月
②お父さん	実際の取得期間 () 歳 () か月	希望 () 歳 () か月

問 31-5 おおむねに、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお母さんが何歳何か月のときまで取り戻したかどうか。数字で記入ください。

①お母さん	②お父さん
() 歳 () か月	() 歳 () か月

問 31-4で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。
問 31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。
(1)「希望より早く復帰した方(あてはまるものすべてに○)」

①お母さん	②お父さん
1. 希望する保育所等に入れたため	1. 希望する保育所等に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()	5. その他()

(2)「希望より遅く復帰した方(あてはまるものすべてに○)」

①お母さん	②お父さん
1. 希望する保育所等に入れたかったため	1. 希望する保育所等に入れたかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が悪くなったため	4. 職場の受け入れ態勢が悪くなったため
5. 子どもをみてくれる人がいなくなったため	5. 子どもをみてくれる人がいなくなったため
6. その他()	6. その他()

問 31-2で1 育児休業取得後、職場に復帰したに○をつけた方にかがいます。

問 31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

①お母さん	②お父さん
1. 利用した	1. 利用した
2. 利用しなかった	2. 利用しなかった

問 31-7で2 短時間勤務制度を利用しなかったに○をつけた方にかがいます。

問 31-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

①お母さん	②お父さん
1. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった	1. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった	2. 仕事が多かった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所等の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所等の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもえるなど、制度を利用する必要がなかった	5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもえるなど、制度を利用する必要がなかった
6. 子育てや家事に専念するため復帰後すぐに退職した	6. 子育てや家事に専念するため復帰後すぐに退職した
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)	7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)
8. 職場に短時間勤務制度を利用できなかった(就業規則に定めなかった)	8. 職場に短時間勤務制度を利用できなかった(就業規則に定めなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できなかった(就業規則に定めなかった)	9. 短時間勤務制度を利用できなかった(就業規則に定めなかった)
10. その他	10. その他

(2) お父さん
1. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった 2. 仕事が終わらなかった 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4. 短時間勤務にすると保育所等の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用するの必要がなかった 7. 子育てや家事に専念するため復帰後すぐに退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他

問 31-2 ②現在も育児休業中である」に○をつけただ方がかかります。

問 31-9 お父さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得し得ますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

(1) お母さん	(2) お父さん
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

子どもの育ちをめぐる環境についておたずねします。

問 32 子育てをして以下のようなことを感じることはありませんか。(①〜⑦のそれぞれで1つに○)

	よく感じる	ときどき感じる	あまり感じない	まったく感じない
① 子育てが楽しい	1	2	3	4
② 子どもの成長が楽しみ	1	2	3	4
③ 子育てと仕事が両立できている	1	2	3	4
④ 自分の好きなことをする時間がある	1	2	3	4
⑤ 子どものことでどうすればよいかわからなくなる	1	2	3	4
⑥ 子育てにかかってくる経済的な負担を感じる	1	2	3	4
⑦ 地域の中で孤立している感じがする	1	2	3	4

問 33 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思われますか。(1つに○)

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. そう思わない

問 34 あなたが必要かと思われる子育て支援策は次のどれですか。(3つまで○)

1. 保育料の減免 2. 保育所や幼稚園での一時預かりの実施・充実 3. 保育所や幼稚園での延長保育の実施・充実 4. 休日・夜間保育の実施・充実 5. 病児・病後児保育の実施・充実 6. 地域子育て支援拠点の整備・充実 7. 乳児医療の拡大 8. 安全な通園・通学ができる歩道等の整備・促進 9. 学童クラブの整備・充実 10. 仕事と子育てが両立できる職場環境 11. 児童手当の増額 12. その他()
--

問 35 子どもに関する市の施策や行事などの情報をどういった方法で受け取っていますか。また、今後、どのような方法で受け取りたいですか。(A、Bそれぞれあてはまるものすべてに○)

A. 現在の受け取り方法	B. 今後、受け取りたい方法
1. 市報「むさしむらやま」 2. 市のホームページ 3. むさしむらやま子育て広場サイト「すくすく」 4. SNS(LINE、ツイッター、Facebook など) 5. 家族や友人からの情報 6. その他()	1. 市報「むさしむらやま」 2. 市のホームページ 3. むさしむらやま子育て広場サイト「すくすく」 4. SNS(LINE、ツイッター、Facebook など) 5. 家族や友人からの情報 6. その他()

問 36 子どもを持つ親にとって、身近な地域ごとのような活動があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育ての悩みを気軽に相談できるような活動 2. 子育てをする親同士の仲間づくりを支援してくれる活動 3. 子どもとの関わり方やしつけ方を教えてくれる活動 4. 同年代の子どもの同士が交流できる活動 5. 異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる活動 6. 子どもに遊びを教えてくれる活動 7. 買物の間や不意の外出のときなどに子どもを預かってくれる活動 8. ちよっとした休憩やトレ・おむつ替え等の場を提供してくれる活動 9. 子育て家庭の家事を支援する活動 10. 交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動 11. 公園などの花壇や樹木の管理、清掃等の美化活動 12. その他() 13. 特にない
--

問 37 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための国・東京都・武蔵村山市の取り組みや、社会の制度のあり方、あなたにとっての理想の子育てなど、ご意見等がありましたらご記入ください。

アンケートは以上です。調査にご協力いただき、本当にありがとうございます。
 ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずに
12月11日(火)までにポストへご投函ください。

2. 小学生(1～6年生)の保護者

武蔵村山市 子ども・子育て支援事業計画

策定のためのアンケート調査

小学生のお子さんご保護者の皆様へ

ご協力をお願い

皆様には、日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

武蔵村山市では、子ども・子育て支援法に基づき、平成27年3月に「武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、「みんな子育て、支えあい、うるおいのあるまち武蔵村山市」の実現に向けて市の子どもと子育て世帯への支援の充実を図ってまいりました。この計画は5年ごとに作成する計画となっており、現在、市では次の5年間(平成32年度～平成36年度)を対象とした第2期の計画策定に向けて準備を進めているところです。

そしてこのたび、計画策定にあたって、市民の皆様様の教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望、子どもと子育て世帯を取り巻く状況などを把握するため、この調査を実施することとなりました。

この調査は、住民基本台帳から小学生(1～6年生)のお子さん1,000名を無作為に選び、その保護者を対象にお願いするものです。ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、回答者の方が特定されたり、ご回答内容が他に漏れたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月
武蔵村山市

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名のお子さんについて、お父さんのお名前をお書きください。この調査では、封筒のあて名のお子さんのことを「お子さん」と書きます。
2. 質問には平成30年11月1日現在の状況でお答えください。
3. あてはまる答えの番号を○(1つ、もしくは、あてはまるものすべて)で囲んでください。数字を記入する質問では枠内に数字を記入してください。○をつける数や、数字の記入のしかたは、それぞれの質問文や、質問文の後ろの()に書いてあります。「その他」を選ばれた場合は、後の()の中にその具体的な内容をご記入ください。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒に入れ、**12月11日(火)**までに郵便ポストへ投函してください(切手は必要ありません)。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

お問い合わせ先 武蔵村山市役所 健康福祉部 子ども育成課 保育係
電話番号：042-565-1111 (内線1182)
8:30～17:15(土日祝日を除く)

お住まいの地区についておたずねします。

問1 武蔵村山市のどちらにお住まいですか。(1つに○)

- | | | | | |
|-----------|---------|-------|--------|---------|
| 1. 緑が丘 | 2. 中藤 | 3. 神明 | 4. 中央 | 5. 本町 |
| 6. 三ツ木 | 7. 岸 | 8. 中原 | 9. 残堀 | 10. 伊奈平 |
| 11. 大字三ツ木 | 12. 三ツ藤 | 13. 榎 | 14. 学園 | 15. 大南 |

お子さんご家族の状況などについておたずねします。

問2 お子さんは、小学何年生ですか。(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
| 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、いちばん下のお子さんの生年月日もご記入ください。

きょうだい数 () 人
未子の生年月日: 平成 () 年 () 月 生まれ

問4 この調査にご回答くださっている方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査にご回答くださっている方には、配偶者(パートナー)はいらっしゃいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父 | 5. その他() | |

問7 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方(施設)はどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 小学校 | 6. 習い事、塾等 | 7. その他() | |

子どもの育ちを取り巻く環境についておたずねします。

問8 お子さんの子育て(教育を含む)に影響すると思う環境はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭
2. 地域
3. (小)学校
4. 児童館
5. 放課後子供教室
6. 学童クラブ
7. 図書館
8. 塾や習い事
9. その他()

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族や知人等はいいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9で「1」または「2」に○をつけた方につかいます。

問9-1 祖父母等の親族にみてもらえている状況についてお答えください。

- (あてはまるものすべてに○)
1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
 5. その他()

問9で「3」または「4」に○をつけた方につかいます。

問9-2 友人・知人にみてもらえている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他()

すべての方につかいます。

問10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありますか。(1つに○)

1. いる/ある
2. いない/ない

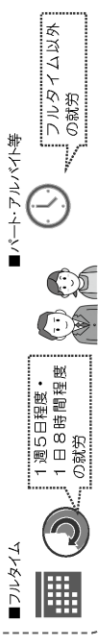
問10で「1. いる/ある」に○をつけた方につかいます。

問10-1 お子さんの子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(児童館等)・NPO法人
5. 保健所・保健センター
6. 子ども家庭支援センター
7. 小学校の先生
8. 学童クラブの先生
9. 習い事(サッカークラブ、塾など)の先生
10. 民生・児童委員
11. かかりつけの医師
12. 市の子育て関連担当窓口
13. その他()

お子さんの保護者の就業状況についておたずねします。

この項目に出る「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは…



問11 保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者を含む)は下記のどれですか。【※父子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就業しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就業しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就業しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就業していたが、現在は就業していない
6. これまで就業したことがない

問11の(1)で「1」~「4」(就業している)に○をつけた方につかいます。

(1)~「1」週当たりの「就業日数」、また「1日当たりの「就業時間(就業時間を含む)」をお答えください。

(数字を記入)

※就業日数や就業時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

問 11 の(1)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方にかかいます。

(1)-2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時台かを教えてください。
(数字でご記入ください。必ず「8時~18時」のように、24時間制でお答えください。)

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 () 時台 帰宅時刻 () 時台

(2)「お父さん」について(1つに○) 【※母子家庭の場合は記入不要です】

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない

(2)-1 (2)-2
 問 13 へ

問 11 の(2)で「1」~「4」(就労している)に○をつけた方にかかいます。

(2)-1 1週当たりの「就労日数」、また1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(数字を記入)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(2)-2 家を出る時刻と帰宅の時刻は何時台かを教えてください。

(数字でご記入ください。必ず「8時~18時」のように、24時間制でお答えください。)

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 () 時台 帰宅時刻 () 時台

問 11 の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にかかいます。

問 12 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

(1)お母さん

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2)お父さん

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 11 の(1)または(2)で「5」(現在就労していない)、または「6」(就労したことがない)に○をつけた方にかかいます。

問 13 就労したいという希望はありますか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1)お母さん

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、いちばん下の子どもが()歳になった頃に就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

ア. フルタイム
 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
 ⇒1週当たり () 日 / 1日当たり () 時間

(2)お父さん

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、いちばん下の子どもが()歳になった頃に就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

ア. フルタイム
 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
 ⇒1週当たり () 日 / 1日当たり () 時間

お子さんの「学童クラブ※」の利用等についておたずねします。

※学童クラブ、保母等により児童家庭により児童家庭にいない場合などに、指導員の下、小学生の子どもの生活を確保するもので、市内に11か所あります。事前の登録が必要で、一定の利用料がかかります。

問 14 お子さんは現在、学童クラブを利用されていますか。(1つに○)

1. 利用している 2. 利用していない

問 14-1、14-2は、問 14 で 1. 利用している に○をつけた方にかかいます。

問 14-1 現在、平日に学童クラブを、どのくらい利用していますか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入ください。

時間は、必ず「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。曜日等により時間が一定でない場合は、最も多い1ターンのようにお答えください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間【 () 時～() 時】

問 14-2 平日に学童クラブを利用されている理由についてうかがいます。主な理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て(教育を含む)をしている人が現在就労している
 2. 子育て(教育を含む)をしている人に就労予定がある/求職中である
 3. 子育て(教育を含む)をしている人が家族・親族などを介護している
 4. 子育て(教育を含む)をしている人が病気や障害がある
 5. 子育て(教育を含む)をしている人が学生である
 6. その他()

問 14-3、14-4は、問 14 で 2. 利用していない に○をつけた方にかかいます。

問 14-3 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
 3. 近所の人や父母の友人、知人がみている
 4. 利用したいが、学童クラブを知らなかった
 5. 利用したいが、近くに学童クラブがない
 6. 利用したいが、学童クラブに空きがない
 7. 利用したいが、学童クラブに空きがなく児童館のランドセル来館を利用している
 8. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
 9. 利用したいが、学童クラブの開所時間が短い
 10. 利用したいが、子どもは放課後の短い事をして
 11. 利用したいが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う
 12. 利用したいが、他の施設等に預けている
 13. その他

問 14-4 今後、学童クラブを利用したいとお考えですか。(1つに○)

1. 利用したい 2. 今後も利用しない

問 14-5、14-6は、問 14-4 で 1. 利用したい に○をつけた方にかかいます。

問 14-5 希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入ください。

時間は、必ず「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間【 () 時～() 時】

問 14-6 学童クラブを現在利用していないが、今後は利用したい理由についてうかがいます。

主な理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て(教育を含む)をしている人が現在就労している
 2. 子育て(教育を含む)をしている人に就労予定がある/求職中である
 3. 子育て(教育を含む)をしている人がそのうち就労したいと考えている
 4. 子育て(教育を含む)をしている人が家族・親族などを介護している
 5. 子育て(教育を含む)をしている人が病気や障害がある
 6. 子育て(教育を含む)をしている人が学生である/就労したい
 7. 子どもの教育などのためによいと思預けたい
 8. その他()

すべての方にかかいます。

問 15 土曜日や日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

希望がある場合は、利用したい時間帯を、「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

(1)土曜日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい **利用したい時間帯**
 3. 月に1～2回は利用したい () 時から() 時まで

(2)日曜・祝日

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい **利用したい時間帯**
 3. 月に1～2回は利用したい () 時から() 時まで

問 16 お子さんの夏休み・冬休みなどの休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)。また、利用したい時間帯を「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない
 2. ほぼ毎週利用したい **利用したい時間帯**
 3. 月に1～2回は利用したい () 時から() 時まで

問 17 地域によっては、学童クラブと連携して行うサービスとして「放課後子供教室」*があります。利用したいとお考えになりますか。(1つに○)

※放課後子供教室：学校の余裕教室等を活用して、児童に対し放課後における居場所を提供するともに、体験活動や地域住民との交流活動等の機会を提供するものです。実施日は、学校始業のある日の放課後です。実施校(第三小、第十小を除く)市立小学校)に通う児童が利用できます。

1. 利用したい 問 17-2へ

2. 利用したくない

3. 通っている学校に放課後子供教室がない

問 17-1 「利用したい」に○をつけた方にかかいます。

問 17-1 希望してはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、具体的な数字でご記入ください。

時間は、必ず「9時～18時」のように24時間制でご記入ください。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間【 () 時～() 時】

問 17-2 「利用したくない」に○をつけた方にかかいます。

問 17-2 「利用したくない」理由を教えてください。(1つに○)

1. 塾や習い事に行っているから

2. 放課後子供教室に利用したいメニューがないから

3. その他()

すべての方にかかいます。

問 18 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 () 日() 日() 日()
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日() 日() 日()
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 () 日() 日() 日()
4. 児童館*	週 () 日() 日() 日()
5. 放課後子供教室	週 () 日() 日() 日()
6. 学童クラブ	週 () 日() 日() 日()
7. ファミリー・サポート・センター	⇒ 下校時から () 時まで
8. その他(公民館、公園など)	週 () 日() 日() 日()

※児童館での学童クラブを利用している場合は、16. 1に○をつけてください。

お子さんの病気の療育の対応についておたずねします。

問 19 この1年間に、お子さんが病やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスを利用できなかったりしたことはありませんか。(1つに○)

1. あった 問 19-1へ

2. なかった

問 19-1 「あつた」に○をつけた方にかかいます。

問 19-1 お子さんが病やケガの際に、この1年間で行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を数字でご記入ください。

※半日程度の場合も「1日」は数えてください。概算でもかまいません。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	() 日
イ. 母親が休んだ	() 日
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日
オ. ベビーシッターを利用した	() 日
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	() 日
ク. その他()	() 日

問 19-1で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方にかかいます。

問 19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数について数字でご記入ください。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の診察が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日

2. 利用したいとは思わない 問 19-4へ

問 19-2で「1」で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方にかかいます。

問 19-3 上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業

2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業

4. その他()

問 19-5へ

問 19-2で2.利用したいとは思わないに○をつけた方にかかります。

問 19-4 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない
4. 利用料がかかる、高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

問 19-1で「ウ」～「ク」のいずれかに○をつけた方にかかります。

問 19-5 その際「できれば父のいづれか仕事をして子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号1つに○をつけ、「ウ」～「ク」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数について数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい →() 日
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい

問 19-5で2.休んで子どもをみることは非常に難しいに○をつけた方にかかります。

問 19-6 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みが取れない
2. 自営業なので休めない
3. 休職日数が足りないのて休めない
4. その他()

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についておたずねします。

すべての方にかかります。

問 20 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のために、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)を数字でご記入ください。

利用している事業・日数(年間)	() 日
1. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	() 日
2. 夜間看護等事業・トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	() 日
3. ベビーシッター	() 日
4. その他()	() 日
5. 利用していない	() 日

問 20で5.利用していないに○をつけた方にかかります。

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる、高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()

すべての方にかかいます。

問 21 お子さんについて、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか、利用希望の有無についてあてはまる番号1つに○をつけ、「利用したい」場合は必要ない日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 () 日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、 リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他()	() 日
2. 利用する必要はない	() 日

問 21で1 利用したいに○をつけた方にかかいます。

問 21-1 問 21の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 学童クラブのような大人数で子どもを預かる事業
2. 小規模保育のような少人数で子どもを預かる事業
3. ファミリー・サポート・センターのような地域住民が子どもを預かる事業
4. その他()

すべての方にかかいます。

問 22 この1年間に、保護者の用事など(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、お子さんを泊りだけが家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか(預け先がありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号1つに○をつけ、「あった」場合はそれぞれの日数を数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. 子どもショートステイを利用した (保護者の病気や出産などの理由で一時的にお子さんを養育 できないとき、市が委託する施設で短期間預かる事業。宿泊 を伴うものに限る)	() 泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	() 泊
2. なかった	カ. その他()	() 泊

問 22-1 へ

問 22で1 あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらったに○をつけた方にかかいます。

問 22-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではなかった

子どもの育ちをめぐる環境についておたずねします。

問 23 子育てをしていて以下のようなことを感じることはありませんか。(①～⑦のそれぞれで1つに○)

	よく感じる	ときどき感じる	あまり感じない	まったく感じない
① 子育てが楽しい	1	2	3	4
② 子どもの成長が楽しみ	1	2	3	4
③ 子育てと仕事の両立がうまくできている	1	2	3	4
④ 自分の好きなことをする時間があまる	1	2	3	4
⑤ 子どものことでどうすればよいかわからなくなる	1	2	3	4
⑥ 子育てにかかる経済的な負担を感じる	1	2	3	4
⑦ 地域の中で孤立している感じがする	1	2	3	4

問 24 武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 25 あなたが必要と思われる子育て支援策は次のどれですか。(3つまで○)

1. 保育料の減免
2. 保育所や幼稚園での一時預かりの実施・充実
3. 保育所や幼稚園での延長保育の実施・充実
4. 休日・夜間保育の実施・充実
5. 病児・病後児保育の実施・充実
6. 地域子育て支援拠点の整備・充実
7. 乳児医療の拡大
8. 安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進
9. 学童クラブの整備・充実
10. 仕事と子育てが両立できる職場環境
11. 児童手当の増額
12. その他()

武蔵村山市 第二期子ども・子育て支援事業計画
策定のためのアンケート調査報告書

発行年月：平成31年3月

発行：武蔵村山市 健康福祉部 子ども育成課
〒208-8501
東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

電話：042-565-1111（代表）